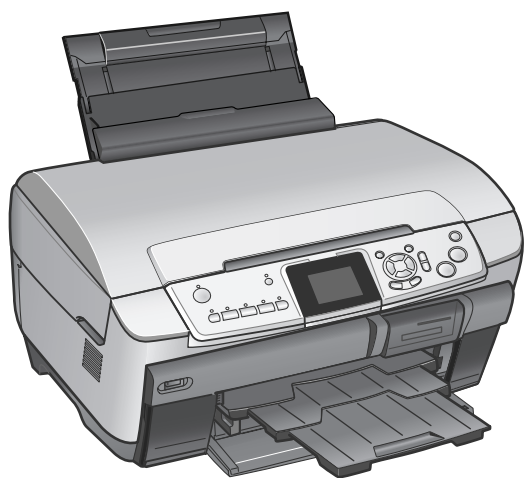
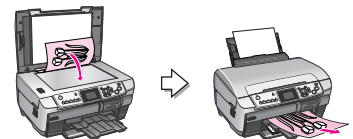
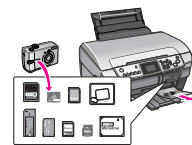
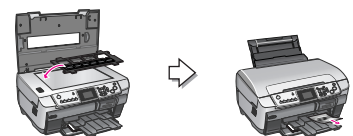
EPSON

Colorio

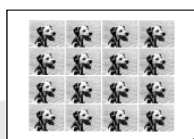
PM-A900
操作ガイド1

～PM-A900だけで使う～

PM-A900 だけで写真プリントやコピーをする方法について説明しています。

── 本書は製品の近くに置いてご活用ください。──

こんなことができます

手軽にいろいろコピー

ミニフォトシール、2 アップコピー

☞22 ページ「いろいろなコピーの手順」

CD/DVD に直接プリント

お好みの写真を CD/DVD のレーベルに直接印刷できます。

☞27 ページ「CD コピー」（原稿を CD レーベールに印刷）
☞41 ページ「CD レーベル印刷」（メモリカードから印刷）

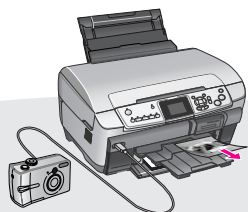
デジタルカメラから直接プリント

メモリカードをスロットに入れる

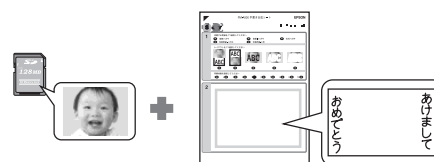
☞29 ページ「メモリカードについて」

ケーブルでつなぐ

※ USB DIRECT-PRINT または PictBridge に対応したデジタルカメラのみ

☞73 ページ「デジタルカメラから直接印刷」

写真と手書きの文字やイラストを合成して印刷

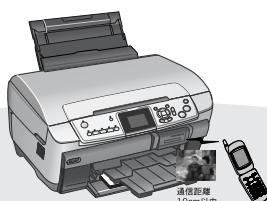
オリジナルの年賀状や L 判写真が簡単に作成できます。

☞61 ページ「手書き合成シート」

携帯電話から直接プリント

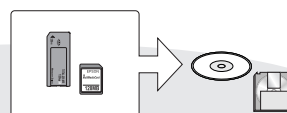
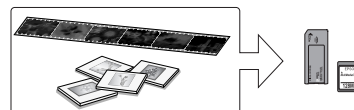
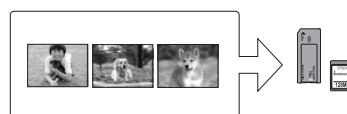
メモリカードをスロットに入れる

☞29 ページ「メモリカードについて」

赤外線通信でデータを送信

☞68 ページ「携帯電話からワイヤレス印刷」

メモリカードに写真を保存

写真やフィルムをスキャンして、メモリカードに保存することができます。大量の写真は、CD-R/DVD-R や MO などに保存（バックアップ）することもできます。

☞64 ページ「スキャンしたデータをメモリカードに保存」

写真フィルムをプリント（焼き増し）

ネガ/ポジフィルムやスライドフィルムなどをセットするだけで、写真プリントできます。

☞49 ページ「フィルムから写真プリント」

もくじ

便利な機能、いろいろな使い方

メンテナンス

困ったときは

付録

本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークには次のような意味があります。

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。	操作を間違った場合や説明通りにならない場合などの対処方法、また知っておくと便利な情報を記載しています。	補足情報や制限事項を記載しています。	関連した内容の参照ページを示しています。

各部の名称と働き

1 エッジガイド（背面給紙用）

背面オートシートフィーダにセットした用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

2 用紙サポート

印刷するための用紙を支えます。

3 背面オートシートフィーダ

セットした用紙を自動的に連続して給紙します。

4 給紙口カバー

原稿カバーの上に置かれた物が本体内部にすべり落ちたり、その他の異物やホコリなどが入るのを防ぐカバーです。用紙をセットする時以外は閉じておいてください。

5 外部機器 /Bluetooth ユニット接続コネクタ

外部機器（USB フラッシュメモリや CD-R ドライブ /MO ドライブなど）や、デジタルカメラからの USB ケーブル、Bluetooth ユニットなどを接続するコネクタです。

6 エッジガイド（前面給紙用）

前面オートシートフィーダにセットした用紙が斜めに給紙されないように、用紙の側面に合わせます。

7 前面カバー / 前面オートシートフィーダ

通常は開いて使用します。開いた状態で A4 サイズ普通紙専用の給紙口として使用します。

8 排紙トレイ

排出された用紙を保持します。排出された用紙が詰まったときは、排紙トレイを取り外して用紙を取り除きます。

本書 89 ページ「用紙が詰まった」

9 メモリカードスロット / カバー

カバーを開いてメモリカードをセットします。セット後はカバーを閉じて使用します。

10 CD/DVD ガイド

CD/DVDに直接印刷するときに使用します。▲マークの部分を一度内部へ押し込むとロックが解除され、CD/DVD トレイをセットするためのガイドが出てきます。

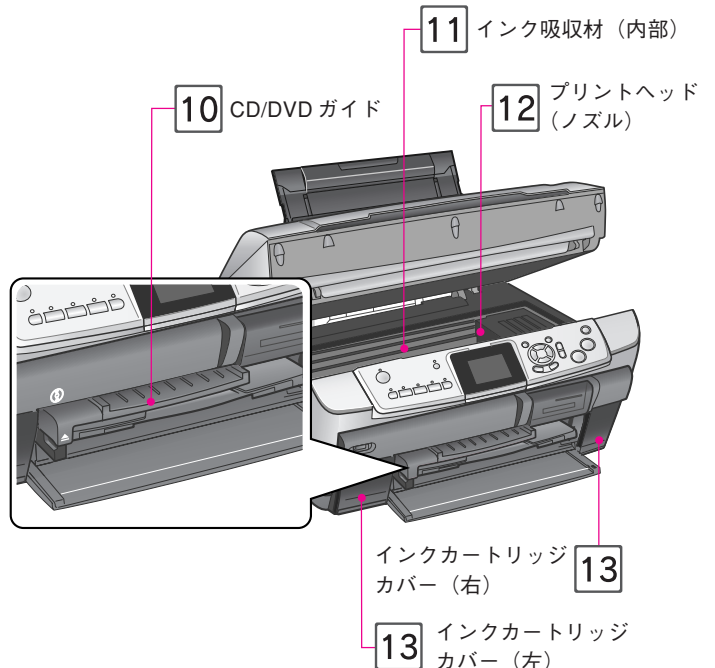
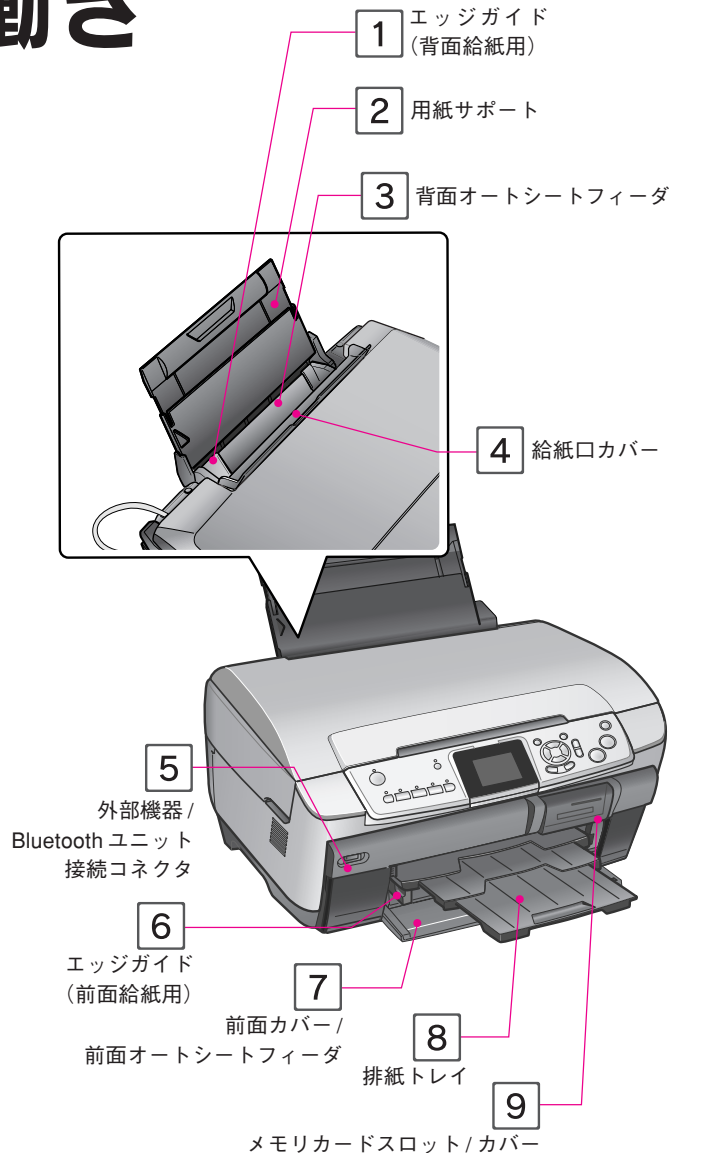
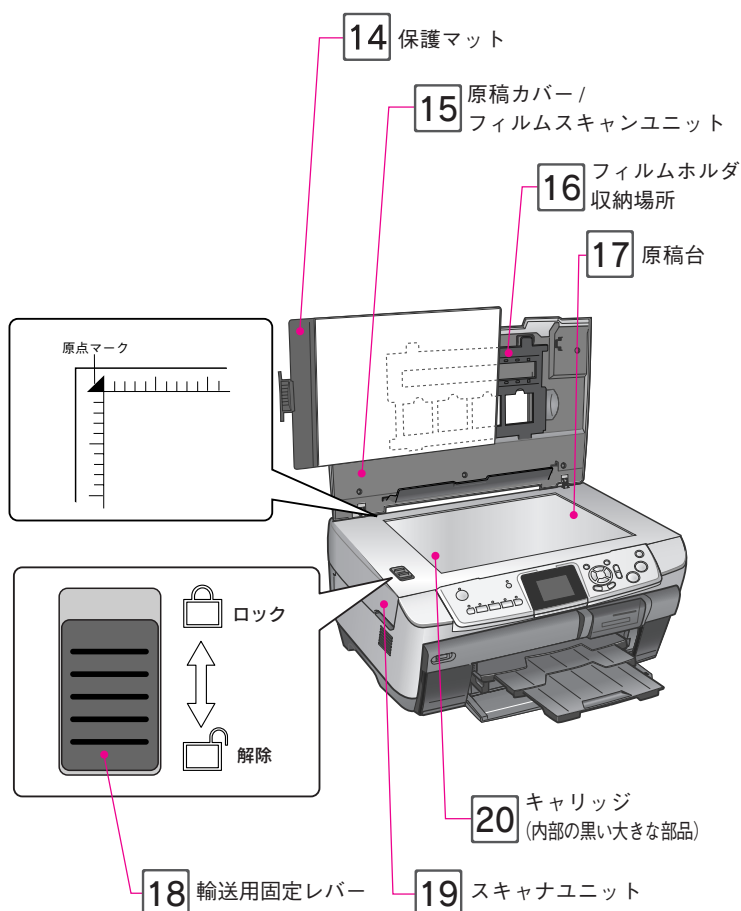
11 インク吸収材（内部）

四辺フチなし印刷時に、はみ出したインクを吸収します。内部に付いたインク（黄、赤、黒など）はふき取らずに、そのままお使いください。

12 プリントヘッド（ノズル）

インクを用紙に吐出する部分です。外からは見えません。

13 インクカートリッジカバー（左右2箇所）

インクカートリッジの取り付け時や交換時にカバーを開きます。取り付け後、カバーを閉じることでインクカートリッジのセットが完了します。印刷中などの動作中は、カバーを開けないでください。

14 保護マット

- 写真や書類など（反射原稿※といいます）を取り込む場合は、必ず取り付けてください。
  ※光を反射する原稿
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）を取り込む場合は、取り外します。

15 原稿カバー / フィルムスキャンユニット

- コピーやスキャナで原稿を読み取るときに開けて、原稿をセットします。通常は原稿をセットした後、閉じて外部の光をさえぎります。厚い本や原稿台よりも大きな原稿をセットするときは、取り外すこともできます。
- ネガフィルムやポジフィルムなど（透過原稿といいます）を取り込む場合は、保護マットを取り外して、フィルムスキャンユニットとして使用します。

16 フィルムホルダ収納場所

保護マットを取り外して、フィルムホルダを収納します。
本書 49 ページ「フィルムホルダを使用しないときは」

17 原稿台

原稿の取り込みたい面を下にして置きます。原稿のセット位置を示す原点マークと、原稿の大きさを示す目盛りが付いています。

18 輸送用固定レバー

輸送時にキャリッジが動かないようにロックします。
使用するときは、ロックを解除（図の位置に）します。

19 スキャナユニット

通常は閉じて使用します。USB ケーブルの取り外し / 交換時、用紙が詰まったときなどに、左右側面の取っ手に手をかけて開けます。

20 キャリッジ（内部の黒い大きな部品）

ガラス面の下の内部にある黒い大きな部品で、原稿を照射する蛍光ランプと、反射した光を読み取るセンサが付いていて、取り込み時に移動します。
取り込み前のキャリッジの待機位置（左端）をホームポジションといいます。

21 フィルムスキャンケーブル

フィルムを取り込むときに接続します。

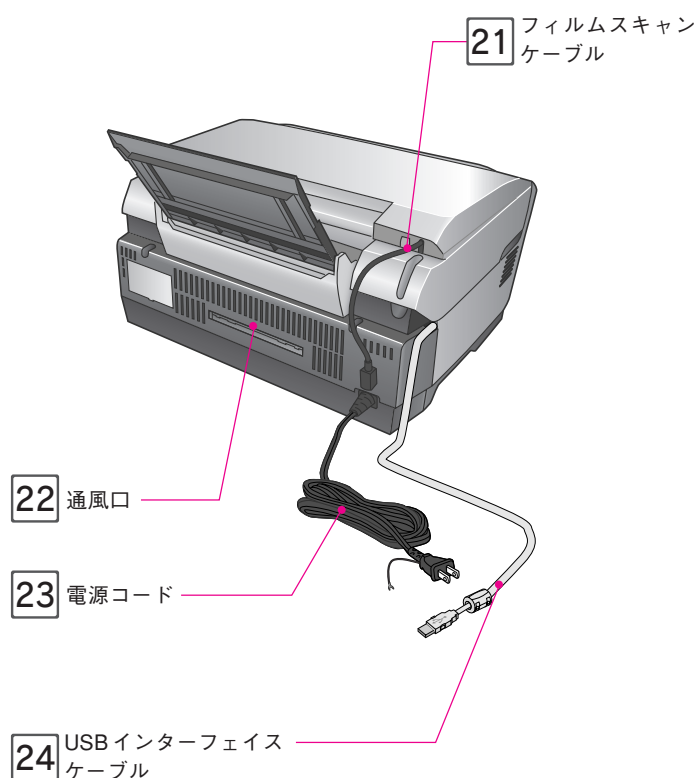
22 通風口

本製品の過熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。設置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばには物を置かないでください。

23 電源コード

AC100V の電源に接続します。

24 USB インターフェイスケーブル

パソコンに接続する標準装備の USB ケーブルです。
使用しない場合は、取り外すことができます。
「操作ガイド 2」17 ページ「USB ケーブルの取り外し」

操作パネルの各部の名称と働き

1 電源ボタン/ランプ

本製品の電源をオン/オフします。

- 電源オン：
  電源ランプが点灯し、液晶ディスプレイに画面が表示されます。
- 電源オフ：
  電源ランプが消灯し、液晶ディスプレイの画面が消えます。

2 各種設定ボタン/ランプ

以下の設定や確認ができます。

- ヘッドクリーニング
- ノズルチェック
- インク残量
- ギャップ調整
- オプション類の設定

3 液晶ディスプレイ

- メニューや設定、写真などを表示します。
- 約3分以上操作しないと、スクリーンセーバーが起動します。

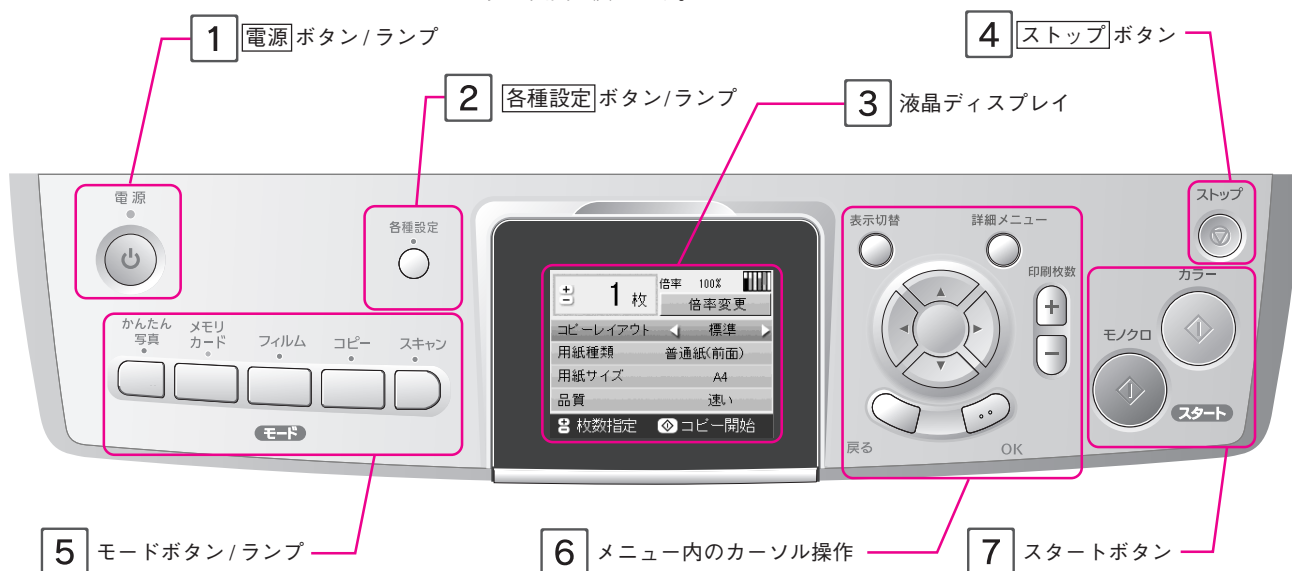
スクリーンセーバー起動時の画面

- 約13分以上操作しないと、ディスプレイのライトが消えて暗くなり、省エネモードになります。
- スクリーンセーバー起動中や省エネモード時は、電源ボタン以外を押したり、メモリカードの抜き差しをすると、元の画面に戻ります。

4 ストップボタン

本製品の状態により、次のように機能します。

- 印刷、スキャン中：
  動作を中止してメニュー画面に戻ります。
- パソコンから印刷中：
  印刷を中止して用紙を排紙します。

※詳細については『PM-A900電子マニュアル』の「印刷の中止方法」をご覧ください。

5 モードボタン/ランプ

やりたいことを選択するボタンです。

- **かんたん写真ボタン**
  メモリカード内の全写真の印刷や写真のコピー、手書き文字と写真の合成ができます。
- **メモリカードボタン**
  メモリカード内の写真データを印刷するモードにします。
- **フィルムボタン**
  フィルムホルダにセットしたフィルムから写真を印刷するモードにします。
- **コピーボタン**
  原稿台にセットした原稿をコピーするモードにします。
- **スキャンボタン**
  原稿台にセットした原稿をスキャンするモードにします。

6 メニュー内のカーソル操作

- **▲▼◀▶ボタン**
  項目や設定値を選択するときなどに使用します。
- **OKボタン**
  選択/変更した設定を有効にします。
- **戻るボタン**
  操作中の設定をキャンセルします。
- **表示切替ボタン**
  メモリカード内の写真の表示方法を切り替えます。
- **印刷枚数ボタン**
  印刷枚数/部数を設定します。
- **詳細メニューボタン**
  各モードの［詳細設定］画面を表示します。
  本書20、35、56ページ「詳細設定（詳細メニュー）」

7 スタートボタン

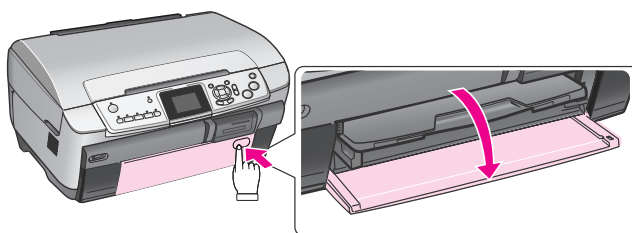
- **カラーボタン**
  カラー印刷を開始（スタート）します。
  用紙がなくなった時や紙詰まりの時は、画面のメッセージに従ってカラーボタンを押すこともあります。
- **モノクロボタン**
  モノクロ印刷を開始（スタート）します。

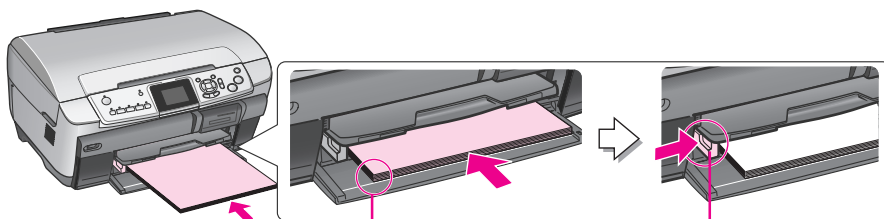
A4 普通紙のセット方法

（前面オートシートフィーダ）

補足情報

- 前面オートシートフィーダは、A4 サイズの普通紙専用です。ハガキや写真用紙など、A4 普通紙以外の用紙は、背面オートシートフィーダにセットしてください。
本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
- A4 サイズの普通紙は、前面 / 背面どちらのオートシートフィーダにもセットすることができます。ただし、機能によっては前面しか使用できない場合がありますので、前面オートシートフィーダにセットすることをお勧めします。

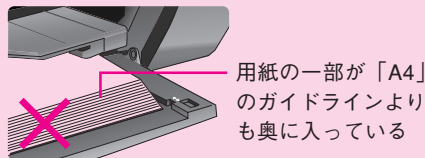
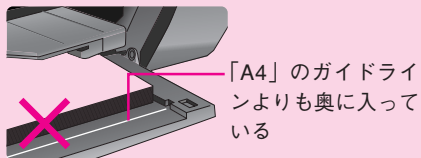
1 前面カバーを手前に開きます。

① くぼみを押して、 ② 前面カバーを手前に開きます。

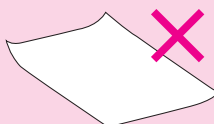
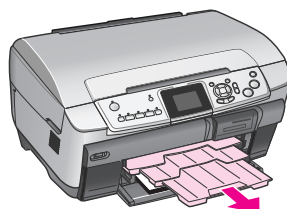
2 用紙をそろえてから、印刷面を下にして挿入し、エッジガイド（奥の方にあるつまみ）を用紙の側面に合わせます。

①「A4」のガイドラインを目安にして挿入し、 ② エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

注意

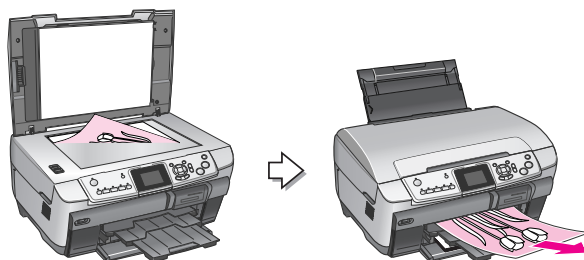
- 用紙を奥に入れすぎないようにしてください。奥まで入れすぎると、正常に給紙されません。

「A4」のガイドラインよりも奥に入っている

用紙の一部が「A4」のガイドラインよりも奥に入っている

- 丸まっている用紙、折れている用紙、破れ / 切れ / 穴がある用紙、および右図のような用紙は使用しないでください。紙詰まりの原因になります。

角が反っている　　印刷面が波打っている

3 排紙トレイを引き出します。

コピーしてみよう

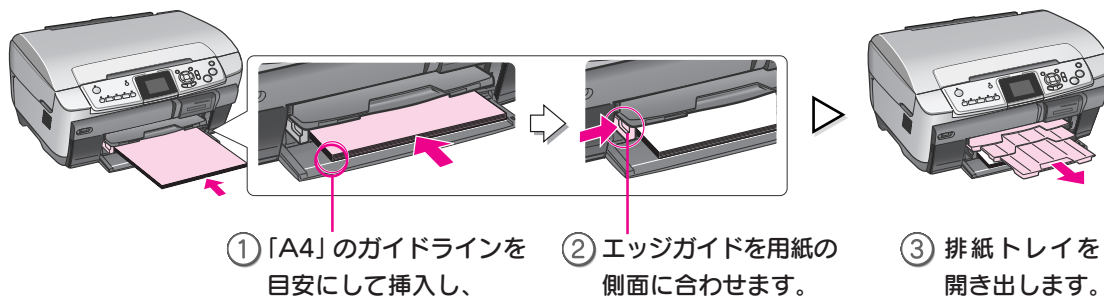
原稿
（A4 サイズ）

基本手順＜A4 普通紙にカラーコピー＞

1 本製品の電源をオンにします。

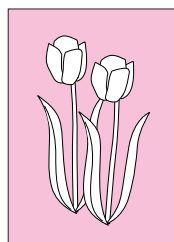
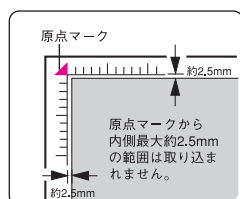
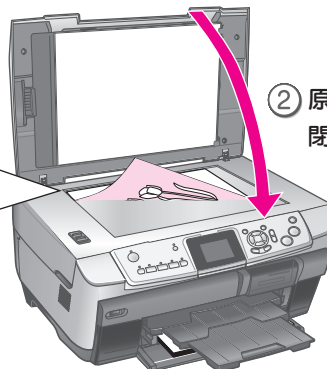
電源ランプが点灯し、液晶ディスプレイに起動画面が表示されます。

押します。

2 印刷用紙（A4 サイズの普通紙）をセットします。

本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

①「A4」のガイドラインを目安にして挿入し、
② エッジガイドを用紙の側面に合わせます。
③ 排紙トレイを開き出します。

3 原稿カバーを開けて、原稿（A4 サイズ）をセットします。

原稿（A4 サイズ）

① 原稿を原点マークに合わせ、図の向きに置きます。

② 原稿カバーを静かに閉じます。

4 操作パネルの コピー ボタンを押して、コピーモードにします。

① 押して、 ② ランプが点灯したことを確認します。

補足情報

- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき(省エネモード中)やスクリーンセーバー起動中は、コピー ボタンを2回押してください。

5 操作パネルの設定を確認します。

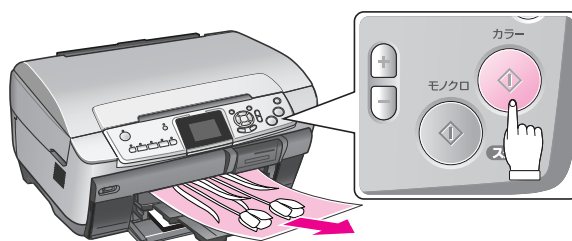
ここでは、A4 サイズの普通紙にコピーする設定にします。

もしも設定値が変わっていたら

お買い上げ後、初めて電源をオンにしたときのコピー設定は、上図のように表示されます。上図と設定値が異なっている場合は、以下のページをご覧のうえ、必要に応じて設定し直してください。

本書 17 ページ「コピー手順の流れ」手順 5、6

6 カラー ボタンを押して、コピーを実行します。

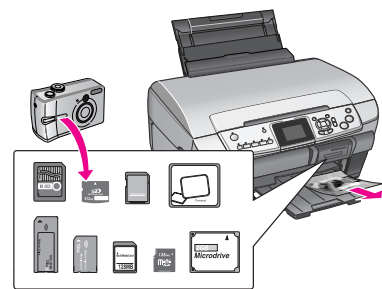
モノクロ ボタンを押すと、モノクロコピーになります。

① カラー ボタンを押します。

② しばらくすると、コピー結果が排紙されます。

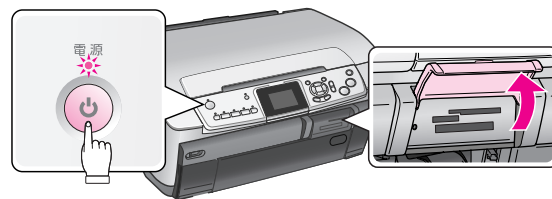
以上で、コピーの手順説明は終了です。

設定の変更方法や、いろいろなコピー方法は 15 ページ

まずは使ってみよう

デジタルカメラで撮った写真を印刷してみよう

①メモリカードをセットします

1 電源をオンにし、メモリカードスロットカバーを開きます。

メモリカードスロットカバーは、止まるところまでしっかりと引き上げてください。

① 電源をオンにし、　② メモリカードスロットカバーを開きます。

2 メモリカードを1枚だけ挿入し、ランプの点灯を確認して、メモリカードスロットカバーを閉じます。

・メモリースティック
・メモリースティックPRO
・マジックゲート
　メモリースティック

・SDメモリーカード
・マルチメディアカード

・メモリースティック Duo※
・メモリースティック
　PRO Duo※
・マジックゲート
　メモリースティックDuo※

・miniSDカード※

※カードに付属の専用アダプタに差し込んでから、本製品のスロットに差し込んでください。

・コンパクトフラッシュ

・マイクロドライブ

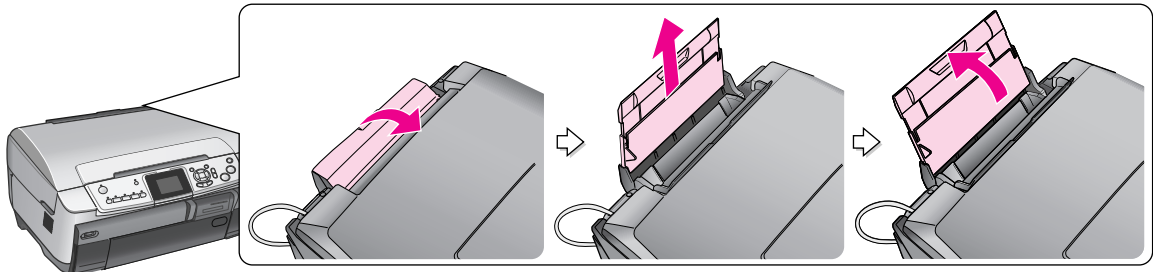
②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）

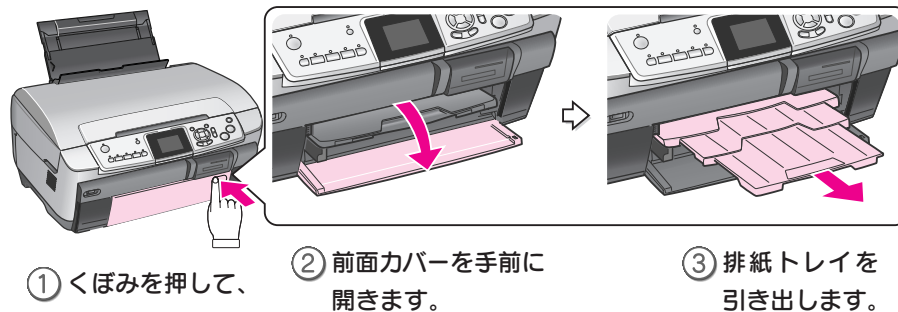
ここでは、L 判サイズの写真用紙（専用紙）をセットする手順を例に説明します。

補足情報

- 前面オートシートフィーダはＡ４サイズの普通紙専用ですが、背面オートシートフィーダには、Ａ４サイズの普通紙を含め、各種用紙をセットすることができます（フォトスタンド紙を除く）。
- 前面 / 背面、両方のオートシートフィーダに、同時に用紙をセットすることもできます。前面に普通紙、背面に写真用紙などの専用紙をセットしておけば、用紙をセットし直すこともなく、操作パネルの設定だけで給紙（前面または背面）を切り替えられます。
  本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
- 用紙ごとのセット可能枚数などの注意事項は、以下をご覧ください。
  本書 96 ページ「使用できる印刷用紙と印刷時の注意」

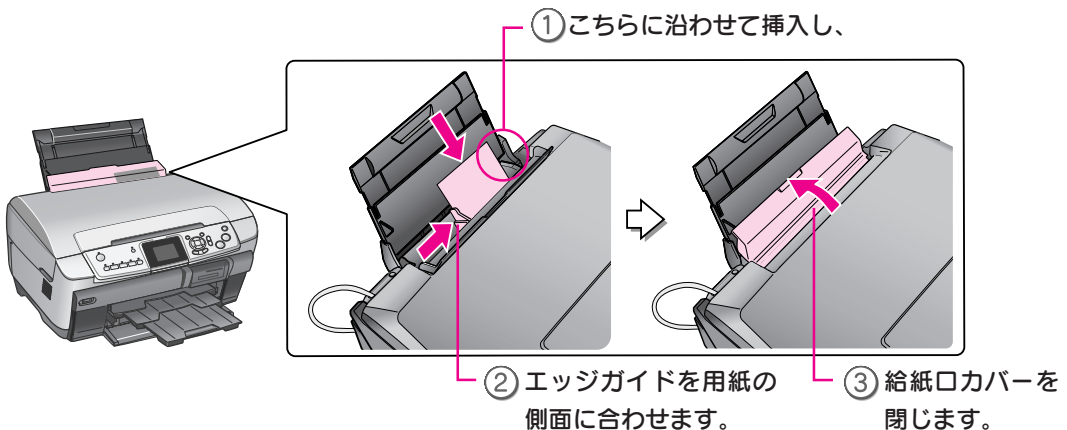
1 給紙口カバーを開いて、用紙サポートを引き出します。

①給紙口カバーを開き、②用紙サポートを引き出し、③後ろに傾けます。

2 前面カバーを開いて、排紙トレイを引き出します。

①くぼみを押して、②前面カバーを手前に開きます。③排紙トレイを引き出します。

3 印刷面を手前にして用紙を挿入し、エッジガイドを用紙の側面に合わせます。

用紙は縦方向（往復ハガキは横方向）にセットしてください。
ハガキのように天地（上下）のある用紙の場合は、天を下向きにセットしてください。

①こちらに沿わせて挿入し、

②エッジガイドを用紙の側面に合わせます。③給紙口カバーを閉じます。

③L判サイズの写真用紙にフチなし印刷します

1

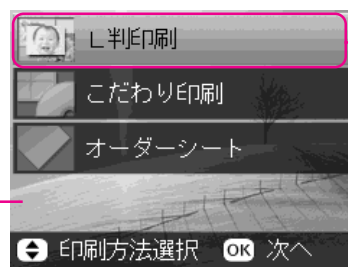
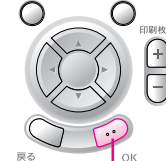
操作パネルの メモリカード ボタンを押して、メモリカードモードにします。

メモリカードモードのランプが点灯します。

補足情報

- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（省エネモード中）やスクリーンセーバー起動中は、メモリカード ボタンを2回押してください。

2

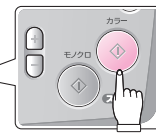
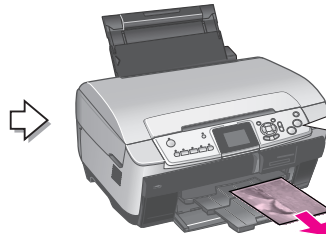
［L判印刷］が選択されていることを確認し、OK ボタンを押します。

この画面の選択項目の背面には、メモリカード内の１枚目の写真が表示されます。

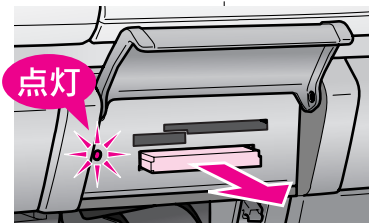
3

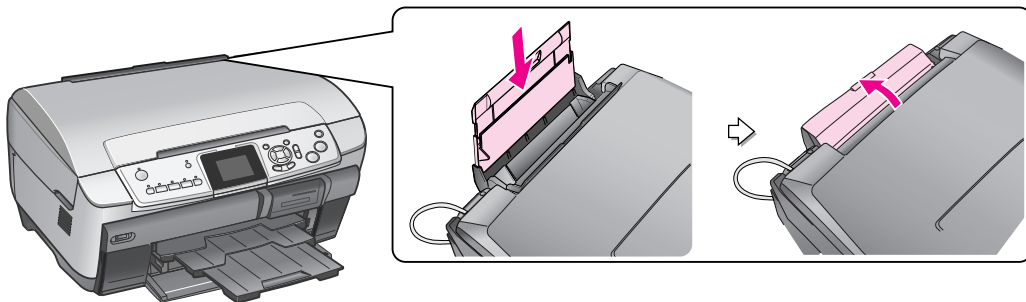
◀ ▶ ボタンで印刷したい写真（コマ）を表示し、＋ － ボタンで印刷枚数を設定して、OK ボタンを押します。

こんなときは

- **「写真が選択されていません。」というメッセージが表示されたら**
  ＋ － ボタンで印刷枚数を設定してください。印刷枚数の設定により、写真を選択したことになります。
- **複数の写真を選択したい**
  上記の①と②の手順を繰り返して写真を選択し、最後に OK ボタンを押してください。
- **写真の選択を取り消したい**
  ＋ － ボタンで印刷枚数を「-- 枚」（設定なしの状態）にしてください。

4 印刷設定を確認し、カラー ボタンを押して、印刷を実行します。

5 印刷が終了したら、メモリカードを取り出します。

ランプが点灯していることを確認して、取り出してください。取り出すとランプが消えます。

注意 ランプが点滅しているときは、取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。

6 用紙サポートを収納し、給紙口カバーを閉じます。

以上で、メモリカードからのL判フチなし印刷の手順説明は終了です。

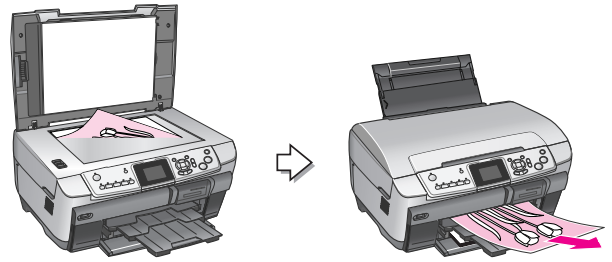
L判フチなし印刷以外の印刷方法は 30ページ

まずは使ってみよう

コピーの種類（レイアウト）

補足情報

最初に設定できるコピーレイアウトは［標準］、［ギリギリ］、［フチなし］、［CD コピー］の4種類のみです。それ以外のコピーレイアウトを設定する場合は、［コピーレイアウト拡張］で必要なコピーレイアウトを追加します。
☞ 本書 20 ページ「コピーレイアウト拡張の設定方法」

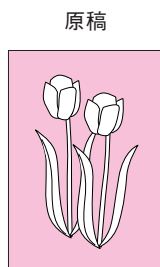
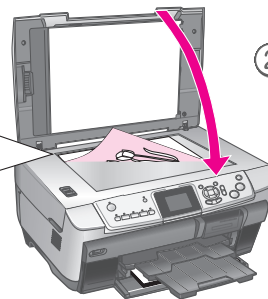
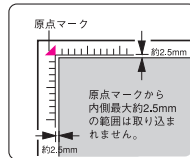
コピー手順の流れ

1 電源をオンにします。

本書8ページ「コピーしてみよう」手順 1

2 印刷用紙をセットします。

- A4サイズの普通紙をセットする場合
  本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
- A4サイズの普通紙以外の用紙をセットする場合
  本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
- CD/DVDをセットする場合
  本書27ページ「CD/DVDのセット方法」

3 原稿カバーを開き、原稿をセットします。

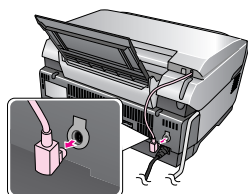
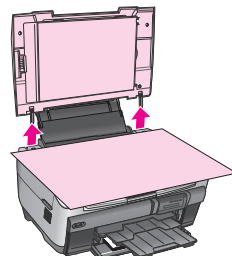
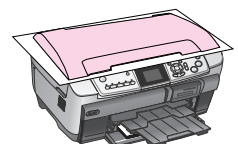
特に指示がない限り、原稿は横置きに（短辺が原稿台の左側になるように）セットしてください。

① 原稿を原点マークに合わせ、図の向きに置きます。

② 原稿カバーを静かに閉じます。

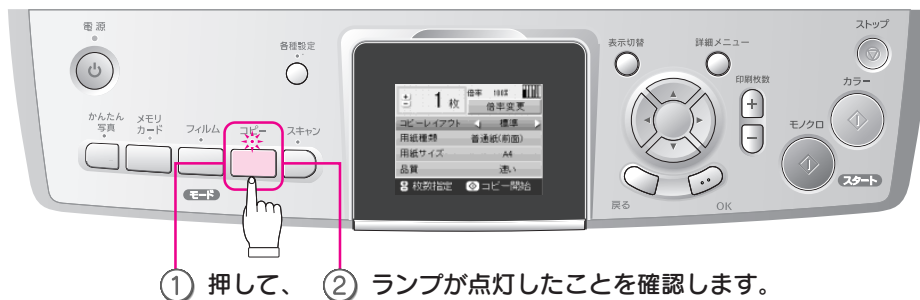
注意

- 原稿カバーは、無理に後ろに倒さないようにしてください。
- 原稿カバーの上に物を置かないでください。
- 上から強い力をかけないでください。原稿カバーや原稿台が破損するおそれがあります。
- 原稿台のガラス面は、いつもきれいにしておいてください。
- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま長期間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

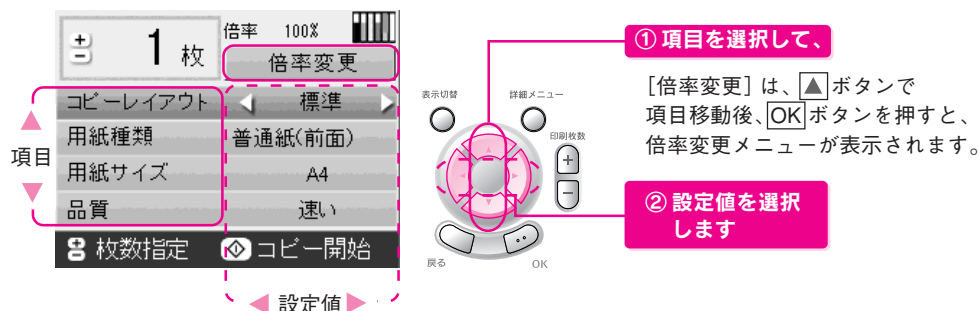
こんなときは

原稿台より大きい原稿や本などの厚い原稿をセットするときは

① 電源 ボタンを押して電源をオフにし、フィルムスキャンケーブルを外します。

③ 原稿カバーを、原稿の上に静かに載せます。

4 操作パネルの コピー ボタンを押して、コピーモードにします。

コピーモードのランプが点灯します。

補足情報

- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき(省エネモード中)やスクリーンセーバー起動中は、コピー ボタンを2回押してください。

5 必要に応じてコピーの設定をします。

設定の詳細は、以下をご覧ください。
本書 19 ページ「操作パネルの設定項目の詳細」

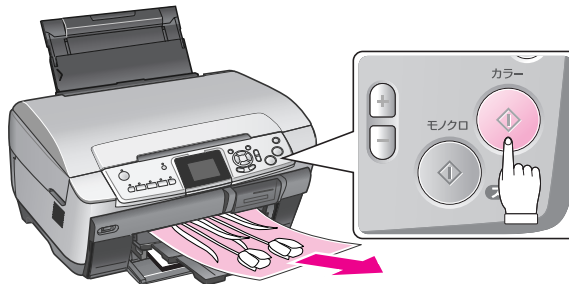
こんなときは

- **［標準］、［ギリギリ］、［フチなし］、［CD コピー］以外のコピーレイアウトを設定したい**
  最初に設定できるコピーレイアウトは上記 4 種類のみです。上記以外は、［コピーレイアウト拡張］で必要なコピーレイアウトを追加します。
  本書 20 ページ「コピーレイアウト拡張の設定方法」
- **専用紙へコピーする場合は**
  専用紙に合わせて［用紙種類］と［品質］を設定すると、きれいにコピーできます。
  本書 21 ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」
- **写真原稿をコピーする場合は**
  かんたん写真モードの「写真コピー」機能を使用すると、簡単、きれいにコピーできます。
  本書 60 ページ「写真コピー」

6 コピー枚数を設定します。

コピー

7 カラー か モノクロ ボタンを押して、コピーを実行します。

カラー ボタンを押すとカラーで印刷、モノクロ ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

注意

コピーが終了するまで、原稿カバーを開けないでください。原稿が動いてコピー結果にズレが生じる場合があります。

こんなときは

コピーを途中で止めたい場合は

ストップ ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでには、多少時間がかかる場合があります。

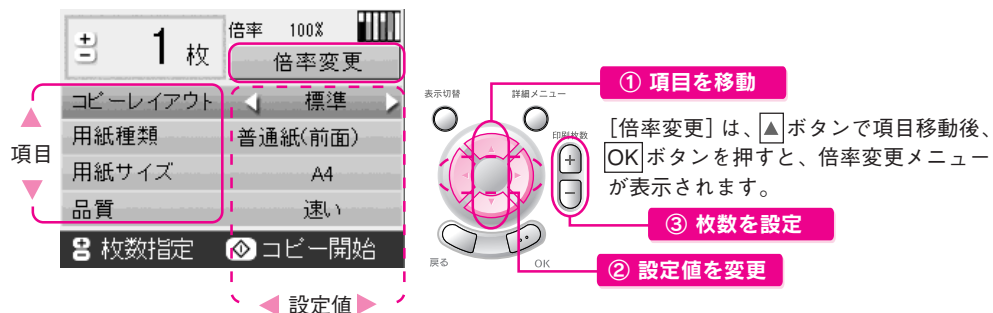
補足情報

原稿サイズとコピー結果のサイズは、用紙の給紙誤差や原稿の読み取り誤差などにより、完全に一致しない場合があります。

以上で、コピーの手順説明は終了です。

操作パネルの設定項目の詳細

コピーモードで表示される設定項目と設定値について説明しています。

コピー設定（印刷設定）

設定項目	設定値（下線は初期値）	補足
【印刷枚数】 コピー枚数を設定します。	1～99 枚	• コピーレイアウトで［2 アップ /4 アップ］、［ポスター 4/9/16］を選択した場合は、1 枚のみ設定できます。 • 設定値を一度の操作で「1枚」に戻すこともできます。 本書 20 ページ「詳細設定（詳細メニュー）」
【倍率変更】 倍率を変更して、拡大 / 縮小コピーすることができます。	等倍	拡大 / 縮小しません。
	自動	原稿サイズを自動的に検知して、［用紙サイズ］で設定されているサイズに合わせて拡大/縮小コピーします。
	A4 →ハガキ /2L 判→ハガキ /L 判→ハガキ /2L 判→ A4/ ハガキ→ A4/L 判→ A4/ L 判→六切 / 六切→ L 判	
	L 判→ハガキ上半分	• コピーレイアウトで［フチなし］を選択した場合のみ設定できます。 • コピー品質や用紙種類によっては、白い部分に薄い色が付くことがあります。
	任意倍率 25 ～ 100%～ 400%（1% 刻みで設定）	＋ －ボタンで設定します。
【コピーレイアウト】	15 ページをご覧ください。	
【用紙種類】 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいにコピーできます。	普通紙(前面)/普通紙(背面)/スーパーファイン紙/写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/光沢ハガキ/郵便IJハガキ/郵便ハガキ/両面マット紙/ミニフォトシール / アイロンプリント紙 / CD/DVD レーベル	用紙ごとの設定値については、21 ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」をご覧ください。
【用紙サイズ】 セットした用紙のサイズを設定します。	A4/L 判 /2L 判 / ハガキ /B5/ ハガキ上半分 / 六切 / 名刺 / カード / CD サイズ	
【品質】 コピー品質を設定します。	エコノミー / 速い / きれい / フォト	エコノミー < 速い < きれい < フォトの順番でコピー品質が高くなりますが、印刷速度は遅くなります。

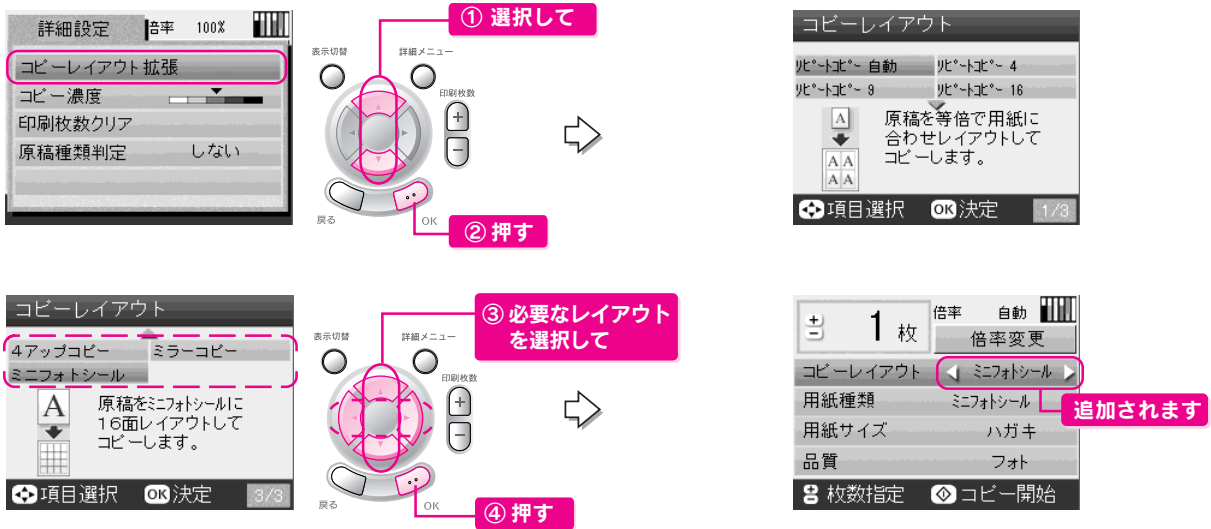
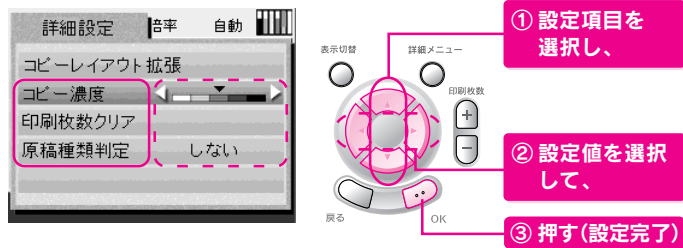
補足情報

- 設定値の組み合わせによっては、表示されない（設定できない）項目や設定値があります。
- 上記以外にもコピー設定ができます。
  本書 20 ページ「詳細設定（詳細メニュー）」

コピー

詳細設定（詳細メニュー）

コピーモード時に詳細メニューボタンを押すと、［詳細設定］画面が表示されます。

コピーレイアウト拡張の設定方法

コピー濃度 / 印刷枚数クリア / 原稿種類判定の設定方法

設定項目	設定値（下線は初期値）	補足
【コピーレイアウト拡張】 最初に設定できるコピーレイアウトは、［標準］、［ギリギリ］、［フチなし］、［CD コピー］の4種類のみです。それ以外のコピーレイアウトを設定する場合は、ここで必要なコピーレイアウトを追加します。		• レイアウトの詳細は、15 ページ「コピーの種類（レイアウト）」をご覧ください。 • コピーレイアウトの追加は1種類のみです。
【コピー濃度】 コピー濃度を5段階で調整できます。		
【印刷枚数クリア】 印刷枚数を「1」に設定します（初期値に戻します）。	1枚	
【原稿種類判定】 新聞などの文字主体の原稿の場合に、文字がよりきれいにはっきりとコピーされます。	しない：無効 する：有効	以下のレイアウト / 用紙種類の組み合わせでのみ、効果が得られます。 ［レイアウト］　［用紙種類］ 標準　普通紙（前面/背面）、両面マット紙 フチなし　両面マット紙 ギリギリ　普通紙（前面 / 背面）

コピーで使用できる用紙と設定値

<table>
<tr><th rowspan="2">使用できる用紙</th><th colspan="4">設定値</th></tr>
<tr><th>コピーレイアウト</th><th>用紙種類</th><th>用紙サイズ</th><th>品質</th></tr>
<tr><td rowspan="2">両面上質普通紙＜再生紙＞
事務用普通紙</td><td rowspan="2">標準
ギリギリ
リピート自動/4/9/16
2アップ/4アップ※1
ポスター4/9/16※1
ミラーコピー※1</td><td>普通紙（前面）</td><td>A4</td><td>エコノミー※4
速い
きれい</td></tr>
<tr><td>普通紙（背面）</td><td>A4
B5</td><td>エコノミー※4
速い
きれい</td></tr>
<tr><td>スーパーファイン紙
スーパーファイン専用ラベルシート</td><td>標準
ギリギリ
リピート自動/4/9/16
2アップ/4アップ※1
ポスター4/9/16※1</td><td>スーパーファイン紙</td><td>A4</td><td>きれい</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜光沢＞</td><td rowspan="4">標準
フチなし
ギリギリ
リピート自動/4/9/16
2アップ/4アップ※1
ポスター4/9/16※1</td><td rowspan="2">写真用紙</td><td>L判/2L判/A4/
六切/カード</td><td rowspan="2">きれい
フォト</td></tr>
<tr><td>写真用紙＜絹目調＞</td><td>L判/2L判/A4/
ハガキ/ハガキ上半分※3</td></tr>
<tr><td>フォトマット紙</td><td>フォトマット紙</td><td>A4</td><td>きれい
フォト</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>光沢紙</td><td>A4</td><td>フォト</td></tr>
<tr><td>フォト・クォリティ・カード2　通信面</td><td rowspan="3">標準
フチなし※2
ギリギリ※2
リピート自動/4/9/16</td><td>光沢ハガキ</td><td rowspan="3">ハガキ
ハガキ上半分※3</td><td>フォト</td></tr>
<tr><td>郵便ハガキ（インクジェット紙）通信面
スーパーファイン専用ハガキ　通信面</td><td>郵便IJハガキ</td><td>きれい</td></tr>
<tr><td>郵便ハガキ（再生紙）
ハガキ　宛名面</td><td>郵便ハガキ</td><td>速い
きれい</td></tr>
<tr><td>両面マット紙＜再生紙＞名刺サイズ</td><td>標準
フチなし</td><td>両面マット紙</td><td>名刺</td><td>きれい</td></tr>
<tr><td>アイロンプリントペーパー</td><td>ミラーコピー</td><td>アイロンプリント紙</td><td>A4</td><td>きれい</td></tr>
<tr><td>ミニフォトシール</td><td>ミニフォトシール</td><td>ミニフォトシール</td><td>ハガキ</td><td>フォト</td></tr>
<tr><td>CD/DVDレーベル</td><td>CDコピー</td><td>CD/DVDレーベル</td><td>CDサイズ</td><td>フォト</td></tr>
</table>

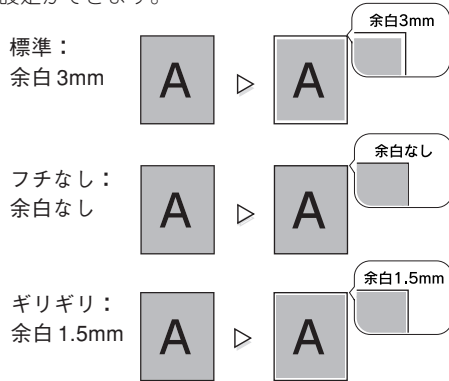
※1：用紙サイズは、A4サイズ固定となります。
※2：フチなし/ギリギリコピーは、ハガキの通信面のみ対応しています。宛名面に印刷する場合は選択しないでください。
※3：フチなしコピー時のみ選択できます。
※4：標準コピー時のみ選択できます。

補足情報

- 設定値の組み合わせによっては、設定できない（表示されない）場合があります。
- フチなし/ギリギリコピーの場合、印刷データや用紙によっては印刷結果が汚れる場合があります。

いろいろなコピーの手順

1 標準/フチなし/ギリギリコピー

余白の設定ができます。

標準：余白 3mm　A ▷ A　余白3mm

フチなし：余白なし　A ▷ A　余白なし

ギリギリ：余白 1.5mm　A ▷ A　余白1.5mm

1 印刷用紙をセットします。

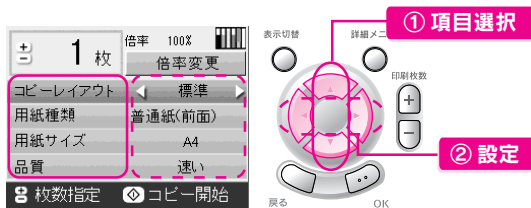
☞本書7ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
☞本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

2 原稿をセットします。

☞本書 16 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

3 [コピー] ボタンを押して、コピーモードにします。

☞本書8ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 コピーレイアウトを［標準/フチなし/ギリギリ］のいずれかに設定し、必要に応じてその他の項目も設定します。

☞本書 19 ページ「コピー設定（印刷設定）」

補足情報

フチなしコピーは、用紙サイズより原稿のサイズを少し拡大してコピーします。
そのため、原稿の周囲がコピーされません。原稿の周囲もコピーしたい場合は、操作パネルで任意倍率を選択して、コピー範囲を調整してください。

用紙サイズ
（破線で表示された範囲）

破線より外の領域はコピーされません。

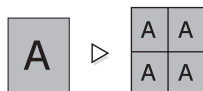
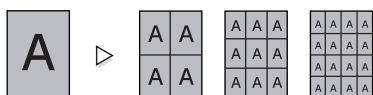
5 [+] [−] ボタンで、コピー枚数を設定します。

6 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、コピーを実行します。

以上で、標準 / フチなし / ギリギリコピーの手順説明は終了です。

② リピートコピー自動/4/9/16

1枚の用紙に同じ原稿をたくさんコピーします。

リピートコピー自動

リピートコピー 4/9/16

1 **印刷用紙をセットします。**

☞本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
☞本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

2 **原稿をセットします。**

☞本書16ページ「コピー手順の流れ」手順

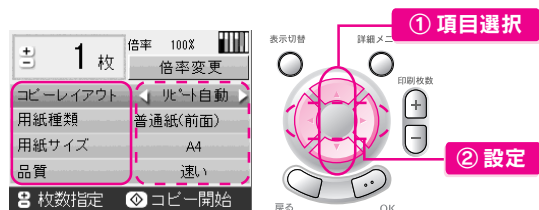
3 **［コピー］ボタンを押して、コピーモードにします。**

☞本書8ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 **コピーレイアウトを［リピート自動/4/9/16］のいずれかに設定し、必要に応じてその他の項目も設定します。**

☞本書19ページ「コピー設定（印刷設定）」

5 **［+］［−］ボタンで、コピー枚数を設定します。**

6 **［カラー］か［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**

以上で、リピートコピーの手順説明は終了です。

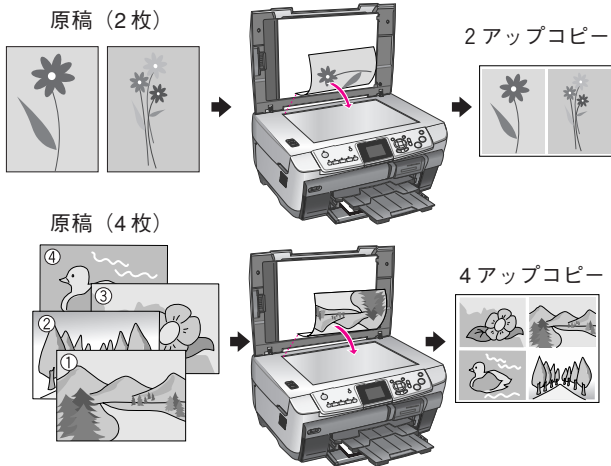
［リピートコピー］が表示されない

初めてリピートコピーを行うときは、［コピーレイアウト拡張］でレイアウトを追加してください。

☞本書20ページ「コピーレイアウト拡張の設定方法」

コピー

3 2アップ/4アップコピー

2枚または4枚の原稿を、A4サイズ1枚の用紙に縮小割り付けしてコピーします。

原稿（2枚）

2アップコピー

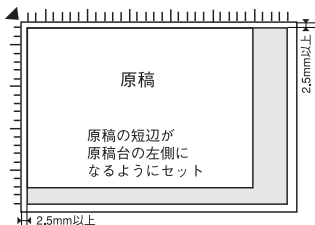
原稿（4枚）

4アップコピー

1 印刷用紙（A4サイズ）をセットします。

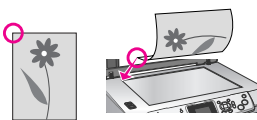
本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
本書21ページ「コピーで使用できる用紙と設定値」

2 1枚目の原稿をセットします。

本書16ページ「コピー手順の流れ」手順 3

こんなときは

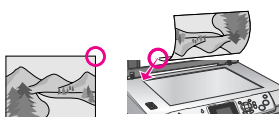
原稿の向きとコピー結果（割り付け順序）

- **縦長原稿の場合**

原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

コピー結果（2アップ）

コピー結果（4アップ）

- **横長原稿の場合**

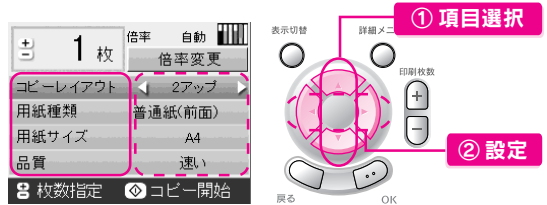
原稿の○の部分を原点マークに合わせ、伏せてセットしてください。

コピー結果（2アップ）

コピー結果（4アップ）

3 コピー ボタンを押して、コピーモードにします。

本書8ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 コピーレイアウトを［2アップ/4アップ］のいずれかに設定し、必要に応じてその他の項目も設定します。

本書19ページ「コピー設定（印刷設定）」

［2アップ/4アップコピー］が表示されない

初めて2アップ/4アップコピーを行うときは、［コピーレイアウト拡張］でレイアウトを追加してください。

本書20ページ「コピーレイアウト拡張の設定方法」

補足情報

印刷枚数の設定は「1枚」のみです。

5 カラー か モノクロ ボタンを押して、コピーを実行します。

1枚目の原稿のコピーが始まります。

6 「原稿交換」のメッセージが表示されたら、2枚目の原稿をセットして、カラー か モノクロ ボタンを押してコピーを実行します。

1枚目と同じボタンを押してください。

1枚目の原稿のコピーが始まり、コピー結果が排紙されます。

2枚目の原稿がない場合は

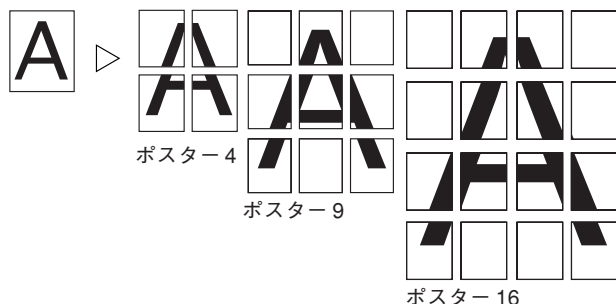
ストップ ボタンを押すと、1枚目のコピー結果が排紙されます。

7 4アップコピーの場合は、手順 6 を繰り返します。

4枚目の原稿のコピー終了後、コピー結果が排紙されます。

以上で、2アップ/4アップコピーの手順説明は終了です。

4 ポスターコピー　4/9/16 倍

原稿をA4サイズ4/9/16枚分の用紙に分割して拡大コピーします。コピー結果を貼り合わせると大判のポスターが完成します。

1 **印刷用紙（A4 サイズ）をセットします。**

本書7ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

> **補足情報**
> ポスターの大きさによって、A4 サイズの用紙が複数枚必要です。
> ポスター 4：4 枚
> ポスター 9：9 枚
> ポスター 16：16 枚

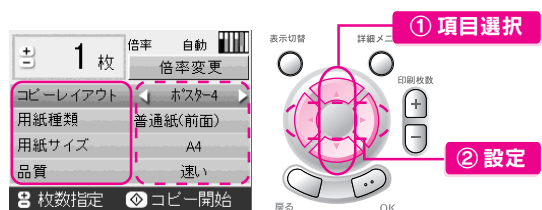
2 **原稿をセットします。**

本書 16 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

3 **［コピー］ボタンを押して、コピーモードにします。**

本書8ページ「コピーしてみよう」手順 4

4 **コピーレイアウトを［ポスター4/ポスター9/ポスター16］のいずれかに設定し、必要に応じてその他の項目も設定します。**

本書 19 ページ「コピー設定（印刷設定）」

> **［ポスターコピー］が表示されない**
> 初めてポスターコピーを行うときは、［コピーレイアウト拡張］でレイアウトを追加してください。
> 本書 20 ページ「コピーレイアウト拡張の設定方法」

> **補足情報**
> 印刷枚数の設定は「1 枚」のみです。

5 **［カラー］か［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**

指定の枚数に分割して拡大印刷されます。

コピー結果の貼り合わせ

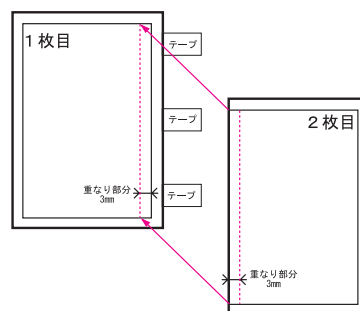
コピー結果を 1 枚のポスターにする手順を、「ポスター 9」を例に説明します。

1 **下図の色の付いた部分（用紙の余白）を切り取ります。**

印刷された用紙には、上下左右に 3mm の余白部分があります。貼り合わせるときに不要となる下図の余白（色の付いた部分）を切り取ります。

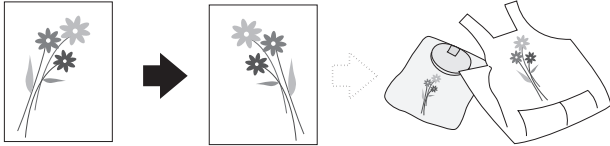
2 **1 枚目の貼り合わせる紙の裏面にテープを付けます。**

3 **1枚目に2枚目を重ねるように貼り合わせます。**

貼り合わせる辺には、重なり部分が3mm ずつあります。自然なつながりになるように貼り合わせてください。

4 **3枚目以降も同じような手順で貼り合わせます。**

以上で、ポスターコピーの手順説明は終了です。

5 ミラーコピー

原稿を左右反転して印刷します。反転コピーしたアイロンプリントペーパーを、アイロンを使って布（綿100%または綿50%以上の混紡）に転写すると、原稿と同じ向きになります。

1 印刷用紙（A4普通紙またはアイロンプリントペーパー）をセットします。

アイロンプリントペーパーは1枚ずつセットしてください。

本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

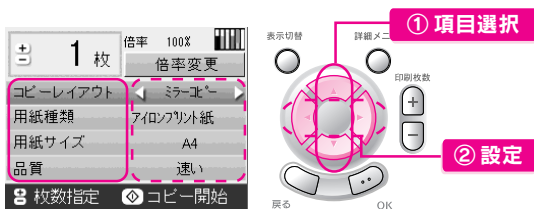
2 原稿をセットします。

本書16ページ「コピー手順の流れ」手順3

3 コピーボタンを押して、コピーモードにします。

本書8ページ「コピーしてみよう」手順4

4 コピーレイアウトを［ミラーコピー］に設定し、必要に応じてその他の項目も設定します。

本書19ページ「コピー設定（印刷設定）」

こんなときは

［ミラーコピー］が表示されない
初めてミラーコピーを行うときは、［コピーレイアウト拡張］でレイアウトを追加してください。

本書20ページ「コピーレイアウト拡張の設定方法」

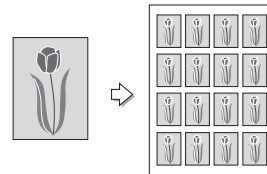
5 ＋ －ボタンで、コピー枚数を設定します。

6 カラーかモノクロボタンを押して、コピーを実行します。

コピー結果が印刷されます。

以上で、ミラーコピーの手順説明は終了です。

6 ミニフォトシールコピー

ミニフォトシール用紙（ハガキサイズ）に、16面付けで縮小コピーし、小さなシールを作ります。

1 印刷用紙（ミニフォトシール）を背面オートシートフィーダにセットします。

ミニフォトシールは1枚ずつセットしてください。

本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

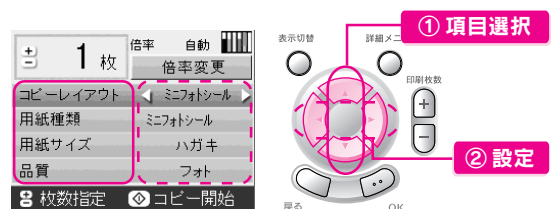
2 写真原稿をセットします。

本書16ページ「コピー手順の流れ」手順3

3 コピーボタンを押して、コピーモードにします。

本書8ページ「コピーしてみよう」手順4

4 コピーレイアウトを［ミニフォトシール］に設定し、必要に応じてその他の項目も設定します。

本書19ページ「コピー設定（印刷設定）」

こんなときは

［ミニフォトシール］が表示されない
初めてミニフォトシールコピーを行うときは、［コピーレイアウト拡張］でレイアウトを追加してください。

本書20ページ「コピーレイアウト拡張の設定方法」

5 ＋ －ボタンで、コピー枚数を設定します。

6 カラーかモノクロボタンを押して、コピーを実行します。

コピー結果が印刷されます。

こんなときは

印刷位置がずれてシールからはみ出してしまう
各種設定モードの「シール上下/左右調整」で印刷位置を微調整できます。

本書83ページ「印刷位置調整」

以上で、ミニフォトシールコピーの手順説明は終了です。

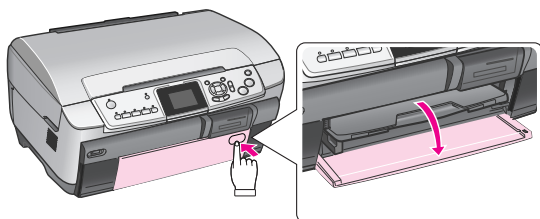
7 CDコピー（CDレーベルへのコピー）

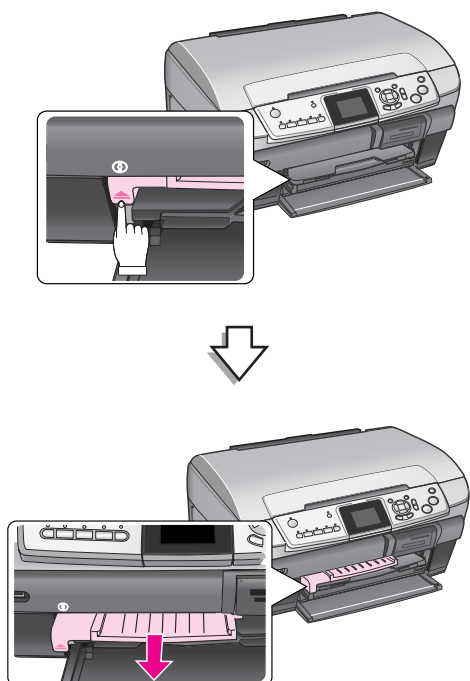
CD レーベルから CD レーベルへのコピー、また写真などの四角い原稿も CD レーベルにレイアウトして印刷します。

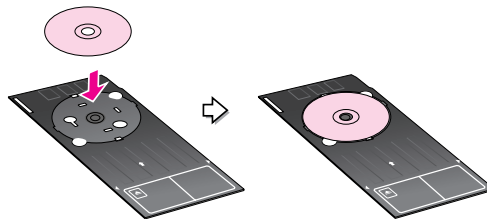
CD/DVD のセット方法

印刷できる CD/DVD の種類と印刷時の注意事項については、以下をご確認ください。
本書 98 ページ「使用できる CD/DVD と印刷時の注意」

1 本製品の電源をオンにします。

2 前面カバーを開きます。

① くぼみを押して　② 手前に開きます。

3 ▲ マーク部分を押して、CD/DVD ガイドを出します。

4 CD/DVD を専用のトレイに載せます。

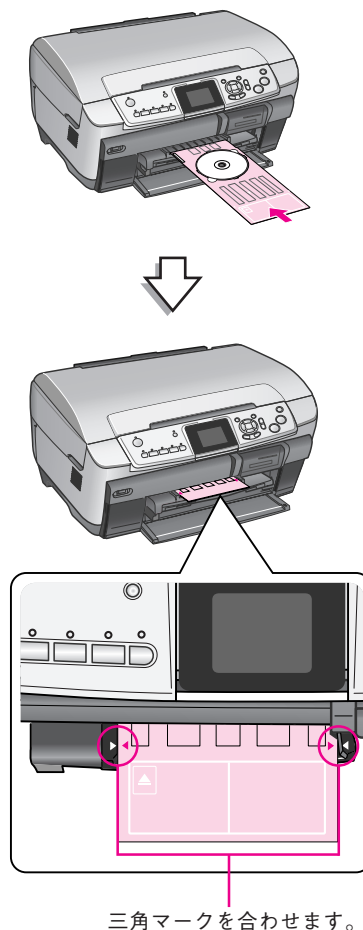
トレイ上にゴミがないかを確認し、印刷面を上にして、1 枚だけ載せてください。

以下の付属品は取り外してください。

 8cm CD/DVD 用アタッチメント

 CD/DVD 印刷位置確認用シート（お試し印刷用）

注意
- 本製品に付属のトレイをお使いください。他の機種用のトレイは使用できません。
- 8cm CD/DVDへのコピー、およびメモリカードからの CD レーベル印刷はできません。
  8cm CD/DVDへ印刷したい場合は、パソコンと接続してお使いください。
  『PM-A900 電子マニュアル』

5 トレイを CD/DVD ガイドにセットします。

図の向きに従ってトレイを挿入し、トレイとCD/DVDガイドの ▶/◀ マークを合わせます。

三角マークを合わせます。

（次ページに続く）

コピー

コピー方法

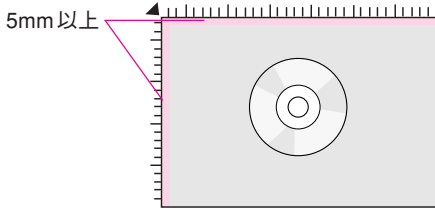
1 CD/DVD をセットします。

本書 27 ページ「CD/DVD のセット方法」

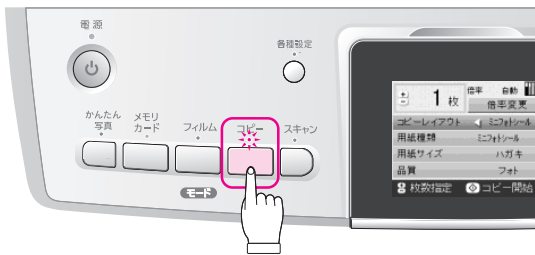
2 原稿をセットします。

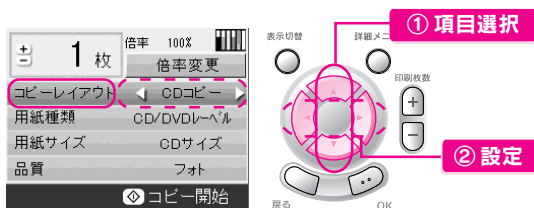
本書 16 ページ「コピー手順の流れ」 手順 3

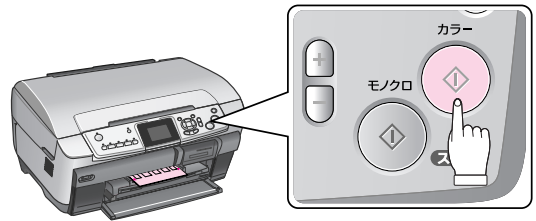
原稿はできるだけ傾かないように置いてください。

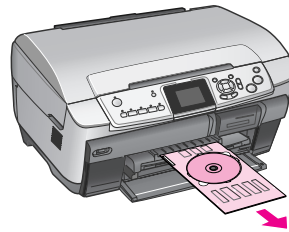
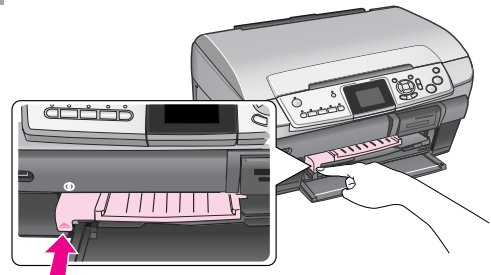
なお、原点マークから5mm以上離してください。ＣＤやＬ判写真などの小さい原稿は、原稿台の中央付近に置いてもかまいません。

補足情報

原稿の中心から読み取れる最大の正方形領域がスキャンされます。印刷時は正方形領域を、CD/DVD サイズに拡大/縮小し、ドーナツ状にくり抜いて印刷します。

3 [コピー] ボタンを押して、コピーモードにします。

4 コピーレイアウトを［CD コピー］に設定し、必要に応じて詳細メニューの設定をします。

本書 20 ページ「詳細設定（詳細メニュー）」

5 [カラー] ボタンを押して、コピーを実行します。

コピー結果が印刷されます。

CD/DVD の取り出し方法

1 印刷が終了したことを確認し、CD/DVD トレイごと、引き抜きます。

2 CD/DVD ガイドを収納します。

こんなときは

印刷結果のずれが気になる

印刷位置を微調整できます。

本書 83 ページ「印刷位置調整」

以上で、CD コピーの手順説明は終了です。

メモリカードについて

使用できるメモリカードとセット位置

メモリースティックPRO、メモリースティックPRO Duo、マジックゲートメモリースティック、マジックゲートメモリースティックDuoの著作権保護機能には対応しておりません。また、メモリースティックPRO、メモリースティックPRO Duoの高速転送機能には対応しておりません。

印刷できる画像ファイル形式

本製品で印刷できる画像ファイルの形式は以下の通りです。ただし、フォルダ名やファイル名にひらがなや漢字などが使用されていると認識されません。フォルダ名や各写真のファイル名には、半角英数字をご使用ください。

デジタルカメラ	DCF*1 Version 2.0 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF*1 Version 1.0 または 2.0 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG*2 形式、TIFF*2 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横 80 ～ 4600 ピクセル、縦 80 ～ 4600 ピクセル
最大ファイル数	999 個

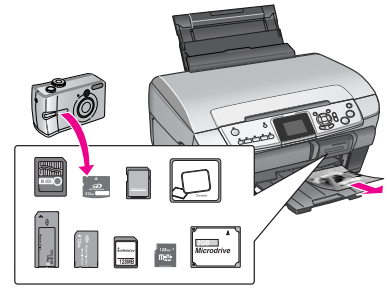
*1 DCFは、社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design Rule for Camera File system」規格の略称です。
*2 Exif Version 2.21 準拠。

メモリカード印刷手順の流れ

1

電源をオンにします。

本書8ページ「コピーしてみよう」手順 1

2

メモリカードの種類とセット位置を確認し、メモリカードをセットします。

本書29ページ「メモリカードについて」
本書10ページ「①メモリカードをセットします」手順 1

- スロット横のランプが点滅しているときは、メモリカードを取り出さないでください。メモリカードに保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- セットできるメモリカードは1枚のみです。同時に2種類以上のメモリカードをセットすることはできません。異なる種類のメモリカード内の写真を印刷したい場合は、1枚目の印刷終了後、挿入されているメモリカードを取り出し、2枚目のメモリカードをセットして、印刷を実行してください。
- ご利用のメモリカードによっては、メモリカードを通して伝わる静電気により、本製品が誤動作することがあります。メモリカードをセットした後は、取り出すときまで、必ずカバーを閉じておいてください。カバーを閉じておくことで、メモリカードおよびメモリカードに記録されているデータを静電気から守ります。

3

印刷用紙をセットします。

- 写真用紙やハガキなどを背面オートシートフィーダにセットする場合
  本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
- A4サイズの普通紙をセットする場合
  本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
- CD/DVDをセットする場合
  本書27ページ「CD/DVDのセット方法」

4

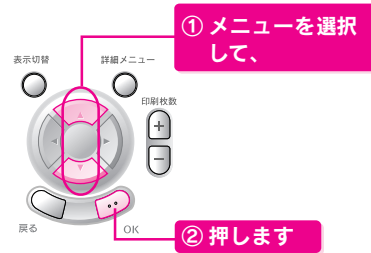
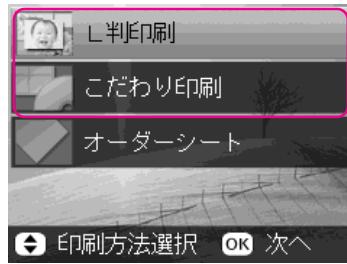
操作パネルの メモリカード ボタンを押して、メモリカードモードにします。

メモリカードモードのランプが点灯します。

① 押して、 ② ランプが点灯したことを確認します。

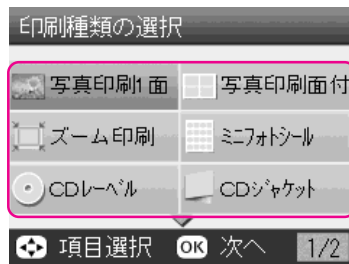
補足情報

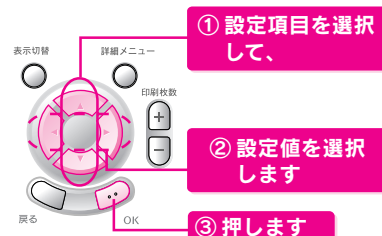
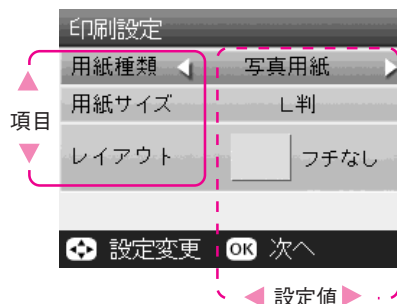
- 電源をオンにした直後（初期動作中）は、ボタンを押しても反応しません。
- 液晶ディスプレイが暗くなっているとき（省エネモード中）やスクリーンセーバー起動中は、メモリカード ボタンを2回押してください。

5 メニューから、［L 判印刷］または［こだわり印刷］を選択します。

L 判印刷	複雑な設定をせずに、L 判のフチなし写真プリントができます（モノクロ印刷はできません）。手順 8 へ
こだわり印刷	レイアウト設定や画質調整など、いろいろな設定をして印刷できます。
オーダーシート	操作パネルで写真の選択や印刷設定をせずに、オーダーシート（写真プリント注文用紙）に手書きでマークを付けるだけで、簡単に写真プリントができます。詳しくは以下をご覧ください。 本書 45 ページ

「L 判印刷」を選択した場合は、手順 8 へ進みます。
［オーダーシート］を選択した場合は、45 ページをご覧ください。

6 印刷種類を選択します。

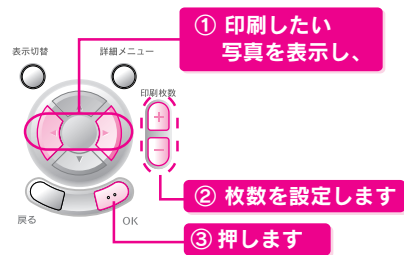
印刷種類については、以下をご覧ください。
本書 37 ページ「いろいろな印刷の手順」

7 印刷設定をします。

本書 35 ページ「印刷設定」

こんなときは

日付印刷や画質調整など、もっと詳細な設定がしたい

詳細メニューボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。
本書 35 ページ「詳細設定（詳細メニュー）」

8 印刷したい写真を表示して、印刷枚数を設定します。

複数の写真を選択する場合は、①と②の手順を繰り返し、最後に OK ボタンを押します。

こんなときは

- **写真を分割表示やスライドショーで確認したい**
  表示切替 ボタンで、「9 面表示」→「スライドショー」→「1 面表示」の順に、写真の表示を切り替えることができます。☞次ページ「写真の表示切替と枚数設定」
- **写真を一括で選択（枚数設定）したい**
  詳細メニュー ボタンを押すと、［写真選択］画面が表示され、一括選択や範囲選択などができます。
  ☞本書 34 ページ「写真の一括選択 / 設定（詳細メニュー）」

9 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

印刷部数は「こだわり印刷」でのみ設定できます。各写真の印刷設定 / 印刷枚数を 1 セットとして、何部印刷するかを設定します。

補足情報

印刷できる合計枚数は最大 999 枚です。手順 8 で設定した印刷枚数の合計と、手順 9 の印刷部数を掛け合わせた合計枚数が、999 枚を超えないようにしてください。

詳細な設定がしたい

詳細メニュー ボタンを押すと、詳細設定画面が表示されます。日付印刷や画質調整などの設定ができます。
☞本書 35 ページ「詳細設定（詳細メニュー）」

10 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

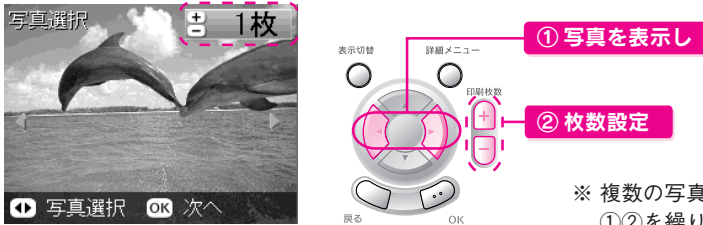
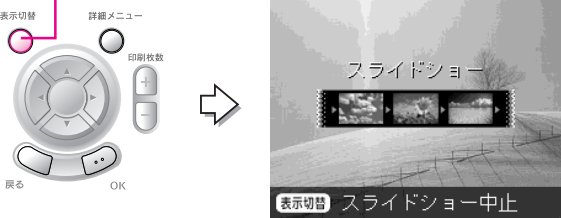
カラー ボタンを押すとカラーで印刷、モノクロ ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

印刷を途中で止めたい場合は

ストップ ボタンを押します。印刷が中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。印刷が中止されるまでには、多少時間がかかる場合があります。

11 印刷が終了したら、メモリカードを取り出します。

ランプが点滅していないことを確認して、取り出してください。
☞本書 13 ページ「③L判サイズの写真用紙にフチなし印刷します」手順 5

以上で、メモリカード印刷の手順説明は終了です。

操作パネルの設定項目の詳細

メモリカードモードでの操作方法や設定項目 / 設定値について説明しています。

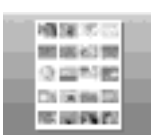
写真の表示切替と枚数設定

写真選択の際、表示切替ボタンを押すと、写真の表示を切り替えることができます。

本書 32 ページ「メモリカード印刷手順の流れ」 手順 8

写真の一括選択 / 設定（詳細メニュー）

☞本書32ページ「メモリカード印刷手順の流れ」手順 8

［写真選択］画面が表示されているとき

全て 1 枚選択	メモリカード内の写真をすべて 1 枚ずつ印刷するように設定します。 1 面表示　9 面表示 すべての写真が 1 枚印刷に設定されます。 ※このあと、個別に印刷枚数を変更することもできます。
範囲選択	メモリカード内の写真のうち、印刷したい写真の範囲（2～5 コマ目など）を指定し、一括で枚数設定します。 1 初めの写真（コマ）を選択します。 範囲選択中　写真選択　OK 次へ 1 面表示　9 面表示 ① 初めの写真を表示　② 押す 2 終わりの写真（コマ）を選択します。 写真選択　1枚　写真選択　OK 次へ 1 面表示　9 面表示 ③ 終わりの写真を表示　④ 押す ※このあと、個別に印刷枚数を変更することもできます。 3 OK ボタンを押します。
枚数設定クリア	すべての写真の印刷枚数設定を、設定なしの状態「ーー枚」にします。上記で一括設定した枚数（写真選択）を、一度にキャンセルすることができます。
DPOF	DPOF（ディーポフ）情報※の入ったメモリカードをセットすると有効になります。DPOF の設定で印刷することができます。 ※デジタルカメラ側で「印刷する写真」や「印刷枚数」を設定した情報（印刷写真指定機能）。

印刷設定

本書31ページ「メモリカード印刷手順の流れ」手順 7
設定値の組み合わせによっては、設定できない項目や設定値があります。CDレーベル/CDジャケット印刷時の設定値については、各印刷手順のページをご覧ください。本書41、42ページ

設定項目	設定値（初期値は印刷種類によって異なります）
【用紙種類】※ セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいに印刷できます。	写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/普通紙（前面）/普通紙（背面）/郵便IJハガキ/郵便ハガキ/光沢ハガキ/両面マット紙 普通紙の場合は、前面/背面どちらのオートシートフィーダを使用するかを選択してください。
【用紙サイズ】 セットした用紙のサイズを設定します。	A4/L判/2L判/ハガキ/六切/名刺/カード
【レイアウト】 1枚の用紙にどのような配置で印刷するか（何枚の写真を面付けするか）指定します。	フチなし(1面)　フチあり(1面)　上半分(1面)　ユーザー定義（P.I.F.）（P.I.F.データの入ったメモリカードの場合のみ） PIF1 2面　4面　8面 20面　80面（インデックス） • 20面/80面は、各写真の下にコマ番号や日付が必ず印刷されますので、インデックス印刷（写真一覧）としてご利用になれます。 • 80面はカラー印刷のみ対応 詳細設定の【フィルタ】で［セピア］、【自動調整】で［オートフォトファイン］を選択しないでください。

※用紙ごとの設定値については、本書99ページ「機能別　使用できる用紙/使用できない用紙」をご覧ください。

詳細設定（詳細メニュー）

［印刷設定］画面の表示中に 詳細メニュー ボタンを押すと、［詳細設定］画面が表示され、以下の設定ができます。
また、［写真選択］画面の表示中に 詳細メニュー ボタンを押し、◀ボタンを押すと、設定可能になります。
設定値の組み合わせによっては、設定できない項目や設定値があります。

設定項目	設定値（下線は初期値）
【日付印刷】※ 撮影した日付を入れて印刷します。	<u>しない</u>：日付を入れない　2004年4月14日の場合の例 yyyy.mm.dd：年、月、日の順で印刷する　例）2004.04.14 mmm.dd.yyyy：英語表記で月、日、年の順で印刷する　例）Apr.14.2004 dd.mmm.yyyy：英語表記で日、月、年の順で印刷する　例）14.Apr.2004
【時刻印刷】※ 撮影した時刻を入れて印刷します。	<u>しない</u>：時刻を入れない　午後8時35分の場合の例 12時間：12時間表記で時間と分を印刷する　例）8:35 24時間：24時間表記で時間と分を印刷する　例）20:35
【品質】 印刷品質を設定します。	速い／<u>きれい</u>／フォト
【フィルタ】 画像に対して特殊効果を加えて印刷する場合に指定します。	<u>なし</u>：フィルタを指定しない セピア：セピア色で印刷

※
- 日付/時刻印刷は、レイアウトによっては設定しても印刷されない場合があります（例：L判に2面以上、2L判やハガキに4面以上の面付けレイアウトを選択した場合、20面/80面のレイアウトを選択した場合など）。
  なお、20面/80面は各写真の下に写真情報（コマ番号・日付）として印刷されます。
- スキャンしたデータをメモリカードに保存する機能（スキャンモードの［スキャンしてメモリカードに保存］、またはフィルムモードの［メモリカードに保存］）を使用してメモリカードに保存されたデータの場合、日付印刷/時刻印刷の設定は無効となり印刷されません。

（次ページに続く）

設定項目	設定値　（下線は初期値）
【自動調整】 画像を最適な色合いに自動補正して印刷する場合に指定します。	P.I.M.：PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。 オートフォトファイン： 画像に合わせて最適な補正をして印刷します。 Exif：ExifPrint（イグジフプリント）機能搭載のデジタルカメラで撮影した際に、写真データに付加されるプリント指示情報に基づいて最適な補正をして印刷します。 なし：画像を補正せずに印刷します。
【明るさ調整】 印刷結果の明るさを 5 段階で調整します。	より暗く / 暗く / 標準 / 明るく / より明るく -2　-1　0　+1　+2
【コントラスト】 印刷結果のコントラストを 3 段階で調整します。	標準 / 強く / より強く 0　+1　+2
【シャープネス】 印刷結果のシャープさを 5 段階で調整します。	ソフトフォーカス強 / ソフトフォーカス弱 / 標準 / シャープネス弱 / シャープネス強 -2　-1　0　+1　+2
【鮮やかさ調整】 印刷結果の鮮やかさを 5 段階で調整します。	よりくすんだ / くすんだ / 標準 / 鮮やか / より鮮やか -2　-1　0　+1　+2
【携帯写真印刷】 解像度の低い画像に最適な補正を加えて印刷する場合に指定します。	する：ノイズ除去しながら解像度補間を行う（多少印刷速度が遅くなります） しない：ノイズ除去を行わず、解像度補間のみ行う ※［自動調整］を「なし」に設定している場合は、機能しません。
【撮影情報印刷】 撮影したデジタルカメラの情報を入れて印刷します。	しない：撮影情報を入れない する：写真データの Exif 情報に基づいて撮影環境に関する情報を印刷する
【トリミング】 印刷枠に対して元画像をトリミング • パノラマ写真のように、長辺の画素数が短辺の画素数の 2 倍以上ある場合は、トリミングの設定が無効となります。 • フチなし / 上半分のレイアウトを選択した場合は、常にトリミングして印刷します。	する：印刷領域の一辺と画像の一辺のサイズを合わせて印刷します。 して印刷します。 横長の画像の場合は、縦の印刷領域に合わせて印刷します。印刷領域に収まらない上下(または左右)の画像が切り取られます。 元画像　用紙サイズ（印刷領域） しない：画像データを切り取ることなく用紙サイズの印刷領域に収まるように印刷します。 元画像　用紙サイズ（印刷領域）
【双方向印刷】 プリントヘッドが左右どちらに移動するときも（双方向に）印刷します。	する：双方向印刷により印刷速度が速くなります。ただし、印刷品質は多少低下します。 しない：片方向でのみ印刷するため、印刷ギャップがなく、高品質になります。ただし、印刷速度が多少低下します。
【P.I.F. 関連付け】 P.I.F. のレイアウト関連付け印刷をする場合に指定します。	しない：P.I.F. のレイアウト関連付け印刷を行わない する：各画像に関連した P.I.F. スクリプト（レイアウト）に従って印刷する ※P.I.F. データの入ったメモリカードをセットしたとき、「L 判印刷」または「こだわり印刷<写真印刷 1 面>、かんたん写真モードの「L 判印刷（全画像）」を選択したときのみ有効になります。

いろいろな印刷の手順

1 写真印刷（1 面）

余白の設定ができます。

フチなし：
余白なし

フチあり：
余白 3mm

上半分：
用紙の上半分にレイアウト(3辺余白なし)

余白にメッセージなどが書き込めます。

1 メモリカードをセットします。
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

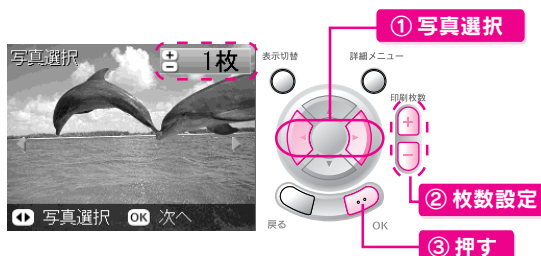
2 印刷用紙をセットします。
本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
本書7ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［写真印刷 1 面］を選択します。

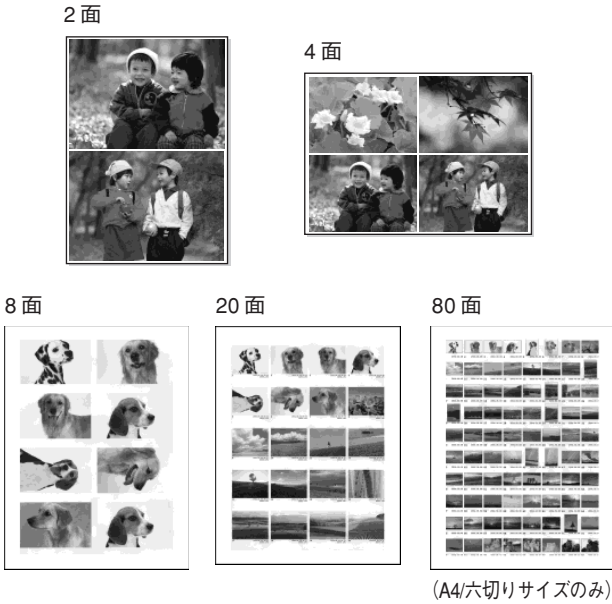
6 印刷設定をします。
必要に応じて、[詳細メニュー] ボタンを押して詳細設定をします。
本書 35 ページ「印刷設定」/「詳細設定」

7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。
本書 33 ページ「写真の表示切替と枚数設定」

8 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

9 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で写真印刷（1 面）の手順説明は終了です。

2 写真印刷（面付）

1 枚の用紙に 2 面以上の面付けレイアウトで印刷します。

2 面

4 面

8 面

20 面

80 面

（A4/六切りサイズのみ）

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙をセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

本書7ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［写真印刷面付］を選択します。

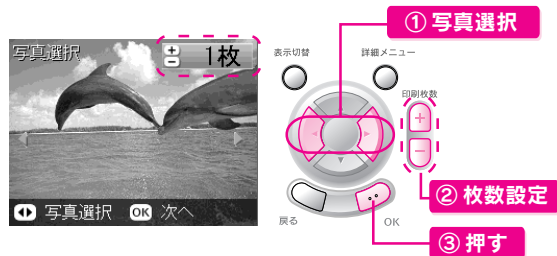
6 印刷設定をします。

必要に応じて、[詳細メニュー] ボタンを押して詳細設定をします。

本書 35 ページ「印刷設定」/「詳細設定」

7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

本書 33 ページ「写真の表示切替と枚数設定」

こんなときは

印刷レイアウトについて

選択された写真が、設定枚数分ずつ順番に面付け（レイアウト）されます。

4 面レイアウトで、写真 A を 2 枚、写真 B を 1 枚（合計 3 枚）選択した場合、右図のように印刷されます。

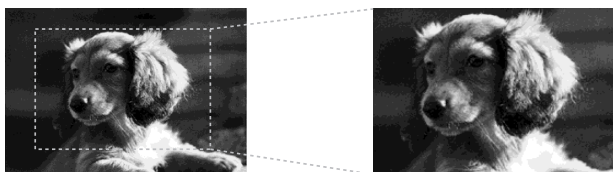
8 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

8 面以上のレイアウトの場合は、固定のレイアウトサンプルが表示されます（選択した写真の画像は表示されません）。

9 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で写真印刷（面付）の手順説明は終了です。

3 ズーム印刷

写真の一部分を拡大（ズームアップ）して印刷することができます。

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙をセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

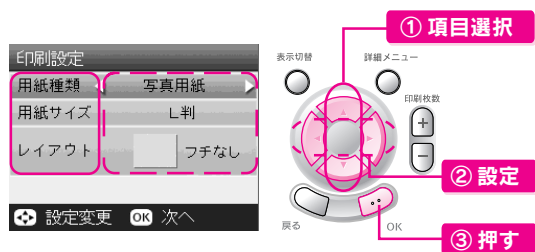
3 メモリカード ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［ズーム印刷］を選択します。

6 印刷設定をします。

必要に応じて、詳細メニュー ボタンを押して詳細設定をします。

本書 35 ページ「印刷設定」/「詳細設定」

補足情報

2面以上のレイアウト（面付け）を選択した場合は、同じ写真が面付け分印刷されます。

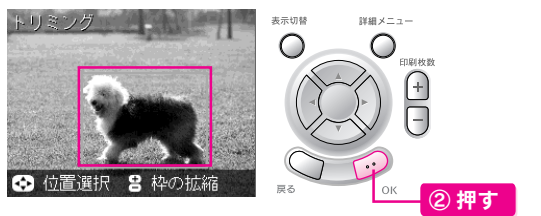
7 印刷したい写真を選択します。

1 枚だけ選択できます。

補足情報

ズーム印刷では、表示の切り替え（9 面表示 / スライドショー）はできません。

8 ズームアップ（トリミング）する範囲を設定します。

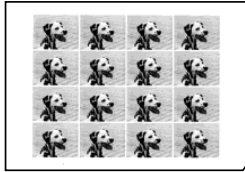
画面上に表示される枠の部分（範囲）がズーム印刷されます。

9 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

10 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、ズーム印刷の手順説明は終了です。

4 ミニフォトシール印刷

エプソン製の専用紙「ミニフォトシール」(ハガキサイズ) に、写真を 16 面付けレイアウトで印刷し、小さなシールを作ります。

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙（ミニフォトシール）を、背面オートシートフィーダにセットします。

ミニフォトシールに付属の「給紙補助シート A/B」を下に敷いて、1 枚ずつセットしてください。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［ミニフォトシール］を選択します。

6 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

本書 33 ページ「写真の表示切替と枚数設定」

印刷レイアウトについて

- 写真を複数選択した場合、選択された写真が、設定枚数分ずつ順番に 16 面付け（レイアウト）されます。合計枚数が 16 未満の場合は、余白ができます。

- 写真を 1 枚だけ選択した場合（合計枚数が 1 枚の場合）は、同じ写真が16個印刷されます。

7 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

必要に応じて、[詳細メニュー] ボタンを押して詳細設定をします。

本書 35 ページ「印刷設定」/「詳細設定」

固定のレイアウトサンプルが表示されます（選択した写真の画像は表示されません）。

注意 ミニフォトシール用紙のセット可能枚数は「1 枚」です。複数枚（部）印刷する場合は、1 枚ずつセットしてください。

8 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

印刷位置がずれて、シールからはみ出してしまう

各種設定モードの「シール上下/左右調整」で、印刷位置を微調整できます。

本書 83 ページ「印刷位置調整」

以上で、ミニフォトシール印刷の手順説明は終了です。

5 CD レーベル印刷

写真を CD/DVD のレーベルに直接印刷します。

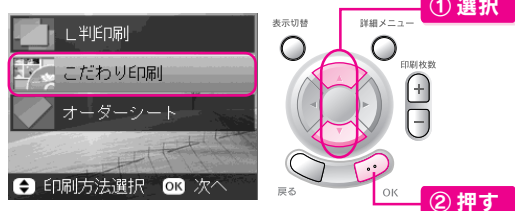
1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 CD/DVD をセットします。

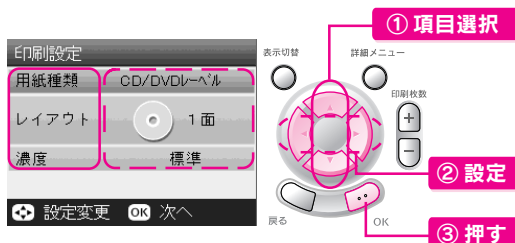
本書 27 ページ「CD/DVD のセット方法」
本書98ページ「使用できるCD/DVDと印刷時の注意」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

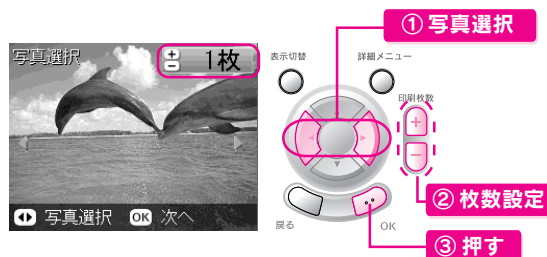
4 [こだわり印刷] を選択します。

5 [CD レーベル] を選択します。

6 印刷設定をします。

必要に応じて、[詳細メニュー] ボタンを押して詳細設定をします。

本書 35 ページ「印刷設定」/「詳細設定」

設定項目	設定値		
用紙種類	CD/DVD レーベル		
レイアウト	1 面	4 面	12 面
濃度	標準 / 濃く / より濃く		

7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

本書 33 ページ「写真の表示切替と枚数設定」

補足情報

設定したレイアウトの面付け数を超えないように、印刷枚数を設定してください。

1 面の場合　：1 枚のみ
4 面の場合　：4 枚まで
12 面の場合　：12 枚まで

8 印刷設定を確認します。

固定のレイアウトサンプルが表示されます（選択した写真の画像は表示されません）。

9 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

10 CD/DVD トレイごと引き抜き、CD/DVD を取り出します。

11 CD/DVD ガイドを収納します。

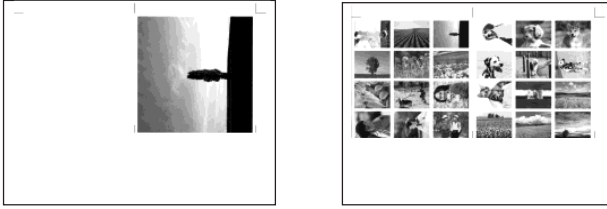
印刷位置がずれて、レーベルからはみ出してしまう

各種設定モードの「CD/DVD 上下 / 左右調整」で、印刷位置を微調整できます。

本書 83 ページ「印刷位置調整」

以上で、CD レーベル印刷の手順説明は終了です。

6 CD ジャケット印刷

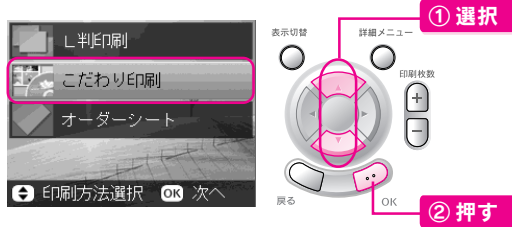
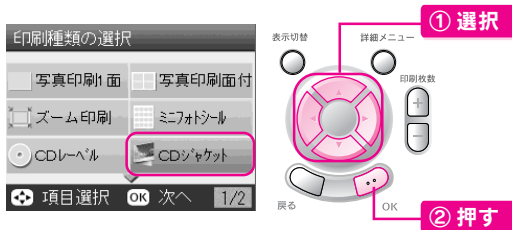
A4 サイズの用紙に、CD ケースのサイズにレイアウトして印刷します。切り取りガイドに沿って切り取ると、CD ジャケットになります。

1 メモリカードをセットします。

☞本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

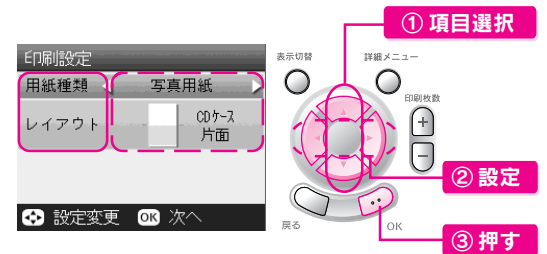
2 印刷用紙をセットします。

☞本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
☞本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

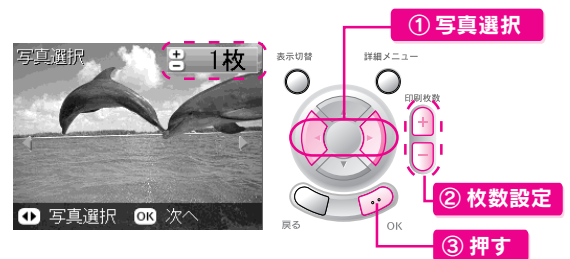
3 メモリカード ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［CD ジャケット］を選択します。

6 印刷設定をします。

必要に応じて、詳細メニュー ボタンを押して詳細設定をします。

☞本書 35 ページ「印刷設定」/「詳細設定」

設定項目	設定値	
用紙種類	写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/普通紙（前面）	
レイアウト	CD ケース片面	CD ケースインデックス

7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

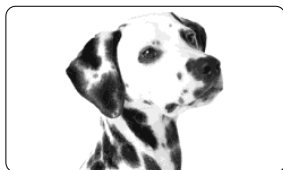
☞本書 33 ページ「写真の表示切替と枚数設定」

8 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

［CD ケース片面］の場合は選択した写真の画像が表示されますが、［インデックス］の場合は固定のレイアウトサンプルが表示されます。

9 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、CD ジャケット印刷の手順説明は終了です。

7 名刺 / カード印刷

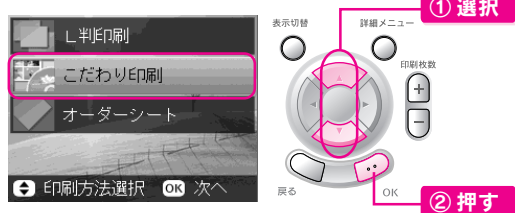
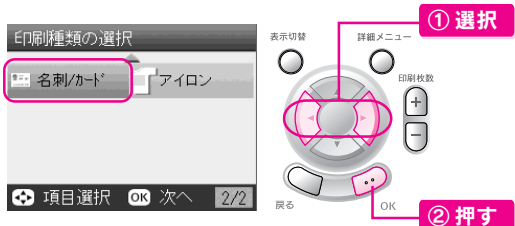
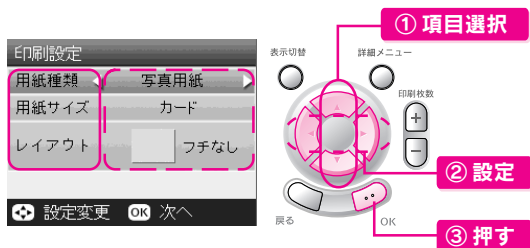
名刺またはカードサイズの用紙に、写真を印刷します。

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙（名刺またはカードサイズ）を、背面オートシートフィーダにセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

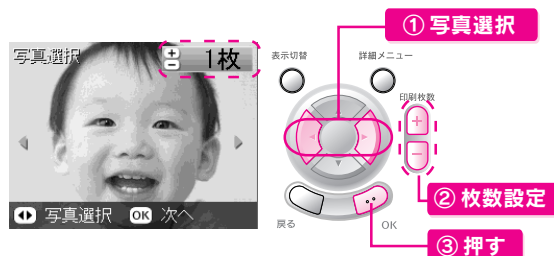
3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［名刺 / カード］を選択します。

6 印刷設定をします。

必要に応じて、[詳細メニュー] ボタンを押して詳細設定をします。

本書 35 ページ「印刷設定」/「詳細設定」

設定項目	設定値	
用紙種類	写真用紙	両面マット紙
用紙サイズ	カード	名刺
レイアウト	フチなし	フチなし フチあり

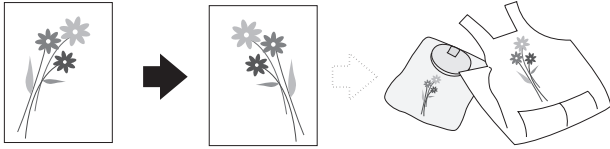
7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

本書 33 ページ「写真の表示切替と枚数設定」

8 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

9 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、名刺 / カード印刷の手順説明は終了です。

8 アイロンプリント紙に印刷

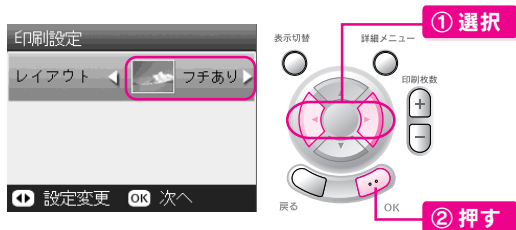
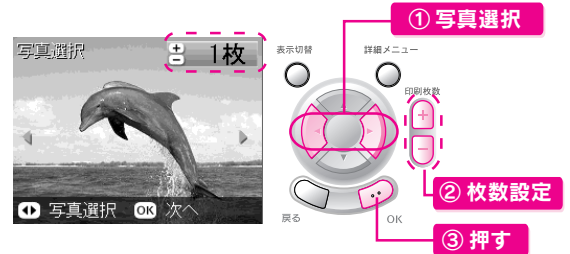
アイロンプリントペーパーに写真を印刷し、アイロンを使って布（綿100%または綿50%以上の混紡）に転写すると、オリジナルのTシャツやエプロンなどが作れます。

1 メモリカードをセットします。
本書10ページ「①メモリカードをセットします」

2 印刷用紙（アイロンプリントペーパー）を、背面オートシートフィーダにセットします。
アイロンプリントペーパーは1枚ずつセットしてください。
本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［アイロン］を選択します。

6 印刷設定をします。
必要に応じて、[詳細メニュー] ボタンを押して詳細設定をします。
本書35ページ「印刷設定」/「詳細設定」

7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。
本書33ページ「写真の表示切替と枚数設定」

8 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

8面以上のレイアウトの場合は、固定のレイアウトサンプルが表示されます（選択した写真の画像は表示されません）。

注意 アイロンプリントペーパーのセット可能枚数は「1枚」です。複数枚（部）印刷する場合は、1枚ずつセットしてください。

9 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、アイロンプリント紙に印刷する手順説明は終了です。

この後のアイロンを使った転写の方法については、アイロンプリントペーパーの取扱説明書をご覧ください。

9 オーダーシートを使って写真プリント

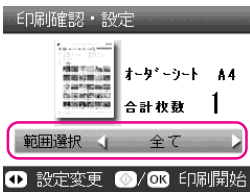
操作パネルで写真の選択や印刷設定をせずに、オーダーシート（写真プリント注文用紙）に手書きでマークを付けるだけで、簡単に写真プリントができます。

①オーダーシートの印刷

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

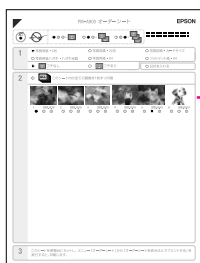
2 印刷用紙（A4普通紙）を、前面オートシートフィーダにセットします。

本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

3 ［オーダーシート］を選択します。

4 ［オーダーシートを印刷する］を選択します。

5 オーダーシートに印刷する写真の範囲を選択し、OKボタンを押します。

下図のようなオーダーシートが印刷されます。

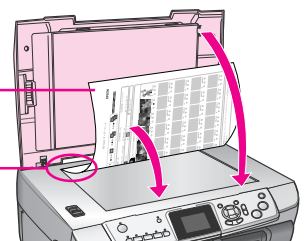
設定項目	設定値	
範囲選択	全て	メモリカード内のすべての写真を印刷します。
	最新の 30 枚	ファイル名順に新しいものから30枚まで印刷します。
	最新の 60 枚	ファイル名順に新しいものから60枚まで印刷します。
	最新の 90 枚	ファイル名順に新しいものから90枚まで印刷します。

※オーダーシート
1枚の用紙には、最大30枚の写真が印刷されます。

②オーダーシートに記入して写真プリント

1 印刷用紙と、印刷したい写真を選択して、オーダーシートにマークを付けます。

> **注意** オーダーシートへのマーク方法
> HBなどの濃い鉛筆か黒ペンでしっかりとマークしてください。
> 正しい記入例 ●
> 悪い記入例

2 ［オーダーシートを読み込んでプリントする］を選択します。

3 マークを付けたオーダーシートを図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。

4 印刷用紙をセットします。

手順 1 で選択した用紙をセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

5 カラーボタンを押して、印刷を実行します。

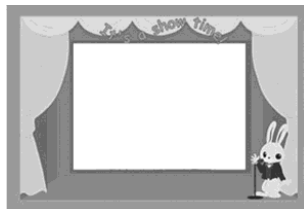
オーダーシートにマークした写真が印刷されます。

以上で、オーダーシート印刷の手順説明は終了です。

メモリカードから写真プリント

10 写真とフレームを合成して印刷（P.I.F.）

エプソンのPRINT Image Framer（プリントイメージフレーマー）は、写真データにフレーム※（飾り枠）や年賀状/カレンダーなどのレイアウト※（書式）を重ね合わせて、楽しい写真が印刷できます。
※：写真データに重ね合わせるフレームやレイアウトのデータを「P.I.F. フレーム」といいます。
付属の『ソフトウェア CD-ROM』やエプソンのホームページには、たくさんのP.I.F. フレームが用意されています。また、付属のアプリケーションソフトを使えば、オリジナルのP.I.F フレームを作成することもできます。
ぜひ、PRINT Image Framer を活用して、写真プリントをお楽しみください。
ここでは、パソコンからP.I.F. フレームを登録したメモリカードを本製品にセットしてP.I.F. 印刷する手順を説明します。

撮影した写真を使って

P.I.F. フレームを重ね合わせると、

楽しい写真の出来上がり！

①フレームデータを準備して、メモリカードに登録

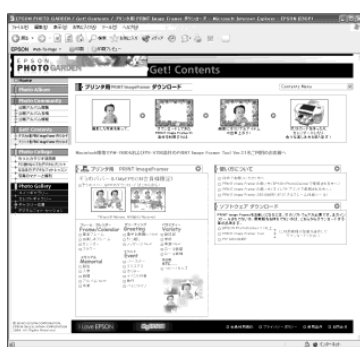
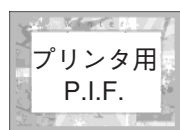
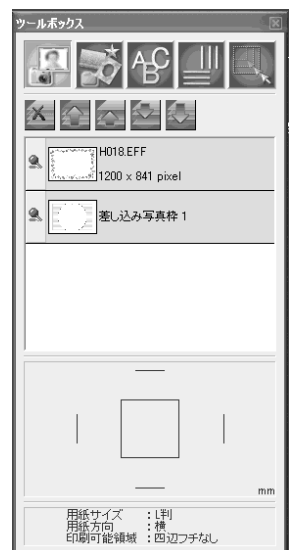
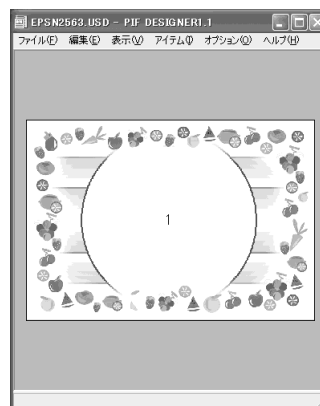
補足情報
以下の作業をするには、本製品とコンピュータを接続して、ソフトウェアをインストールしておく必要があります。インストール方法は『PM-A900 準備ガイド』（シート）をご覧ください。

すでに用意されているP.I.F. フレームを使う

付属の『ソフトウェア CD-ROM』またはエプソンのホームページからP.I.F. フレームデータを入手します。
上記一連の作業は、「EPSON PRINT Image Framer Tool」※（エプソンプリントイメージフレーマーツール）というソフトウェアを使って行います。
詳しくは、『PM-A900 電子マニュアル』をご覧ください。

オリジナルのP.I.F. フレームを作る

「PIF DESIGNER」※（ピフデザイナー）というソフトウェアを使って、P.I.F. フレームを作成します。
詳しくは、『PM-A900 電子マニュアル』をご覧ください。

※「EPSON PRINT Image Framer Tool」と「PIF DESIGNER」は、付属の『ソフトウェア CD-ROM』に収録されています。

メモリカードへ登録

②メモリカードに登録したP.I.F. フレームを確認（P.I.F. 一覧印刷）

P.I.F. 一覧には、確認用のサンプル画像とレイアウトを指定するためのファイル名が印刷されます。本製品の操作パネル上でレイアウトを指定するために必要ですので必ず印刷してください。

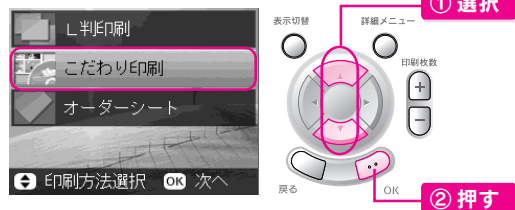
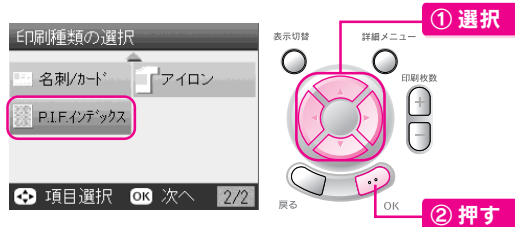
1 P.I.F. フレームが登録されたメモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 P.I.F. 一覧を印刷するための、A4サイズの普通紙をセットします。

本書7ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択します。

5 ［P.I.F. インデックス］を選択します。

6 印刷部数を設定します。

※ A4 普通紙（前面）、80 面に固定

7 [カラー] ボタンを押して、印刷します。

P.I.F. 一覧が印刷されます。

③ P.I.F. 印刷の実行

1 P.I.F. フレームと写真が入ったメモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

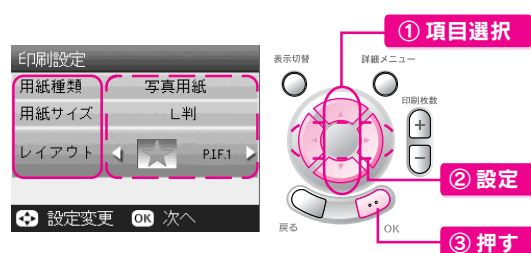
2 印刷用紙をセットします。

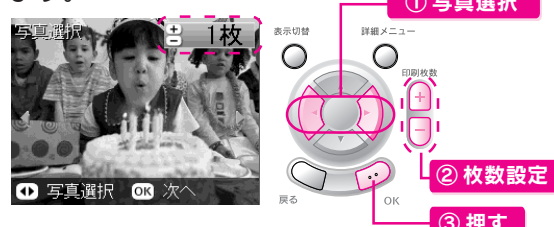
本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

3 [メモリカード] ボタンを押して、メモリカードモードにします。

4 ［こだわり印刷］を選択し、[OK] ボタンを押します。

5 ［写真印刷１面］または［写真印刷面付］を選択します。

6 印刷設定の［レイアウト］で、②の手順で印刷したP.I.F. 一覧を確認し、合成したいフレームのファイル名を選択します。

［用紙サイズ］はP.I.F. フレームのサイズにより固定となります。

7 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

8 印刷部数を設定します。

9 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

フレームやレイアウトの付いた写真が印刷されます。

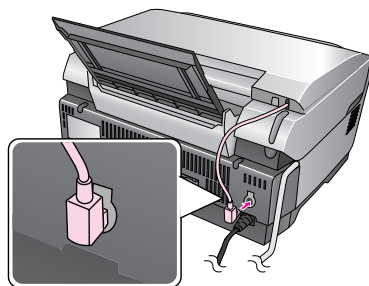
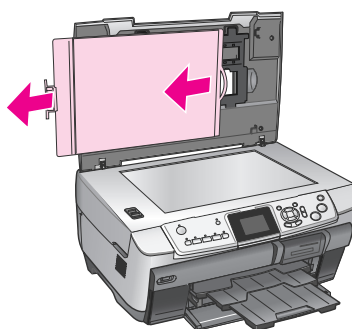
補足情報

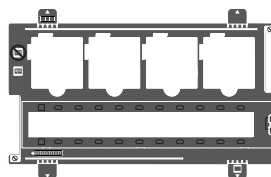
- P.I.F. は1回の印刷で1種類しか使用できません。
- P.I.F. が指定されている写真を選択した場合は、ここでの設定は無効となり、指定レイアウトが優先されます。
- 写真ごとに P.I.F. が指定されているメモリカードから印刷する場合は、P.I.F. 関連付けの設定をして印刷してください。
   本書 36 ページ「P.I.F. 関連付け」

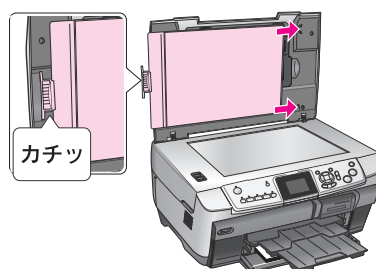
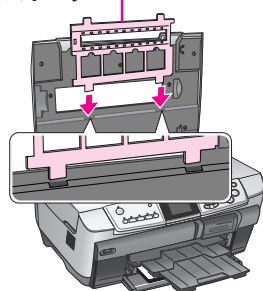
以上で、P.I.F. 印刷の手順説明は終了です。

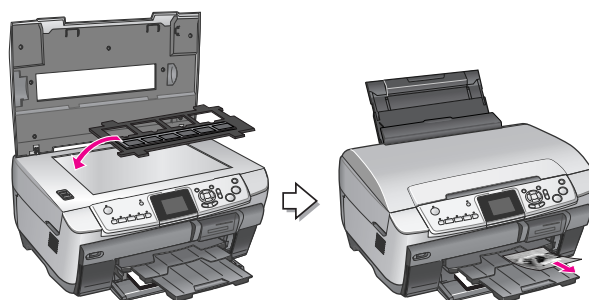
フィルムスキャンの事前準備

1 フィルムスキャンケーブルが接続されていることを確認します。

注意
- フィルムスキャンケーブルを接続するときは、電源をオフにしてください。
- フィルムスキャンケーブルは、本製品以外には接続しないでください。

2 保護マットを取り外します。
保護マットを取り外すことにより、フィルムなどの透過原稿のスキャンが可能になります。

3 付属のフィルムホルダを用意します。

補足情報
フィルムホルダを使用しないときは、原稿カバー内に収納しておくことができます。
☞下記「フィルムホルダを使用しないときは」

こんなときは

フィルムホルダを使用しないときは
フィルムホルダはフィルムスキャンするとき以外は使用しません。
使用しないときは、原稿カバー内に収納しておくことができます。

保護マットを原稿カバーの溝にはめ込み、左側の持ち手の部分を「カチッ」とロックします。

フィルム印刷の手順

使用できるフィルムの種類

本製品で使用できるフィルムは以下の通りです。

35mm ストリップフィルム（ネガ / ポジ）	35mm マウント（スライド）フィルム
一般の 35mm フィルムを 6 コマ単位で切ったフィルム （スリーブフィルム）	スライド用に、カラーポジフィルムを 1 枚ずつ切って、プラスチックなどの枠に挟んだフィルム。厚さ2mm以内のものが使用できます。
＜フィルムタイプ＞ ■カラーネガフィルム カラー画像の濃淡が反転して記憶されているフィルム ■モノクロネガフィルム モノクロ画像の濃淡が反転して記憶されているフィルム ■カラーポジフィルム カラー画像がそのまま再現されているフィルム （カラースライド用のフィルム）	＜フィルムタイプ＞ ■カラーポジフィルム カラー画像がそのまま再現されているフィルム （カラースライド用のフィルム）

- フィルムを取り扱う時は、指紋や手の油が付かないように、フィルムの端を指で挟んで持つか、または手袋をはめてください。
- 極端に暗い（または明るい）画像や、露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像などのフィルムの濃淡によっては、思った通りに画像を取り込めないことがあります。その場合は、本製品をパソコンと接続して、パソコンからスキャナドライバを使って画像を取り込んでください。スキャナドライバでは、ホームモードまたはプロフェッショナルモードで［通常表示］を選んでください。詳しくは『PM-A900 電子マニュアル』の「スキャナ編」をご覧ください。
- ストリップフィルムには、6 コマのピッチ（コマとコマの間隔）が異なるものがあります。その場合は、1 コマずつ正常に読み込めない場合があります。

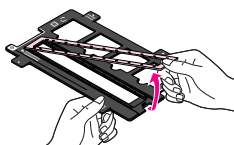
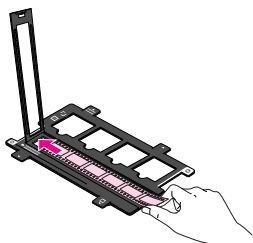
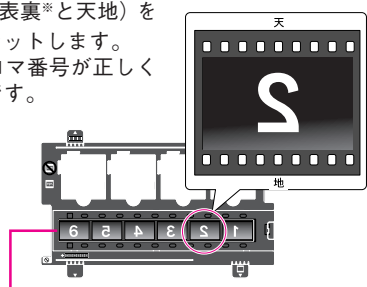
フィルムのセット方法

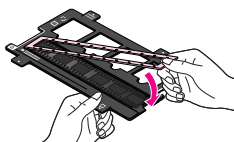
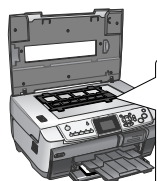
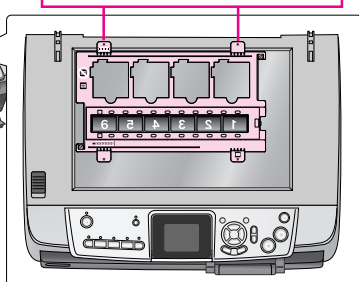
「35mm ストリップフィルム」と「35mm マウント（スライド）フィルム」は、それぞれセット方法が異なります。

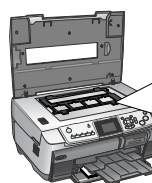
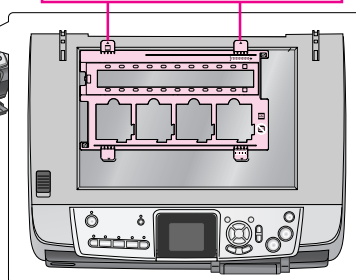
- 「35mm ストリップフィルム」と「35mm マウント（スライド）フィルム」を同時にセットしないでください。
- フィルムは正しい向きにセットしてください。画像を取り込んだ後に反転することはできません。

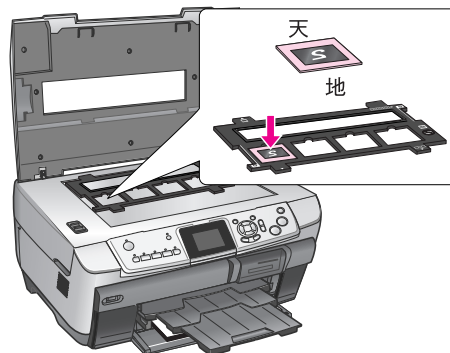
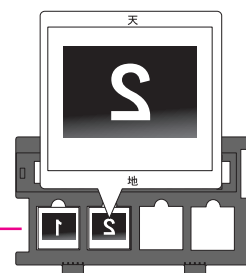
35mm ストリップフィルム（ネガ/ポジ）の場合

1 ストリップフィルムをフィルムホルダにセットします。

① カバーを開きます。

② フィルムをセットします。

フィルムの向き（表裏※と天地）を図のようにしてセットします。
※フィルム名やコマ番号が正しく読める面が表です。

6 コマ未満のフィルムの場合は、こちら側（左側）に詰めてセットしてください。

③ カバーを閉じます。

2 フィルムホルダを原稿台に置きます。

セットしたフィルム側が手前になるように置きます。

35mm マウント（スライド）フィルムの場合

1 フィルムホルダを原稿台に置きます。

マウントフィルム側（4 つの枠に仕切られている側）が手前になるように置きます。

2 マウントフィルムを 1 枚ずつ、フィルムホルダにセットします。

フィルムの向き（表裏と天地）を図のようにしてセットします。

こちら側（左側）から順に詰めてセットしてください。

フィルムから写真プリント

1 L判印刷

複雑な設定をせずに、L判サイズのフチなし写真プリントができます。

1 **電源をオンにします。**

本書8ページ「コピーしてみよう」手順 1

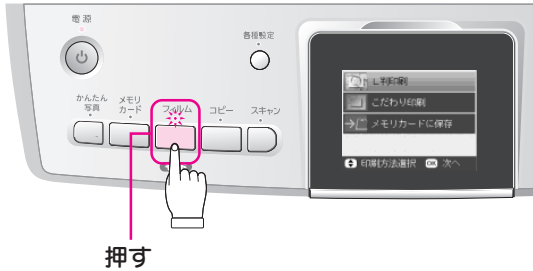
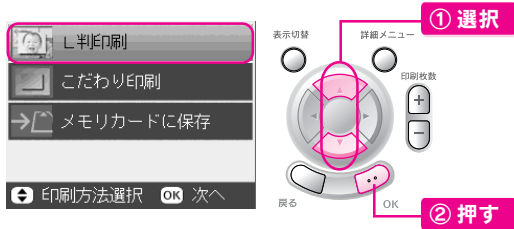
2 **L判サイズの写真用紙をセットします。**

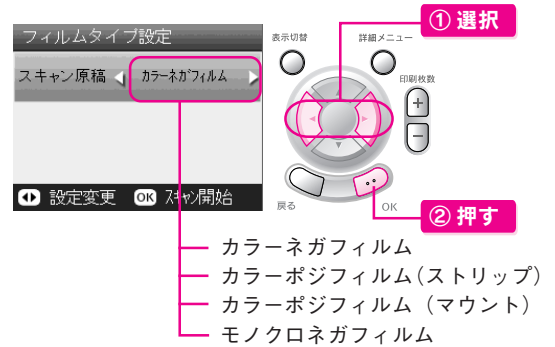
本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

3 **原稿台にフィルムをセットし、原稿カバーを閉じます。**

本書51ページ「フィルムのセット方法」

4 **フィルム ボタンを押して、フィルムモードにします。**

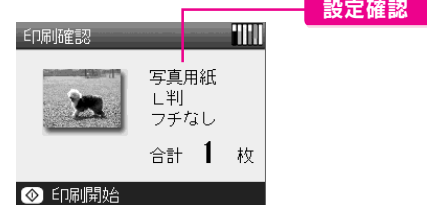
押す

5 **［L判印刷］を選択します。**

6 **セットしたフィルムのタイプを選択し、OK ボタンを押してフィルムをスキャンします。**

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

35mm ストリップフィルム
カラーネガフィルム（一般的なフィルムです） カラー画像の濃淡が反転して記録されるフィルム
カラーポジフィルム（ストリップ） カラー画像がそのまま再現されているフィルム
モノクロネガフィルム モノクロ画像の濃淡が反転して記録されているフィルム

35mm マウントフィルム（スライドフィルム）
カラーポジフィルム（マウント） スライド用にポジフィルムを1枚ずつ切ってプラスチックの枠に挟んだフィルム

7 **印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。**

複数の写真を選択するときは、①と②の手順を繰り返し、最後に OK ボタンを押します。

8 **印刷設定を確認します。**

9 **カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。**

カラー ボタンを押すとカラーで印刷、モノクロ ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

注意 印刷中は、原稿カバーを開けないでください。印刷前や終了後は、蛍光ランプが光っていても、原稿カバーを開けられます。

以上で、L判印刷の手順説明は終了です。

2 こだわり印刷<写真印刷>

用紙種類や余白（フチあり／フチなし）の設定、退色復元などの詳細設定をして印刷します。

1 電源をオンにします。

☞本書 8 ページ「コピーしてみよう」手順 1

2 印刷用紙をセットします。

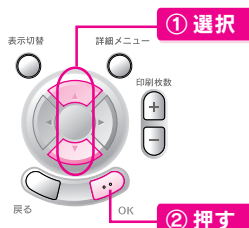
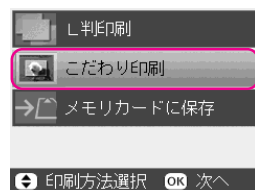
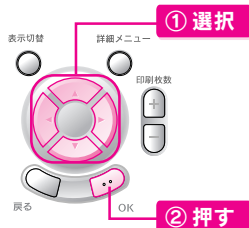
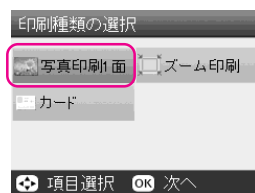
☞本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
☞本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

3 原稿台にフィルムをセットし、原稿カバーを閉じます。

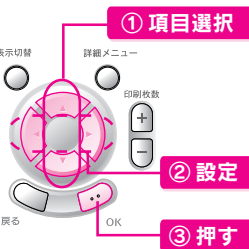
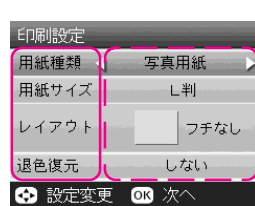
☞本書 51 ページ「フィルムのセット方法」

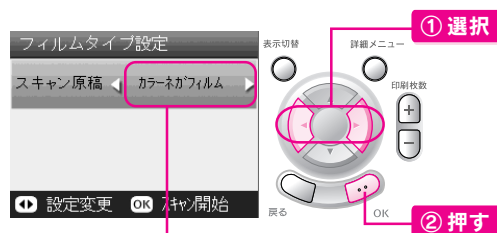
4 [フィルム] ボタンを押して、フィルムモードにします。

☞本書 52 ページ「L 判印刷」手順 4

5 ［こだわり印刷］を選択します。

6 ［写真印刷 1 面］を選択します。

7 印刷設定をします。

必要に応じて、[詳細メニュー] ボタンを押して詳細設定をします。

☞本書 56 ページ「印刷設定」／「詳細設定（詳細メニュー）」

8 セットしたフィルムのタイプを選択し、[OK] ボタンを押してフィルムをスキャンします。

フィルムタイプについては、前ページの手順 6 をご覧ください。
画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

9 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

複数の写真を選択するときは、①と②の手順を繰り返し、最後に [OK] ボタンを押します。

10 印刷設定を確認します。

11 [カラー] か [モノクロ] ボタンを押して、印刷を実行します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

注意 印刷中は、原稿カバーを開けないでください。印刷前や終了後は、蛍光ランプが光っていても、原稿カバーを開けられます。

以上で、こだわり印刷<写真印刷>の手順説明は終了です。

3 こだわり印刷＜ズーム印刷＞

写真の一部分を拡大（ズームアップ）して印刷することができます。

1 電源をオンにします。

本書 8 ページ「コピーしてみよう」手順 1

2 印刷用紙をセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

本書7ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

3 原稿台にフィルムをセットし、原稿カバーを閉じます。

本書 51 ページ「フィルムのセット方法」

4 フィルム ボタンを押して、フィルムモードにします。

本書 52 ページ「L 判印刷」手順 4

5 ［こだわり印刷］を選択します。

6 ［ズーム印刷］を選択します。

7 印刷設定をします。

本書53ページ「こだわり印刷＜写真印刷＞」手順 7

8 セットしたフィルムのタイプを選択し、OK ボタンを押してフィルムをスキャンします。

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

本書53ページ「こだわり印刷＜写真印刷＞」手順 8

9 印刷したい写真を選択します。

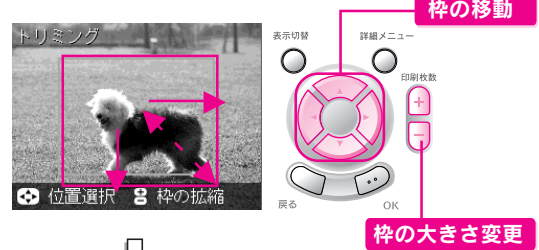
1 枚だけ選択できます。

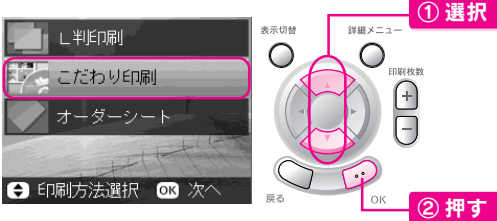
写真選択
写真選択 OK 次へ
① 写真選択
② 押す

補足情報

ズーム印刷では、表示の切り替え（9 面表示 / スライドショー）はできません。

10 ズームアップ（トリミング）する範囲を設定します。

画面上に表示される枠の部分（範囲）がズーム印刷されます。

11 印刷設定を確認し、印刷部数を設定します。

12 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、こだわり印刷（ズーム印刷）の手順説明は終了です。

4 こだわり印刷<カード>

エプソン製専用紙「写真用紙<光沢>カードサイズ」に印刷します。

1 電源をオンにします。

本書 8 ページ「コピーしてみよう」手順 1

2 写真用紙<光沢>カードサイズをセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

3 原稿台にフィルムをセットし、原稿カバーを閉じます。

本書 51 ページ「フィルムのセット方法」

4 フィルム ボタンを押して、フィルムモードにします。

本書 52 ページ「L 判印刷」手順 4

5 ［こだわり印刷］を選択します。

6 ［カード］を選択します。

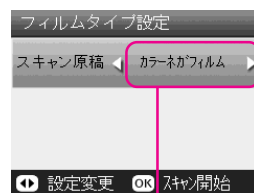
7 印刷設定（退色復元のみ）をします。

本書 56 ページ「印刷設定」

8 セットしたフィルムのタイプを選択し、OK ボタンを押してフィルムをスキャンします。

フィルムタイプについては、以下をご覧ください。

本書 52 ページ「L 判印刷」手順 6

画像がプレビューされるまで、しばらくお待ちください。

9 印刷したい写真を選択し、印刷枚数を設定します。

10 印刷設定を確認します。

11 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

カラー ボタンを押すとカラーで印刷、モノクロ ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

以上で、こだわり印刷（カード印刷）の手順説明は終了です。

操作パネルの設定項目の詳細

フィルムモードでの設定項目/設定値について説明しています。

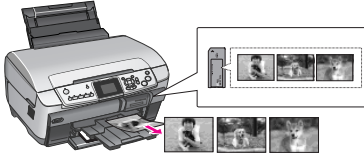
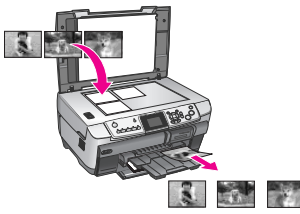
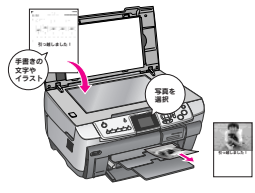
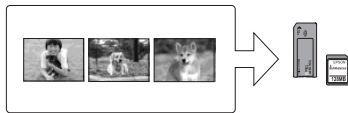
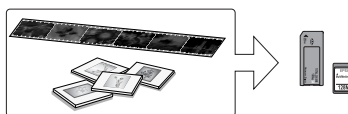
印刷設定

設定値の組み合わせによっては、設定できない項目や設定値があります。

設定項目	設定値（下線は初期値）	補足
【用紙種類】 セットした用紙の種類に設定を合わせると、きれいに印刷できます。	写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/普通紙（前面）/普通紙（背面）/郵便IJハガキ/郵便ハガキ/光沢ハガキ	用紙ごとの設定値については、以下をご覧ください。 本書99ページ「機能別　使用できる用紙/使用できない用紙」
【用紙サイズ】 セットした用紙のサイズを設定します。	A4/L判/2L判/ハガキ/六切	
【レイアウト】 余白なしで印刷するか、上下左右3mmの余白を付けて印刷するかを指定します。	フチなし/フチあり	
【退色復元】 色あせたり日に当たって変色した写真を、元の色に近い色で印刷します。	しない/する	カラー写真をカラーで印刷するときに有効な機能です。モノクロフィルムの場合や、モノクロで印刷した場合は、印刷結果に効果が表れません。

詳細設定（詳細メニュー）

「こだわり印刷」での印刷設定中に［詳細メニュー］ボタンを押すと、以下の設定ができます。「L判印刷」では設定できません。

設定項目	設定値（下線は初期値）	補足
【品質】 印刷品質を設定します。	速い/きれい/フォト	きれい/フォトを選択すると、印刷速度が遅くなります。
【彩度設定】 印刷結果の鮮やかさを調整します。	淡い/ふつう/鮮やか	

フィルムタイプ

設定項目	設定値（下線は初期値）	補足
【スキャン原稿】 セットしたフィルムの種類を設定します。	カラーネガフィルム カラーポジフィルム（ストリップ） カラーポジフィルム（マウント） モノクロネガフィルム	カラー画像の濃淡が反転して記録されるフィルム（一般的なフィルム） カラー画像がそのまま再現されている、ストリップフィルム カラー画像がそのまま再現されている、マウント（スライド）フィルム モノクロ画像の濃淡が反転して記録されているフィルム

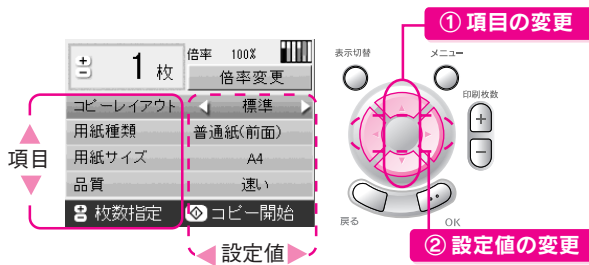
ストリップフィルム　：一般の35mm フィルムを6コマ単位で切ったフィルム（スリーブフィルム）
マウントフィルム　　：カラーポジフィルムを1枚ずつ切って、プラスチックなどの枠に挟んだフィルム（スライドフィルム）

便利な機能、いろいろな使い方

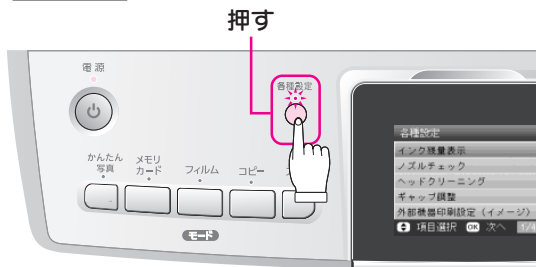
この章のもくじ

設定値の初期化とメモリカードのデータ消去

操作パネルの設定の基本操作

操作パネルの設定は、▲ ▼ボタンで設定項目を、◀ ▶ボタンで設定値を変更します。

設定値の初期化

上記の操作で変更した設定値を、初期の状態（購入時の設定値）に戻すことができます。

1 各種設定 ボタンを押します。

2 [初期設定に戻す]を選択します。

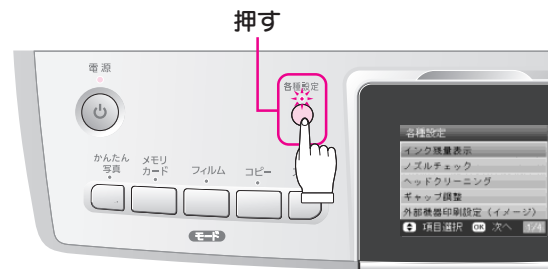
3 OK ボタンを押します。

設定値が初期の状態に戻ります。

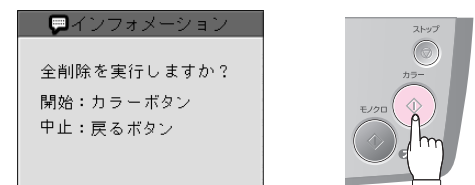
メモリカードのデータ消去

メモリカードスロットにセットしたメモリカード内のデータを、すべて消去することができます（個々の画像を選んで消去することはできません）。

1 データを消去したいメモリカードをセットします。

2 各種設定 ボタンを押します。

3 [ファイル全削除]を選択します。

4 画面の内容を確認し、OK ボタンを押します。

5 カラー ボタンを押して、ファイル削除を実行します。

6 OK ボタンを押して終了します。

かんたん写真プリント

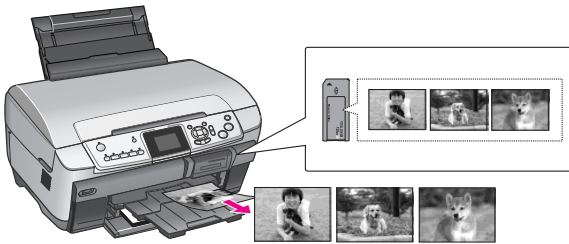
写真の焼き増しやオリジナルの年賀状作りなどが、簡単な操作でできます。

1 L判印刷（全画像）

メモリカード内の写真を、簡単な操作ですべて1枚ずつ印刷します。

1 電源をオンにします。

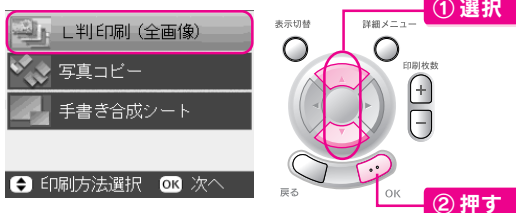
本書8ページ「コピーしてみよう」手順 1

2 メモリカードをセットします。

本書10ページ「①メモリカードをセットします」

3 L判サイズの写真用紙をセットします。

本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

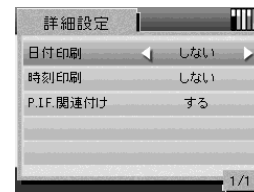
4 かんたん写真 ボタンを押して、かんたん写真モードにします。

5 ［L判印刷（全画像）］を選択します。

6 印刷設定を確認します。

こんなときは

日付を入れて印刷したい

詳細メニュー ボタンを押すと、以下の設定ができます。

本書35ページ「詳細設定（詳細メニュー）」

7 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

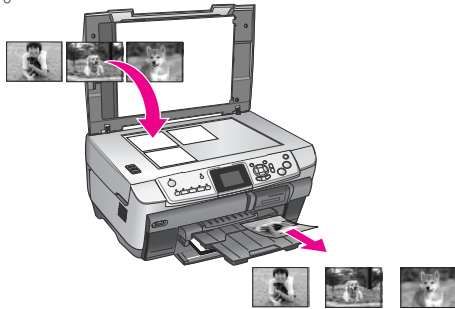
こんなときは

印刷を途中で止めたい時は

ストップ ボタンを押します。印刷が中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。印刷が中止されるまでには、多少時間がかかる場合があります。

以上で、L判印刷（全画像）の手順説明は終了です。

2 写真コピー（焼き増し）

写真の焼き増し/引き伸ばしが簡単にできます。また、L判写真などを複数枚同時にセットし、一度にまとめてコピーすることもできます。

1 電源をオンにします。

☞本書8ページ「コピーしてみよう」手順 1

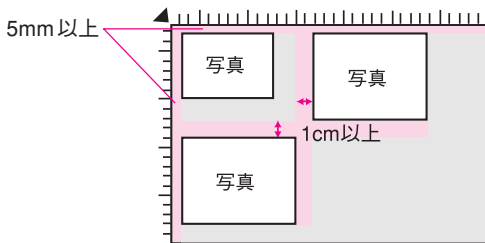
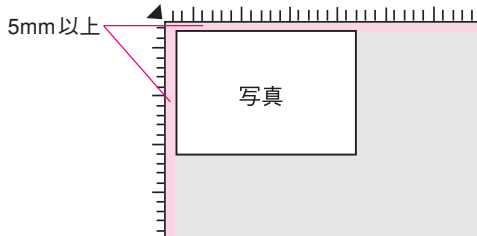
2 印刷用紙（写真用紙）をセットします。

☞本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

3 写真原稿をセットします。

☞本書16ページ「コピー手順の流れ」手順 3

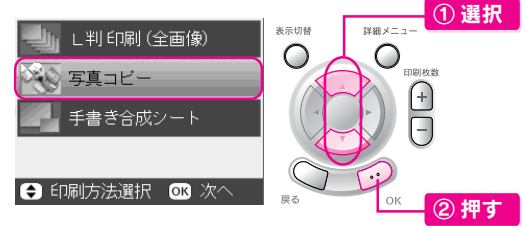
原稿は、原点マークから5mm以上離して置いてください。
スキャンできる写真のサイズは以下の通りです。
最小：64 × 89mm
最大：127 × 178mm

L判/E判サイズの場合、横置きで3枚までセットできます。3枚の写真それぞれの間隔を、下図のように必ず1cm以上空けて並べてください。

2L判サイズの場合は1枚だけセットできます。

補足情報

- 原点マークから5mm以上離して、横置きでセットしてください。
- 写真と写真の間隔は1cm以上空けて垂直に置き、傾かないようにしてください。
- 写真は強く押さえつけないでください。
- 余白のある写真や、周囲に白い部分のある写真の場合は、原稿を認識しないことがあります。

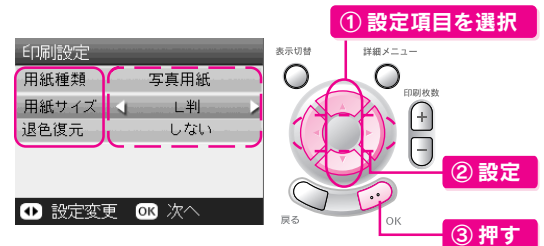
4 かんたん写真 ボタンを押して、かんたん写真モードにします。

☞本書59ページ「①L判印刷（全画像）」手順 4

5 ［写真コピー］を選択します。

6 セットした写真のサイズを設定します。

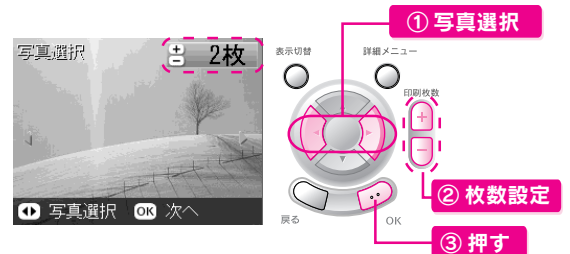
E判サイズの場合は、［L判］を選択してください。

7 必要に応じて、印刷設定をします。

☞本書56ページ「印刷設定」

補足情報

［退色復元］を［する］に設定すると、色あせた写真が鮮やかによみがえります。

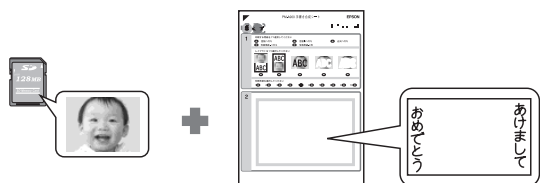
OK ボタンを押すと、写真原稿がスキャンされます。

8 写真を選択し、印刷枚数を設定します。

9 印刷設定を確認します。

10 カラー か モノクロ ボタンを押して、印刷を実行します。

以上で、写真コピーの手順説明は終了です。

3 手書き合成シート

メモリカード内のお好きな写真と、手書きの文字やイラストを合成して印刷します。

メモリカード内の写真を選ぶ

A4 普通紙に手書き合成シートを印刷する

文字やイラストを書き込む

あけましておめでとう

手書き合成シートをスキャンして、楽しい写真のできあがり！

① 手書き合成シートの印刷

1 電源をオンにします。

本書 8 ページ「コピーしてみよう」手順 1

2 手書き合成シートを印刷するためのA4サイズの普通紙を、前面オートシートフィーダにセットします。

本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

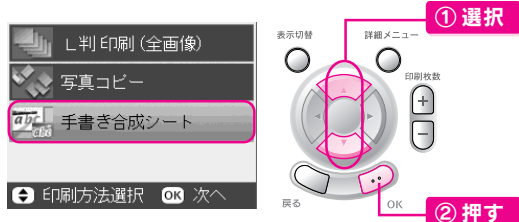
補足情報

手書き合成シートに使用する用紙は、両面に汚れ(異物)のないことを確認してください。合成時に用紙の汚れ（異物）が手書きデータとして認識される場合があります。

3 メモリカードをセットします。

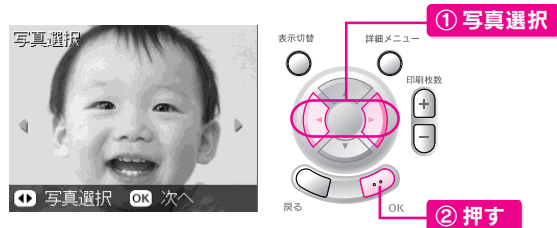
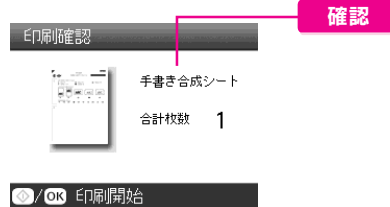
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

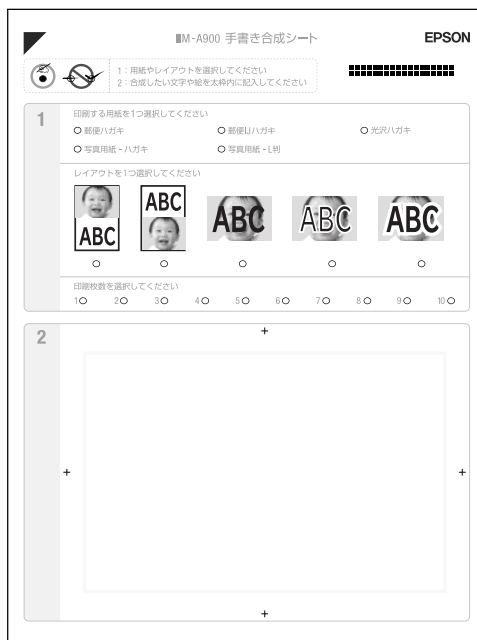
4 [かんたん写真] ボタンを押して、かんたん写真モードにします。

本書 59 ページ「①L 判印刷（全画像）」手順 4

5 ［手書き合成シート］を選択します。

6 ［写真を選んで手書き合成シートを印刷する］を選択します。

7 合成したい写真を選択します。

本書 33 ページ「写真の表示切替と枚数設定」

8 画面を確認します。

9 [カラー] ボタンを押して、印刷を実行します。

下図のような手書き合成シートが印刷されます。

注意

手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまで、メモリカードの内容を変更したり、別のメモリカードに差し替えたりしないでください。

② 手書き合成シートに記入

1 印刷された手書き合成シートに、印刷設定のマークを付けます。

注意 **印刷設定のマーク方法**

HB などの濃い鉛筆か黒ペンで、しっかりと塗りつぶしてください。

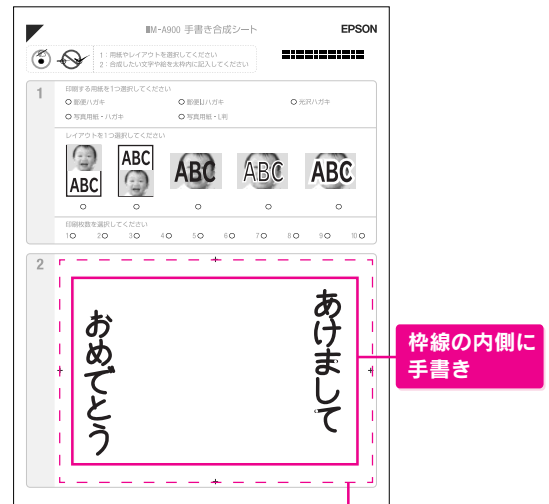
正しい記入例

悪い記入例

設定項目	設定値
用紙	郵便ハガキ：　郵便ハガキ（再生紙） 郵便IJハガキ：　郵便ハガキ（インクジェット紙）/ スーパーファイン専用ハガキ 光沢ハガキ：　フォト･クォリティ･カード2 写真用紙ーハガキ：写真用紙（ハガキサイズ） 写真用紙ーL判：　写真用紙（L判サイズ）
レイアウト	① ABC 上半分に写真、下半分に手書き部分を合成 ② ABC 上半分に手書き部分、下半分に写真を合成 ③ ABC 写真の上に、手書き文字をそのまま合成 ④ ABC 写真の上に、少しふち取りした手書き文字を合成 ⑤ ABC 写真の上に、大きくふち取りした手書き文字を合成 ※写真の上に絵や細い文字を合成する場合は、⑤を選択することをお勧めします。
印刷枚数	1～10 枚 ※試しに 1 枚だけ印刷したい場合は、印刷枚数を設定（マーク）しないでください。マークを付けないと「1 枚印刷」の設定となります。

2 手書き合成シートの手書きエリアに、文字や絵などを書きます。

お気に入りのシールなどを貼ることもできます。

注意 文字や絵は、かすれにくい筆記用具を使って、濃くはっきりと書いてください。
ボールペンやシャープペンシルなどの細い文字、クレヨンや色鉛筆などのかすれやすい文字は、正常に合成されない場合があります。

手書き部分として
レイアウトされる
範囲です。

補足情報

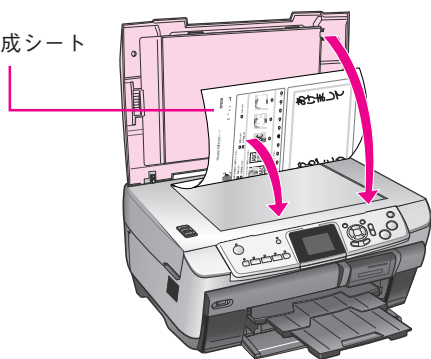
- 手書きエリアは、用紙のサイズ（ハガキ /L 判）とは異なります。選択したレイアウトの手書き部分のサイズに、自動的に拡大/縮小して合成されます。
- レイアウトの③を選択した場合、写真と同じような色で文字を書くと、合成したときに文字が目立たなくなります（例えば、夜景などの暗い写真に黒い文字を合成すると、文字が読みにくくなります）。
- 縦長の写真に文字を合成する場合は、レイアウトのサンプルを確認し、写真と文字が同じ向きになるように手書きエリアに書いてください。

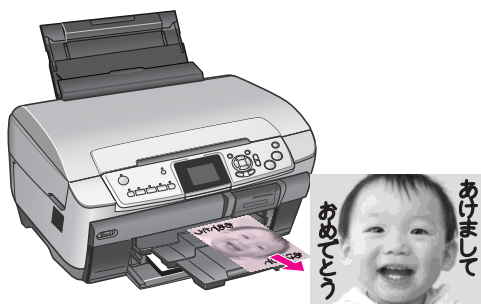
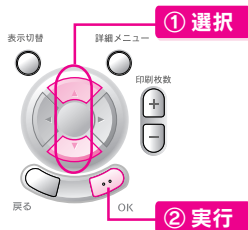
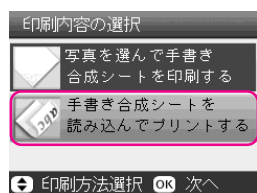
③ 手書き合成シートをスキャンして合成写真プリント

1 **印刷用紙を背面オートシートフィーダにセットします。**

手書き合成シートで選択した用紙をセットしてください。

☞ 本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

2 **手書き合成シートを原稿台に図の向きでセットし、原稿カバーを閉じます。**

3 **［手書き合成シートを読み込んでプリントする］を選択し、印刷を実行します。**

合成結果が印刷されます。

以上で、手書き合成シート印刷の手順説明は終了です。

- **文字がかすれて、きれいに合成できない**
  手書きエリアの文字や絵は、書かれている文字や線に沿って切り抜くような処理をしています。線が細かったりかすれたりしていると、認識できずうまく切り抜くことができません。
  太いペンや水性ペンなどを使用して、できるだけ太くはっきりと書き、もう一度印刷してみてください。

- **絵の一部が欠けてしまう**
  62 ページのレイアウトの③や④は、文字や線の部分のみ、または周囲ギリギリを切り抜くため、線が途切れたり離れたりする絵には不向きです。絵を合成する場合は、周囲を大きめに切り抜く⑤のレイアウトを選択することをお勧めします。
  ⑤のレイアウトでも欠けてしまう場合は、絵を囲む（線をつなげる）ようにすると、全体を切り抜いて合成することができます。

  破線部分がふち取られます。

- **用紙の汚れ（異物）が合成されてしまった**
  修正液（修正シール）などで汚れを消して、もう一度印刷してみてください。
- **文字が思い通りの位置に合成されない**
  写真の上に文字を合成する場合、厳密な位置合わせはできません。どうしても位置合わせをしたい場合は、鉛筆で下書きをして、試し印刷で位置調整（書き直し）してみてください。

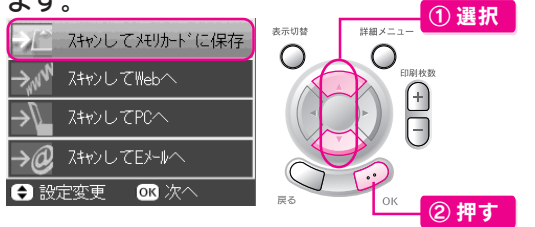
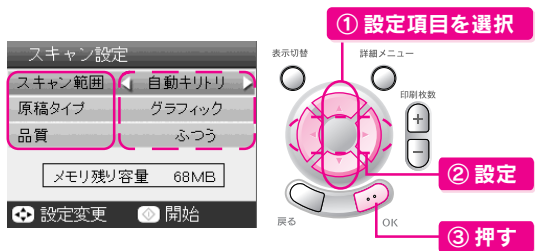
スキャンしたデータをメモリカードに保存

写真や雑誌原稿をメモリカードに保存

1 メモリカードをセットします。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 スキャンボタンを押して、スキャンモードにします。

3 [スキャンしてメモリカードに保存]を選択します。

4 スキャンする原稿の設定をします。

【スキャン範囲】（下線は初期値）
自動キリトリ：原稿の大きさを自動認識して、原稿の部分だけをスキャンします。
最大範囲：読み込み可能な最大範囲をスキャンします（原稿のない部分もスキャンします）。

【原稿タイプ】（下線は初期値）
グラフィック：写真やイラストなど
テキスト：文章など

【原稿タイプ】と【品質】の関係

原稿タイプ	品質	読み取り解像度	ファイル容量の目安※1
テキスト	ふつう	200 × 200 dpi	300KB
テキスト	きれい	300 × 300 dpi	500KB
グラフィック	ふつう	300 × 300 dpi	500KB
グラフィック	きれい	300 × 300 dpi	3.0MB※2

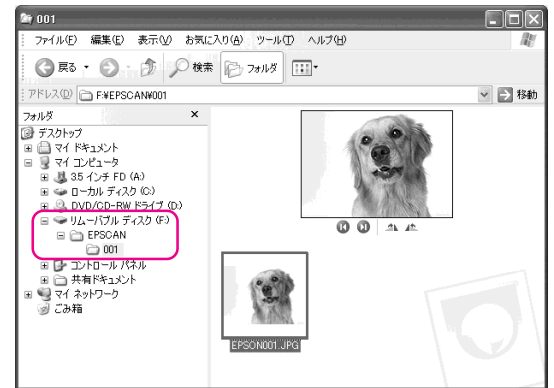
※1：ファイルの容量は画像の内容によって大きく変わります。
※2：JPEG 圧縮率を[最高画質]で保存します。

5 原稿をセットします。

本書 16 ページ「コピー手順の流れ」手順 3

6 カラーボタンを押します。

操作パネルに「スキャン中です。」と表示され、メモリカードに保存されます。モノクロボタンでは保存できません。

本製品をパソコンに接続すると、メモリカードスロットがリムーバブルディスクとして認識されます。
パソコンからメモリカードに保存したファイルをWindows XPのエクスプローラから見ると、下の画面のようにフォルダが作成され保存されます。

こんなときは

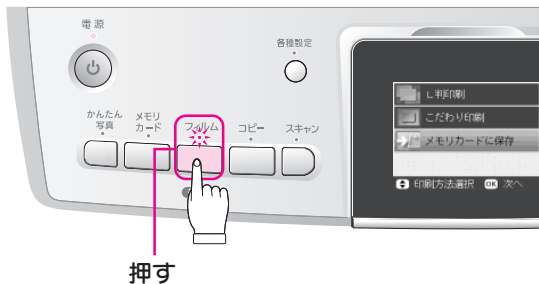
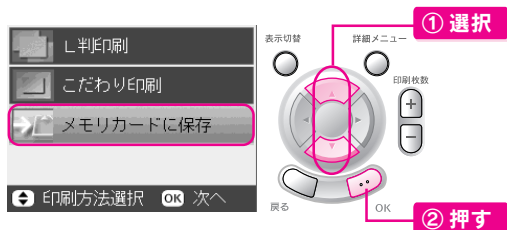
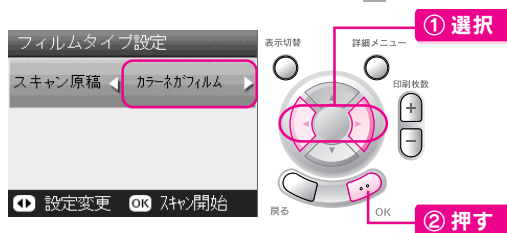
メモリカードに保存したデータを消去したい
各種設定モードの［ファイル全削除］で、データを消去することができます。
本書58ページ「メモリカードのデータ消去」

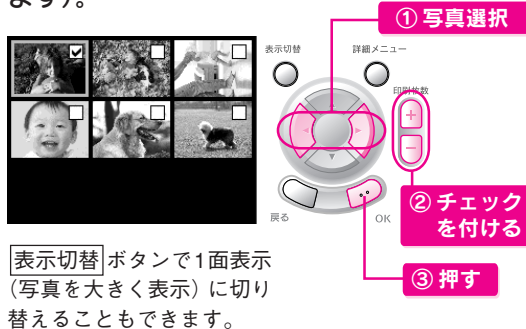
以上で、原稿をスキャンしてメモリカードに保存する手順説明は終了です。

フィルムのデータをメモリカードに保存

1 メモリカードをセットします。
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

2 フィルムをセットします。
本書 51 ページ「フィルムのセット方法」

3 フィルム ボタンを押して、フィルムモードにします。

4 ［メモリカードに保存］を選択します。

5 セットしたフィルムのタイプを選択し、OK ボタンを押してフィルムをスキャンします。
フィルムタイプについては、以下をご覧ください。
本書 52 ページ「L判印刷」手順 6

画像がプレビューされるまでしばらくお待ちください。

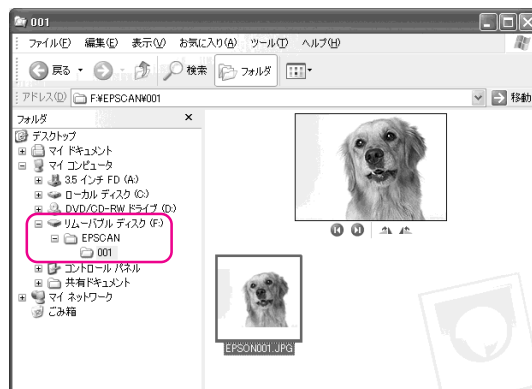
6 保存する写真を選択します（チェックを付けます）。

表示切替 ボタンで1面表示（写真を大きく表示）に切り替えることもできます。

7 スキャンの品質（［きれい］または［フォト］）を選択します。

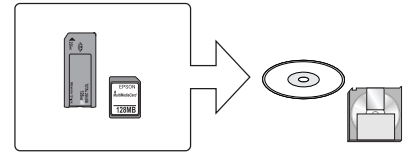
画質	読み取り解像度	ファイル容量の目安※
きれい	1200 × 1200 dpi	500KB
フォト	2400 × 2400 dpi	4.5MB

※ファイルの容量は画像の内容によって大きく変わります。

8 カラー ボタンを押します。
操作パネルに「データを保存しています。」と表示され、メモリカードに保存されます。

本製品をパソコンに接続すると、メモリカードスロットがリムーバブルディスクとして認識されます。
パソコンからメモリカードに保存したファイルをWindows XPのエクスプローラから見ると、下の画面のようにフォルダが作成され保存されます。

こんなときは
メモリカードに保存したデータを消去したい
各種設定モードの［ファイル全削除］で、データを消去することができます。
本書58ページ「メモリカードのデータ消去」

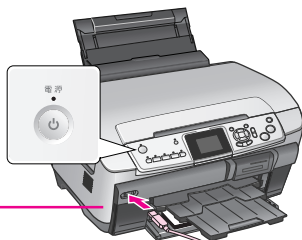
以上で、フィルムをスキャンしてメモリカードに保存する手順説明は終了です。

メモリカードのデータを外部記憶装置へ保存（バックアップ）

外部記憶装置の接続方法

接続可能な外部記憶装置	使用できるメディア
CD-R ドライブ DVD-R ドライブ	CD-R 650/700MB DVD-R 4.7GB （CD-RW、DVD+R、DVD ± RW、DVD-RAM には対応していません。）
MO ドライブ	MO128/230/640MB、1.3GB （DOS/Windows フォーマット済みのもの）
USB フラッシュメモリ	ー

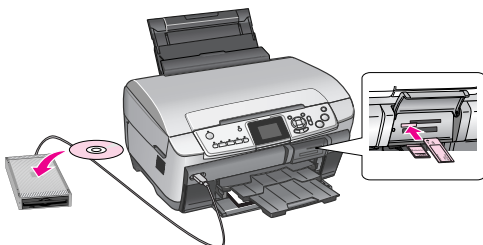
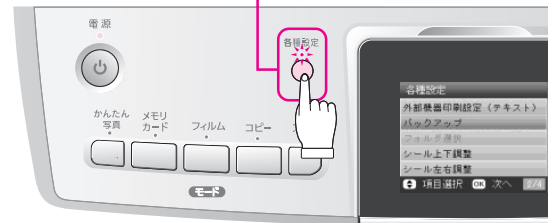
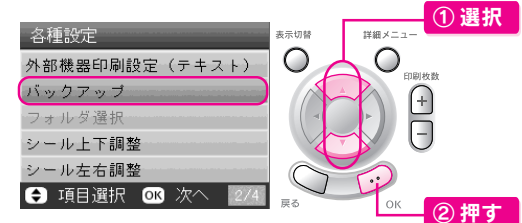
補足情報

USB接続できるすべての記憶機器の動作を保証するものではありません。動作確認済みの記憶装置については、エプソンのカタログまたはホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

① 本製品と外部記憶装置の電源がオフになっているか確認します。

USB フラッシュメモリは、直接差し込み、バックアップ方法の手順 2 へ進みます。

② USB ケーブルを接続して、双方の電源をオンにします。

バックアップ方法

1 バックアップしたいデータの入ったメモリカードと、CD-R/DVD-RまたはMOディスクをセットします。

2 各種設定 ボタンを押します。

3 ［バックアップ］を選択します。

4 画面を確認して、OK ボタンを押します。

5 OK ボタンを押して、バックアップを実行します。

「バックアップが終了しました。」のメッセージが表示されたらバックアップは終了です。

こんなときは

バックアップした写真を印刷する場合は

以下をご覧ください。

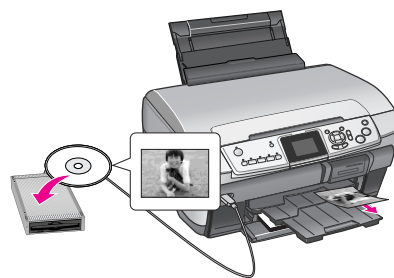
☞ 本書 67 ページ「外部記憶装置のデータを直接印刷」

補足情報

本製品ではバックアップしたデータを削除（消去）することはできません。削除する場合は、お手持ちのパソコンなどで操作してください（CD-R/DVD-Rのデータはパソコンからも削除することはできません）。

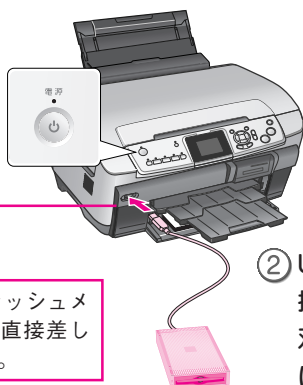
以上で、バックアップの手順説明は終了です。

外部記憶装置のデータを直接印刷

（バックアップしたデータのみ）

外部記憶装置の接続方法

補足情報

前ページの方法でバックアップしたデータのみ印刷することができます。前ページの「外部記憶装置の接続方法」と同様の手順で接続してください。

① 本製品と外部記憶装置の電源がオフになっているか確認します。

USB フラッシュメモリは、直接差し込みます。

② USB ケーブルを接続して、双方の電源をオンにします。

印刷方法

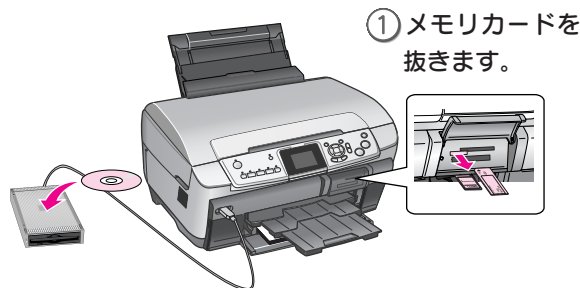
1 印刷用紙をセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

2 バックアップしたデータの入ったCD-R/DVD-RまたはMOディスクをセットします。

注意　メモリカードがセットされている場合は取り外してください。メモリカードがセットされていると、外部記憶装置が認識されません。

① メモリカードを抜きます。

② CD-R/DVD-R または MO ディスクをセットします。

補足情報

ファイル容量が3MBを超える画像※を印刷すると、印刷開始までに数十分程度の時間がかかる場合があります。3MB を超える画像を印刷する場合は、外部記憶装置から印刷せずに、メモリカードから直接印刷することをお勧めします。

本書 29 ページ「メモリカードから写真プリント」

※ 6M ピクセル（600 万画素）以上のデジタルカメラで撮影した画像や TIFF 画像などは、おおむね 3MB 以上になります。

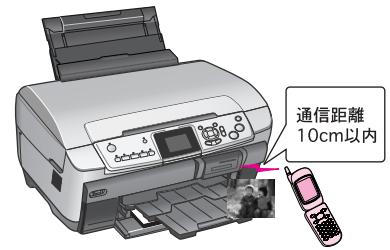
3 以下の画面が表示された場合は、印刷する写真の含まれるフォルダを選択します。

4 この後は、メモリカードからの印刷と同様の手順で印刷します。

本書 30 ページ「メモリカード印刷手順の流れ」

以上で、バックアップしたデータを印刷する手順説明は終了です。

携帯電話からワイヤレス印刷

（赤外線通信カード - 別売 -）

補足情報

- 印刷可能な携帯電話については、本製品のカタログやエプソンのホームページでご案内しています。（http://www.i-love-epson.co.jp）
- 赤外線通信カード（型番：PMPTIR1）の通信距離は 20cm 以内ですが、本製品の場合は赤外線通信カードをセットした後カバーを閉じるため、通信距離が 10cm 以内となります。
- その他の注意事項については、赤外線通信カード本体の取扱説明書をご覧ください。

印刷可能なデータと適切な用紙サイズ

携帯電話から赤外線経由で送信される以下のデータを、所定のフォーマット（レイアウト）で印刷します。

※お使いの携帯電話によって印刷できるデータやメニュー名称などが異なります。

	印刷可能なデータと印刷形式		適切な用紙サイズ
①	電話帳（vCard）	1 件印刷	名刺
②	電話帳（vCard）	全件印刷	A4
③	メール（vMessage）		A4
④	メモ（vNote）		A4
⑤	予定表 / スケジュール（vCalendar）		A4
⑥	ToDo リスト（vCalendar）		A4
⑦	画像（JPEG 画像のみ対応）		カード /L 判 / ハガキ

印刷イメージ

①電話帳 1 件印刷（名刺サイズ）

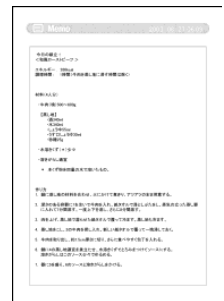
画像データがある場合、このように印刷されます。

※名刺よりも大きなサイズの用紙に印刷すると、余白が多くなります。

②電話帳全件印刷（A4 サイズ）

画像データがある場合、このように印刷されます。

※テキストデータのみの場合、最大 1000 件の電話帳を印刷できます。画像データがある場合は、件数が少なくなります。

③メール（A4サイズ） ④メモ（A4サイズ）

※メール / メモは、本文中エリア内に可能な限り印刷されます。ただし、2 枚目以降は印刷されません。

※メールの中の絵文字や写真は印刷されません。

⑤予定表 / スケジュール（A4 サイズ）

⑥ ToDo リスト（A4 サイズ）

※ ToDo リストの全件印刷は、月単位で印刷されます（月ごとに改ページされます）。

⑦ JPEG 画像

印刷の際、本製品の操作パネルで各種印刷設定ができます。

本書 69 ページ「印刷方法」手順 4

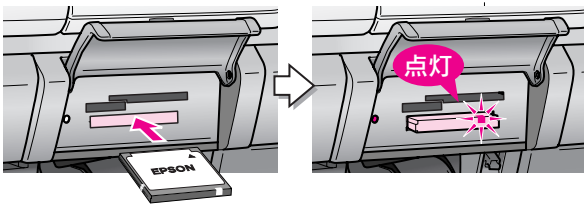
赤外線通信カードのセット方法

印刷を実行する前に、別売の赤外線通信カードをセットします。赤外線通信カードは、コンパクトフラッシュメモリカードと同様の手順でセットできます。

本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

1 本製品の電源をオンにします。

2 赤外線通信カードをセットします。

正常にセットされると、赤外線通信カードの緑色のランプが点灯します。

こんなときは

緑色以外（赤/橙）のランプが点灯していたり、しばらくしてもランプが点灯しない場合は

赤外線通信カードを一旦引き抜き、もう一度セットし直してみてください。

補足情報

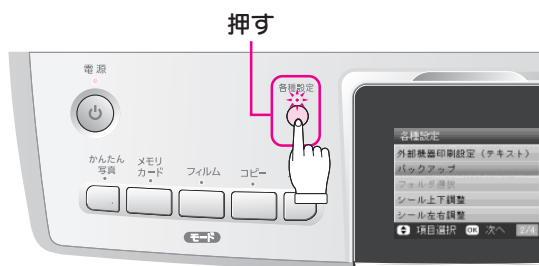
赤外線通信を行う際、本製品のパスキーが必要になる場合があります。事前に本製品のパスキーの設定をご確認ください。パスキーの設定は Bluetooth の通信設定と同じ手順です。

本書70ページ「Bluetoothユニットの通信設定」

印刷方法

1 印刷用紙をセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
本書 27 ページ「CD/DVD のセット方法」

2 [各種設定] ボタンを押します。

補足情報

メモリカードモードでは印刷できません。

3 ［外部機器印刷設定（イメージ）］または［外部機器印刷設定（テキスト）］を選択します。

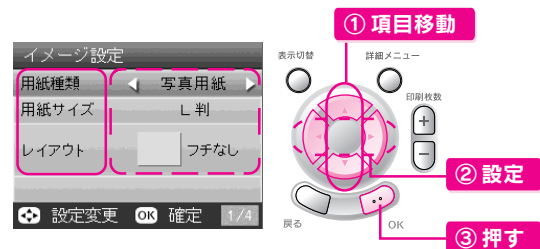
写真 / 画像の場合：イメージ

写真 / 画像以外の場合：テキスト

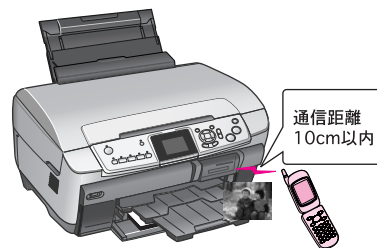
［外部機器印刷設定（テキスト）］は次の 2/4 画面にあります。

4 必要に応じて印刷設定をします。

本書 35 ページ「印刷設定」

カメラ付き携帯電話で撮影した写真を印刷する場合は、設定項目の［携帯写真印刷］（3/4 画面にあります）を［する］に設定することをお勧めします。

5 携帯電話からデータを送信して、印刷を実行します。

携帯電話の赤外線ポートを、本製品にセットした赤外線通信カードに向けて、印刷したいデータを送信してください。本製品が正常にデータを受信すると、印刷が始まります。

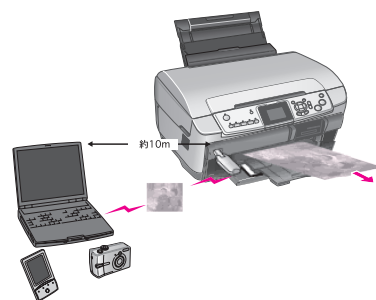
なお、画像データの送信時は、印刷中に最大 10 件まで（印刷中のデータを含む）印刷予約することができます。

補足情報

携帯電話より電話帳全件送信の際、機種によって暗証番号以外に「認証パスワード」が求められる場合があります。その場合は、本製品で設定したBT/赤外線通信パスキーの値（4桁の数字）を入力してください。

本製品の［BT/赤外線通信パスキー設定］をしていない場合、初期値の「0000」となります。

以上で、携帯電話からワイヤレス印刷する手順説明は終了です。

Bluetooth でワイヤレス印刷

(Bluetooth ユニット - 別売 -)

本製品と通信が可能な製品

Bluetooth対応の製品で、以下のプロファイル※1に対応している必要があります。

BIP（Basic Imaging Profile）

- 一度に送信できる画像は1枚（最大2.5MB）です。10枚まで予約することができます（最大3MB）。
- 本製品の操作パネルでは、イメージ設定画面に表示されるすべての項目を設定できます。

HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

- データを送信する機器の設定に従って印刷します。本製品の操作パネルでは、設定できません。

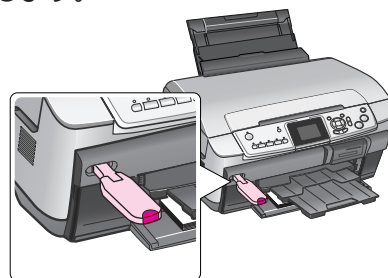
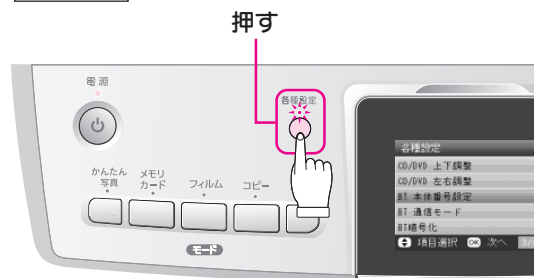
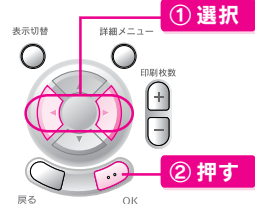
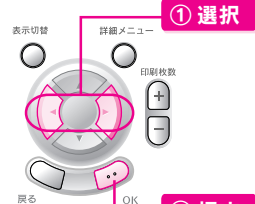
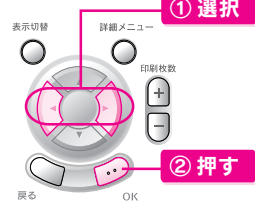
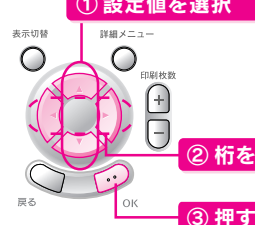
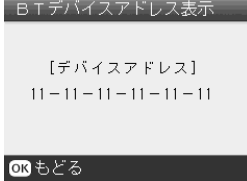
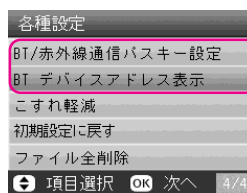
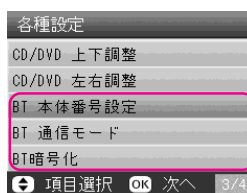
※1：Bluetooth通信を行うための規格です。製品ごとの特長や使用目的に応じて複数のプロファイルが制定されています。Bluetooth通信を行うためには、通信する機器がお互いに共通のプロファイルに対応している必要があります。

補足情報

- ご利用の製品の取扱説明書などで、上記のプロファイルに対応しているかをご確認ください。Bluetooth対応の製品でも、上記のプロファイルに対応していない場合は、Bluetoothユニットと通信することはできません。
- 通信可能なBluetooth製品については、エプソンのホームページでもご案内しています（http://www.i-love-epson.co.jp）。

Bluetooth ユニットの通信設定

印刷前にBluetoothの通信設定を行います。
複数の機器から印刷する場合は、混信を防ぐため［BT/赤外線通信パスキー設定］で本製品のパスキーを設定してください。

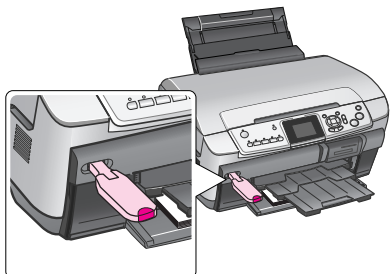
1 本製品の電源をオフにして、Bluetoothユニットを接続してから、本製品の電源をオンにします。

2 各種設定 ボタンを押します。

3 Bluetoothの設定項目を選択します。

4 Bluetoothの設定をします。

Bluetooth の通信設定

設定項目	設定値 / 説明（下線は初期値）	設定方法
BT 本体番号設定	PM-A900-0 ～ 9	
	Bluetooth 通信が可能な距離に、複数台の Bluetooth 対応機器がある場合に、本体番号を設定することで、本製品を見分けることができます。電源を一旦オフにすると設定が有効になります。	BT本体番号設定 PM-A900 1 設定 OK 確定 ①選択 ②押す
BT 通信モード	パブリック	
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷ができます。	BT通信モード 通信モード パブリック 設定 OK 確定 ①選択 ②押す
	プライベート	
	Bluetooth 対応機器から検索できないようにします。印刷するためには、一度パブリックモードで、本製品を検索する必要があります。	
	ボンディング	
	Bluetooth 対応機器から検索と印刷をする際には、パスキーが必要になります。	
BT 暗号化	する / しない	
	通信の内容を暗号化することができます。パスキーの入力が必要になります。	BT暗号化 暗号化 しない 設定 OK 確定 ①選択 ②押す
BT/ 赤外線通信パスキー設定	任意の 4 桁の数字（初期値：0000）	
	パスキーを設定すると、印刷を実行する際にデジタルカメラなどでパスキー（任意の 4 桁の数字）を入力する必要があります。他の Bluetooth 製品からの混信を防ぐ場合などに使います。 Bluetooth 通信でパスキーを使用する場合は、［BT 通信モード］を［ボンディング］に設定するか、［BT 暗号化］を［する］に設定してください。	BT/赤外線通信パスキー設定 設定 0 0 0 0 数字入力 桁選択 ①設定値を選択 ②桁を選択 ③押す
BT デバイスアドレス表示	（例）11-11-11-11-11-11	
	本製品が固有に持っている Bluetooth 通信アドレスを表示します。本製品と通信を行う機器で、本製品のデバイスアドレスを入力する必要がある場合に、ここで表示されたデバイスアドレスを入力しても通信できないことがあります。その場合は、カラリオインフォメーションセンターにお問い合わせください。	BTデバイスアドレス表示 ［デバイスアドレス］ 11－11－11－11－11－11 OK もどる

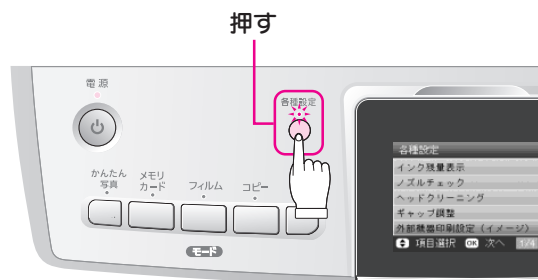
印刷方法

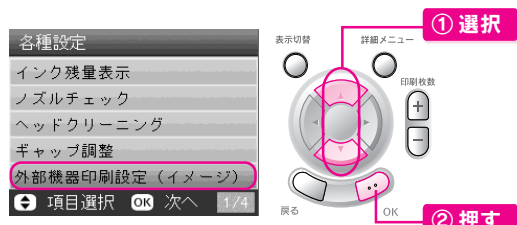
印刷前にBluetoothの通信設定を行ってください。
☞本書70ページ「Bluetoothユニットの通信設定」

1 本製品の電源をオフにして、Bluetoothユニットを接続します。

2 本製品の電源をオンにして、印刷用紙をセットします。

☞本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
☞本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
☞本書27ページ「CD/DVDのセット方法」

3 [各種設定] ボタンを押します。

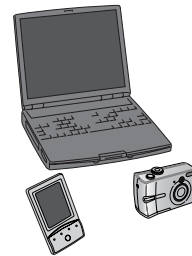
押す

補足情報　メモリカードモードでは印刷できません。

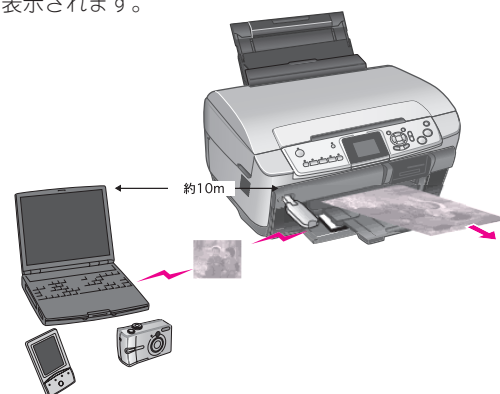
4 [外部機器印刷設定（イメージ）] または [外部機器印刷設定（テキスト）] を選択します。

[外部機器印刷設定（テキスト）] は次の2/4画面にあります。

5 BIPプロファイルの場合は、印刷設定をします。

BIPは、あらかじめ選択した写真を印刷するため、本製品で他の写真を選択することはできません。
☞本書35ページ「印刷設定」

6 お使いのBluetooth対応機器での設定をして、印刷を実行します。

設定の方法は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

7 本製品がデータを受信して、印刷が始まります。

データを受信すると、Bluetoothユニットのランプが点灯し、操作パネルにBluetooth通信中を示すメッセージが表示されます。

こんなときは

通信中を示すメッセージが表示されない場合や、ランプが点灯しない場合
Bluetoothユニットの通信設定を確認してください。
☞本書70ページ「Bluetoothユニットの通信設定」

以上で、Bluetoothを使用した印刷の手順説明は終了です。

デジタルカメラから直接印刷

USB DIRECT-PRINT 対応のデジタルカメラ

PictBridge 対応のデジタルカメラ

上記どちらかの規格に対応したデジタルカメラから印刷できます。

補足情報

- 本製品と接続可能なデジタルカメラについては、エプソンのホームページでご案内しています（http://www.i-love-epson.co.jp）。
- お使いのデジタルカメラによって設定項目や設定値、設定方法、操作方法などが異ります。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 印刷の設定は、基本的にデジタルカメラ側での設定が優先されますが、[標準設定※1] などを選択した場合やデジタルカメラ側で設定できない機能については、本製品側の設定が反映されます。なお、設定内容が本製品の仕様上実現不可能な組み合わせの場合は、実現可能な組み合わせに自動調整して印刷されます（この調整結果が本製品側の設定値と一致するとは限りません）。印刷設定を確実に反映させたい場合は、必ずデジタルカメラ側で目的に合った設定値を選択してください。
- CD/DVD に印刷する場合は、本製品側で印刷の設定をしてから、デジタルカメラ側で写真を選択して印刷を実行してください。ただし、お使いのデジタルカメラによっては、DPOF※2 設定での CD/DVD 印刷ができない場合があります。
- セピアで印刷したい場合は、本製品側でセピア印刷の設定をしてください。デジタルカメラ側で「プリント効果：イメージオプティマイズ※3」の設定ができる場合は、「標準設定※1」に設定してください。
- TIFF 画像の印刷はできません。TIFF 画像を印刷したい場合は、メモリカードから直接印刷してください。

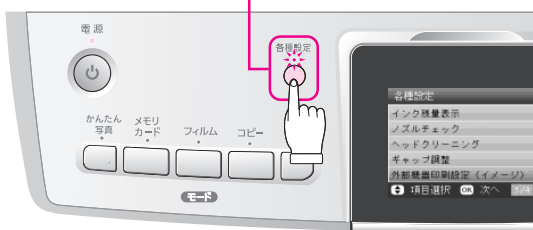
※1 本製品側の設定を反映させる設定値（設定値の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「標準設定」「プリンタ指定」など）

※2 DPOF < Ver1.10 >に対応したデジタルカメラであらかじめ印刷設定した「プリント指定ファイル」により印刷する機能（ファイル指定の名称はデジタルカメラによって異なります。例：「DPOF」「プリント予約」など）

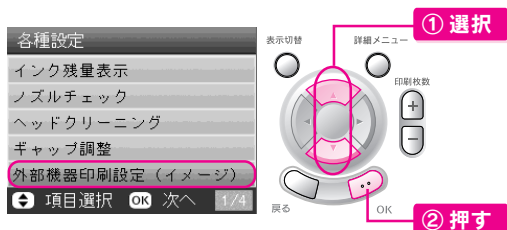
※3 色合いなどの調整をする設定項目（設定項目名はデジタルカメラによって異なります。例：「プリント効果：イメージオプティマイズ」「印刷補正」など）

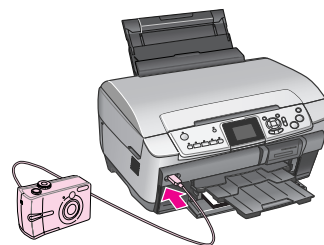
1 本製品の電源をオンにして、印刷用紙をセットします。

本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
本書 27 ページ「CD/DVD のセット方法」

2 [各種設定] ボタンを押します。

補足情報

メモリカードモードでは印刷できません。

3 [外部機器印刷設定（イメージ）] を選択します。

4 必要に応じて印刷設定をします。

5 デジタルカメラの電源をオンにして、USB ケーブルで接続します。

6 デジタルカメラで各種設定をします。

① 印刷する写真と枚数を設定します。

② お好みでその他の項目を設定します。

7 デジタルカメラから印刷を実行します。

以上で、デジタルカメラから印刷する手順説明は終了です。

デジタルカメラで指定した写真を印刷（DPOF 印刷）

補足情報

- 本製品が対応している DPOF（ディーポフ）のバージョンは、Ver 1.10 です。
- お使いのデジタルカメラによっては、印刷写真指定機能（DPOF）の呼び方が異なる場合があります。詳しくは、お使いのデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- DPOF では、印刷タイプ（通常印刷 / インデックス印刷）と印刷する写真の指定ができます。通常印刷の場合には、印刷枚数も指定できます。これ以外の項目については、本製品の設定で印刷されます。
- デジタルカメラでインデックス印刷を指定した場合は、コマ番号なしのインデックス印刷のレイアウト（20 面 /80 面など）で印刷されます。なお、カラー印刷のみの対応となります。
- デジタルカメラでインデックス印刷と通常の印刷両方を指定した場合は、指定されている順番に従って両方を順番に処理します。

1 DPOF情報の入ったメモリカードをセットします。

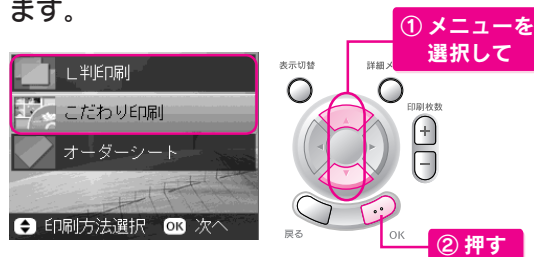
本書 10 ページ「①メモリカードをセットします」

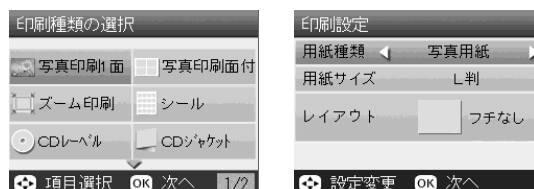
2 印刷用紙をセットします。

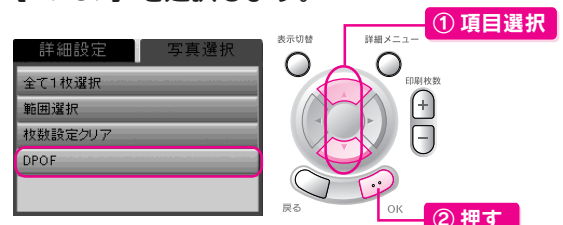
本書 11 ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

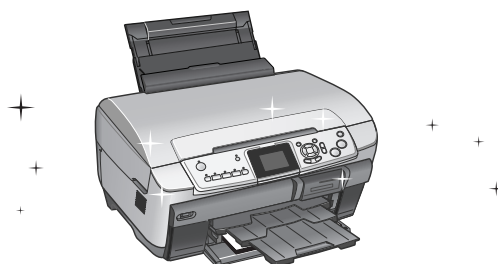
3 ［メモリカード］ボタンを押して、メモリカードモードにします。

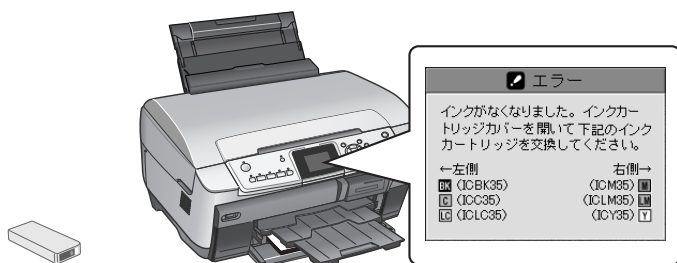
4 ［L 判印刷］または［こだわり印刷］を選択します。

5 ［こだわり印刷］を選択した場合は、印刷種類の選択と、印刷設定をします。

印刷種類の［ズーム印刷］/［CD レーベル］/［CD ジャケット］は、対応していません。

6 ［写真選択］画面で［詳細メニュー］ボタンを押します。

7 ［DPOF］を選択します。

8 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、印刷を実行します。

DPOF 情報と印刷設定に従って印刷されます。

以上で、ファイル指定機能（DPOF）を使った印刷の手順説明は終了です。

メンテナンス

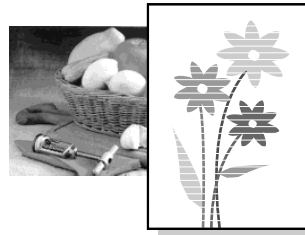
この章のもくじ

上手に長く お使いいただくコツ

本製品をお使いになる上で知っておいていただきたい、取り扱いやお手入れ方法などについて説明します。

プリントヘッド（ノズル）の目詰まりを防ぐ

プリントヘッド（用紙にインクを吹き付ける部分）が目詰まりすると、印刷結果にスジが入ってシマシマになったり、おかしな色味で印刷されたりします。

正常時

目詰まり時

プリントヘッドの乾燥を防ぐ

■ 万年筆やボールペンなどにペン先の乾燥を防ぐためのキャップがあるように、本製品にもプリントヘッドの乾燥を防ぐためのキャップがあります。通常は印刷終了後などに自動的にキャップされますが、動作中に突然電源が切れたりすると、正しくキャップされずに乾燥してしまいます。

これを防ぐには
- 電源プラグは、スイッチ付きテーブルタップなどに接続せず、壁などに直付けされたコンセントに差し込んでください。
- 電源のオン/オフは、必ず操作パネル上の電源ボタンで行ってください。

■ 万年筆などを長期間放置すると乾燥して書けなくなるのと同じように、本製品も長期間使用しないでいると、プリントヘッドが乾燥して目詰まりする場合があります。

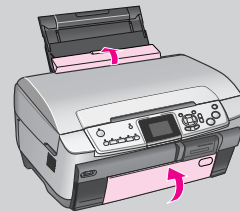
これを防ぐには
定期的に印刷することをお勧めします。定期的に印刷することで、プリントヘッドを常に最適な状態に保つことができます。

■ インクカートリッジを取り外したまま放置すると、プリントヘッドが乾燥してしまいます。

これを防ぐには
インクカートリッジを取り外したまま放置しないでください。

ホコリが付かないようにする

■ プリントヘッドのノズル（インクを出す穴）はとても小さいため、ホコリが付いただけでも目詰まりする場合があります。

これを防ぐには
- 使用しない時は、内部にホコリが入らないように、給紙口カバーや前面カバーを閉じてください。
- 長期間使用しない時は、布やシートなど（静電気が起きにくいもの）をかけておくことをお勧めします。

■ 内部の汚れをティッシュペーパーなどでふくと、ティッシュペーパーの繊維くずがプリントヘッドに付いて目詰まりする場合があります。

これを防ぐには
内部の汚れはふき取らずに、以下のコピー操作によりクリーニングしてください。

1. 原稿台のガラス面と保護マットに汚れがないことを確認します。
   汚れている場合にはメガネふきなどの繊維くずが出ない布で汚れをふき取ります。
2. 汚れてもよいA4 サイズの用紙（普通紙など）をセットします。
   普通紙以外の用紙をセットする場合は、背面オートシートフィーダにセットしてください（A4サイズ普通紙の場合は、背面/前面どちらでも構いません）。
3. 原稿台に**原稿をセットせずに**、コピーを実行します。
   本書 8 ページ「コピーしてみよう」

※ 用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、1～3の手順を繰り返してください。

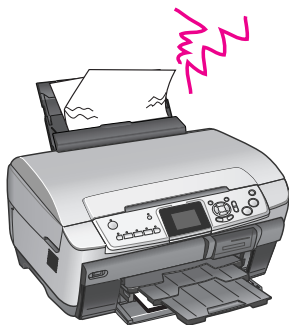
印刷を実行する前に

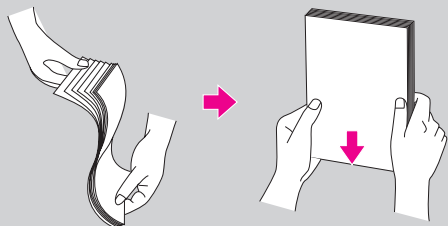
■前ページのようにプリントヘッドの目詰まりを防いでいても、環境などによっては目詰まりして、きれいに印刷されない場合もあります。

これを防ぐには
印刷品質を重視する写真などを印刷する場合や大量に印刷する場合は、印刷を実行する前に、ノズルチェック（目詰まりの確認）を行うことをお勧めします。
本書 78 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

紙詰まりを防ぐ

用紙の取り扱いに注意し、正しくセットする

頻繁に紙詰まりが発生すると、故障の原因となります。

これを防ぐには

- 指定外の用紙は使用しないでください。また、折れ曲がったり、穴が開いたりした用紙は使用しないでください。
  本書 96 ページ「使用できる印刷用紙と印刷時の注意」
- 用紙によってセットできる枚数が異なります。以下のページでご確認ください。
  本書 96 ページ「使用できる印刷用紙と印刷時の注意」
- 写真用紙以外の用紙を複数枚セットする場合は、下図のようによくさばいて、整えてからセットしてください。

- 用紙は正しくセットしてください。
  特に、用紙を奥に入れすぎないように挿入することと、エッジガイドを用紙の側面に合わせることに注意して、セットしてください。
  本書 7 ページ「A4 普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」
  本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」

きれいにスキャンするために

原稿台や原稿に汚れやホコリが付かないようにする

原稿台や原稿自体が汚れていたり、ホコリが付いていたりすると、汚れやホコリまでスキャンしてしまいます。

これを防ぐには

- 原稿をセットする前に、原稿台に汚れやホコリが付いていないかを確認してください。
- 原稿台（ガラス面）を、ティッシュペーパーなどの繊維くずが出るものでふかないでください。メガネふきなどの繊維くずが出ない布で汚れをふき取ることをお勧めします。
- 原稿や写真フィルムのホコリを取ろうして、息を吹きかけないでください。つばが飛んで原稿や写真フィルムが汚れる場合があります。
- 印刷した用紙を原稿としてセットする場合は、インクが原稿台に付かないように、よく乾燥させてからセットしてください。
- 使用しないときは、原稿台にホコリが付かないように、原稿カバーを閉じておいてください。

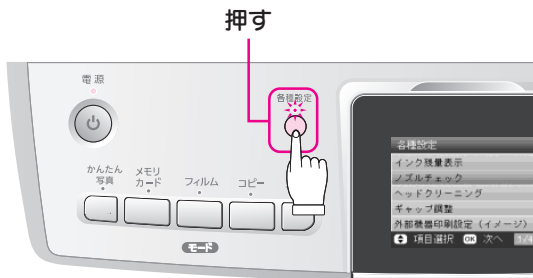
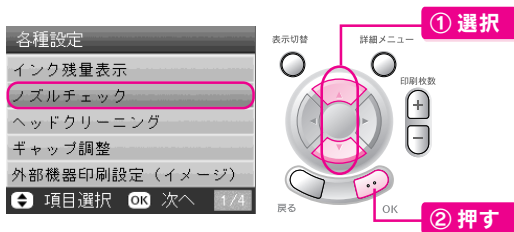
ノズルチェックと ヘッドクリーニング

本書76ページの説明通りにプリントヘッドの目詰まりを防いでいても、印刷結果にスジが入ったりおかしな色味で印刷されたりする場合は、ノズルチェック機能を使ってノズルの目詰まりを確認し、ノズルが目詰まりしている場合は、プリントヘッドをクリーニングしてください。

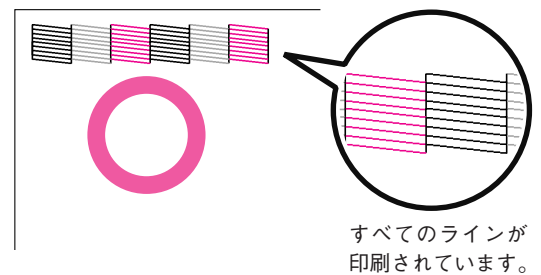
ノズルチェックパターンの印刷

1 A4 サイズの普通紙をセットします。

本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

2 各種設定 ボタンを押します。

3 ［ノズルチェック］を選択します。

4 ノズルチェックパターンを印刷します。

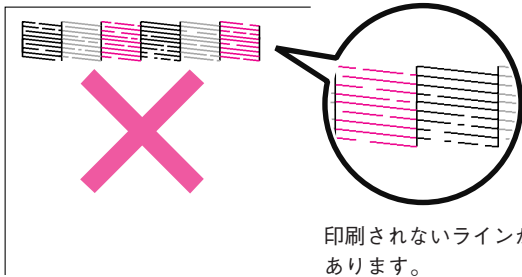
ノズルチェック（目詰まりの確認）

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

すべてのラインが印刷されている場合は、ノズルは目詰まりしていません。

戻る ボタンを押してノズルチェックを終了します。

きれいに印刷できない（印刷品質が低下した）原因がほかに考えられますので、以下をご覧ください。

本書90ページ「印刷結果／スキャン結果のトラブル」

ノズルが目詰まりしているときの印刷例

印刷されないラインがある場合は、ノズルが目詰まりしています。

OK ボタンを押し、次の「ヘッドクリーニング」の手順 3 に進んでヘッドクリーニングを実行してください。

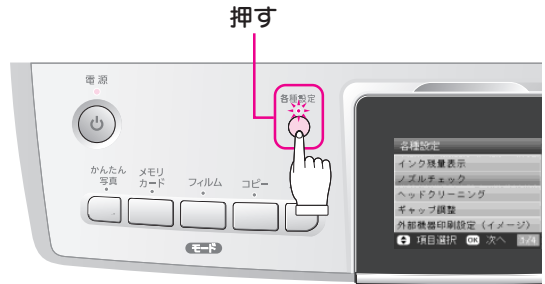
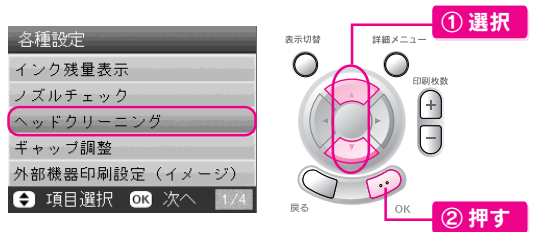
次の「ヘッドクリーニング」の手順 3 に進みます。

補足情報

- ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。
- 長期間使用していない場合、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、目詰まりが改善されないことがあります。ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に5回以上繰り返しても改善されない場合は、本製品の電源をオフにして一晩以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。

ヘッドクリーニング

注意 ヘッドクリーニングは、インクを吐出してプリントヘッドのノズルをクリーニングします。必要以上に行わないでください。

1 各種設定 ボタンを押します。

2 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

3 ヘッドクリーニングを実行します。

ヘッドクリーニングが終了するとメニューに戻ります。

4 ノズルの目詰まりを再確認します。

OK ボタンを押して、前ページの「ノズルチェックパターンの印刷」の手順 4 に戻り、ノズルチェックを実行してください。

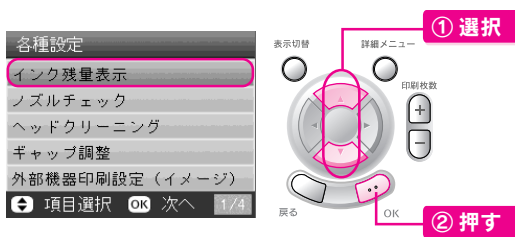
このまま終了する場合は、戻る ボタンを押してください。

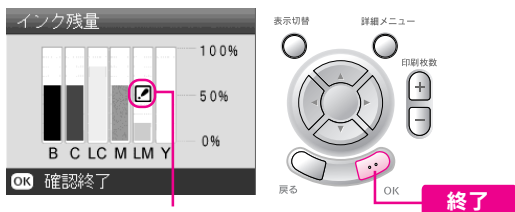
以上で、ヘッドクリーニングの手順説明は終了です。

インク残量の確認とインクカートリッジの交換

インク残量の確認

1 各種設定 ボタンを押します。

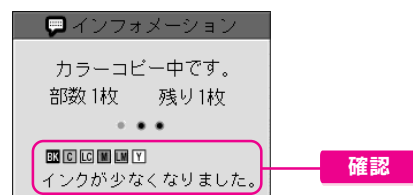
2 ［インク残量表示］を選択します。

3 インク残量を確認します。

OK ボタンでメニューに戻ります。

インクが少なくなると表示されます。

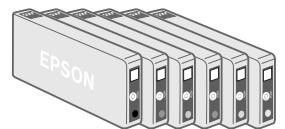
補足情報

- インク残量は、初回のインク充てん後、インクカートリッジ交換後の状態を100%とし、1%刻みで切り上げ表示されます。
- インク残量は、コピーモード時の画面右上のアイコンでも簡易表示しています。インクが少なくなると、背景が白からグレーに変わります。

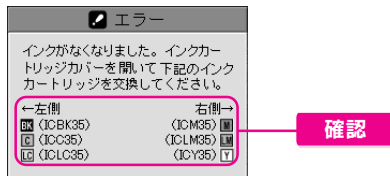
新しいインクカートリッジの用意

「インクが少なくなりました」とメッセージが表示されたら、すぐにインクカートリッジを交換する必要はありませんが、新しいインクカートリッジをご用意ください。

しばらくは印刷やコピーができる場合もあります。
インクが完全になくなると、交換するまで印刷やコピーができなくなります。

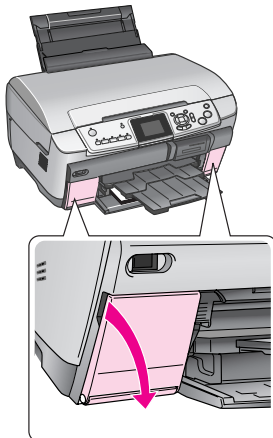
エプソンのインクカートリッジ純正品型番

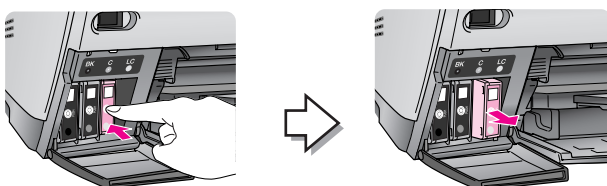
BK	ブラック	：ICBK35
C	シアン	：ICC35
LC	ライトシアン	：ICLC35
M	マゼンタ	：ICM35
LM	ライトマゼンタ	：ICLM35
Y	イエロー	：ICY35

インクカートリッジの交換方法

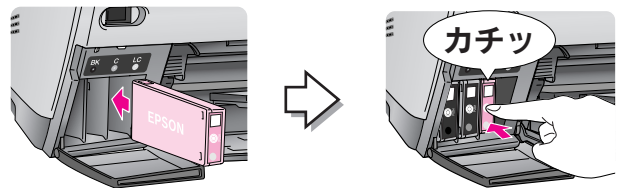
6つのインクカートリッジのうち、どれかひとつでもインクがなくなると印刷やコピーができなくなります。
「インクがなくなりました」とメッセージが表示されたら、なくなった色のインクカートリッジを交換してください。メッセージが表示される前に交換したい場合は、手順 2 から作業を行ってください。

1 交換が必要なインクカートリッジを確認します。

2 新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

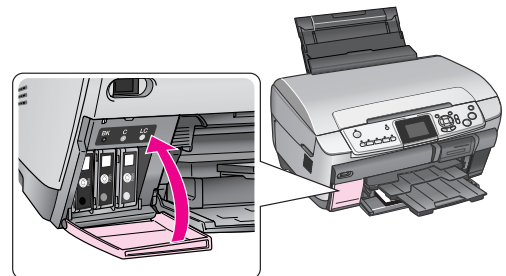
3 インクカートリッジカバーを開きます。

左側		
BK	C	LC
ブラック	シアン	ライトシアン

右側		
M	LM	Y
マゼンタ	ライトマゼンタ	イエロー

4 交換するインクカートリッジを取り出します。
ここでは、ライトシアンのインクカートリッジを交換する手順を例にして説明します。

① 静かに押し込みロックを解除します。　② 取り出します。

5 新しいインクカートリッジをセットします。
複数のカートリッジを同時に交換する場合は、セット位置を間違えないように、本体のラベルを確認して挿入してください。

カチッとロックされるまで、［PUSH］部分を静かに押します。

注意
- 使用済みのインクカートリッジは、インク供給孔部にインクが付いている場合がありますのでご注意ください。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはポリ袋などに入れて、弊社指定の最寄りの回収ポストまでお持ちいただくか、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。
- 一旦セットしたインクカートリッジを繰り返し抜き差ししないでください。インクカートリッジや本体内部にインクが付着するおそれがあります。

6 インクカートリッジカバーを閉じます。

注意
インクカートリッジカバーは、インクカートリッジ交換時以外は開閉しないでください。印刷中やヘッドクリーニングなどの動作中にカバーを開けると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。

補足情報
インクカートリッジの回収にご協力ください
弊社は、環境保全活動の一環として、「使用済みインクカートリッジ回収ポスト」をエプソン製品取扱い店に設置し、使用済みインクカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みインクカートリッジは、最寄りの回収ポストまでお持ちいただきますようご協力をお願いいたします。最寄りの回収ポスト設置店舗については、エプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）をご覧ください。

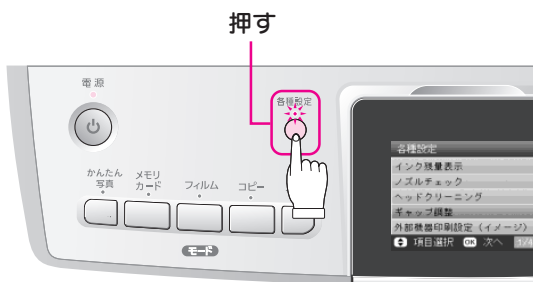
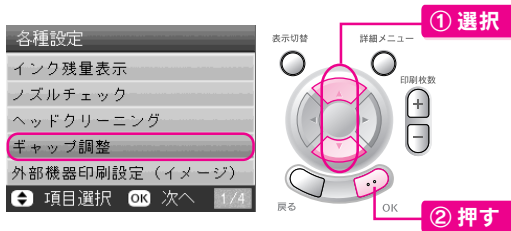
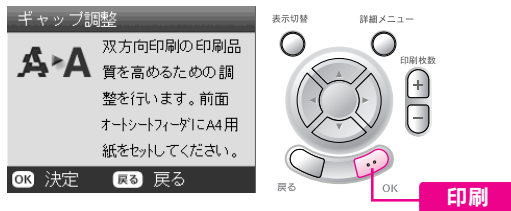
以上で、インクカートリッジ交換の手順説明は終了です。

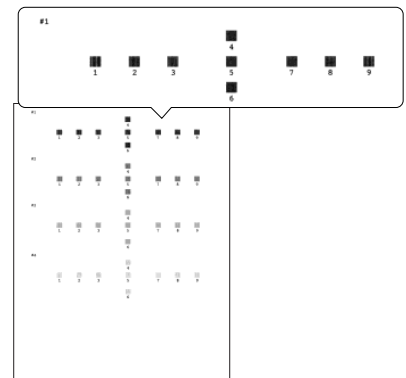
プリントヘッドのギャップ調整

縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップがずれている可能性があります。下記の手順で、ギャップのズレを調整してください。

1 A4サイズの普通紙をセットします。

本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」

2 各種設定 ボタンを押します。

3 ［ギャップ調整］を選択します。

4 ギャップ調整パターンを印刷します。

5 印刷されたギャップ調整パターンを確認します。

＃1から＃4まで、それぞれもっとも縦スジが入っていないように見えるパターンを探します。下図の＃1の例では、「5」を選択します。

6 情報を設定します。

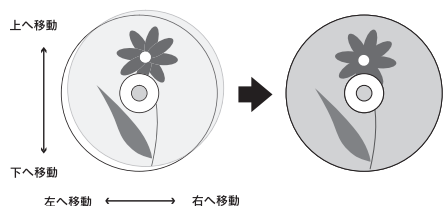
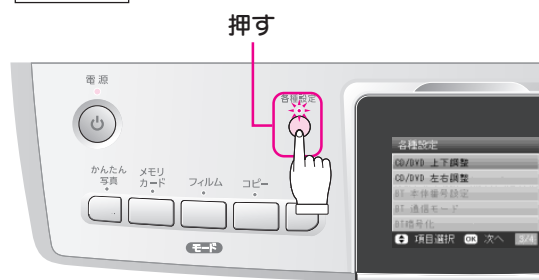
＃1から＃4まで、手順 5 で確認した番号を設定します。

以上で、ギャップ調整の手順説明は終了です。
次の印刷から調整結果が反映されます。

印刷位置調整（CD/DVD、ミニフォトシール）

CD/DVDやミニフォトシールに印刷したときに、印刷結果のズレが気になる場合は、以下の手順で印刷位置を微調整してください。

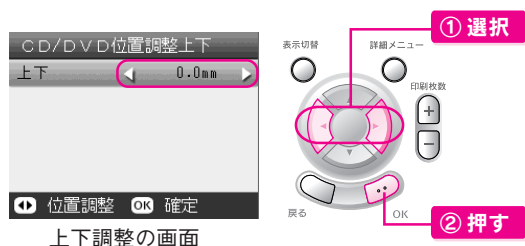
CD/DVDレーベルの印刷位置調整

CD/DVD レーベルの上下と左右の印刷位置を調整します。

1 各種設定 ボタンを押します。

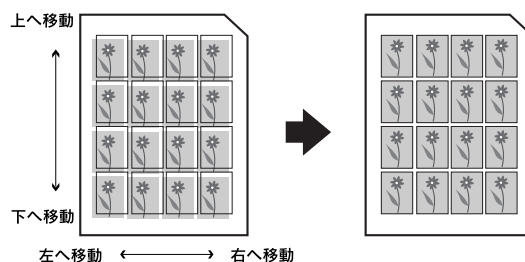
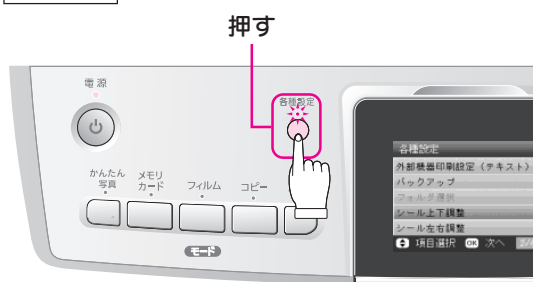
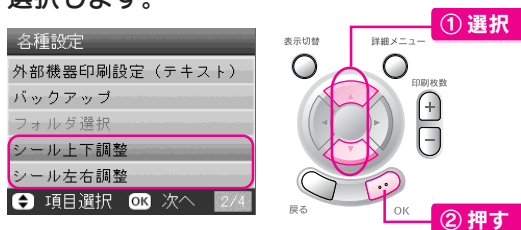
2 上下を調整する場合は［CD/DVD上下調整］を、左右を調整する場合は［CD/DVD左右調整］を選択します。

3 印刷位置を設定します。

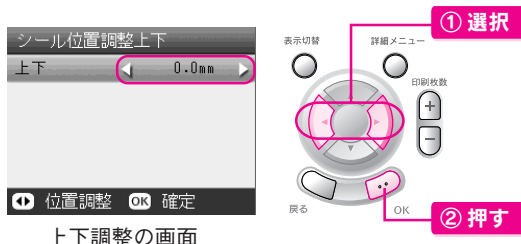
0.1mm単位で、下方向/左方向へ「-5mm」まで、上方向/右方向へ「+5mm」まで設定できます。

上下調整の画面

以上で、印刷位置調整の手順説明は終了です。
次の印刷から調整結果が反映されます。

ミニフォトシールの印刷位置調整

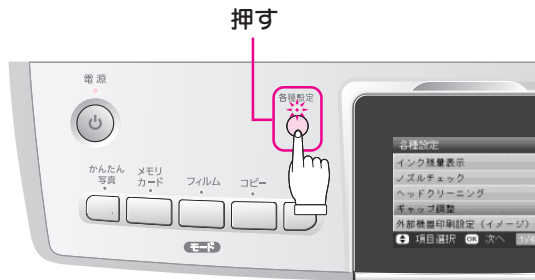
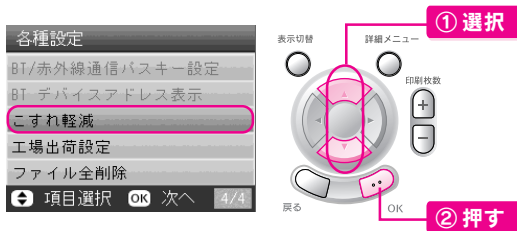
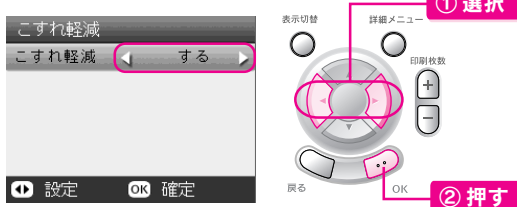
ミニフォトシールの上下と左右の印刷位置を調整します。

1 各種設定 ボタンを押します。

2 上下を調整する場合は［シール上下調整］を、左右を調整する場合は［シール左右調整］を選択します。

3 印刷位置を設定します。

0.5mm単位で、下方向/左方向へ「-2.5mm」まで、上方向/右方向へ「+2.5mm」まで設定できます。

上下調整の画面

以上で、印刷位置調整の手順説明は終了です。
次の印刷から調整結果が反映されます。

印刷こすれの軽減

印刷面がこすれて汚れる場合は、「こすれ軽減」機能をお試しください。印刷面とプリントヘッドの間隔をわずかに広げて印刷することにより、印刷こすれが軽減されます。

1 各種設定 ボタンを押します。

2 ［こすれ軽減］を選択します。

3 こすれ軽減を［する］に設定します。

4 印刷を実行します。

こすれ軽減の設定で印刷されます。

補足情報

こすれ軽減の設定は、電源をオフにするまで有効です。一旦電源をオフにして、もう一度電源をオンにすると、こすれ軽減の設定が［しない］に戻ります。

以上で、こすれ軽減設定の手順説明は終了です。

この章のもくじ

電源 / 操作パネルのトラブル エラーメッセージ表示

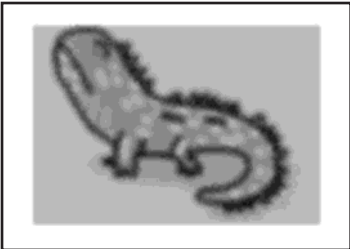
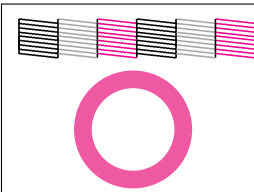
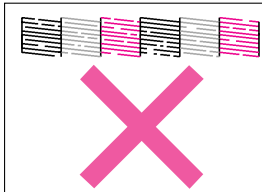
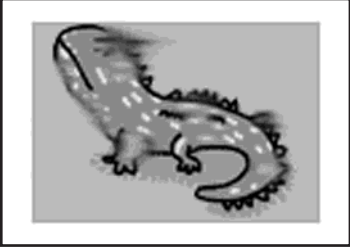
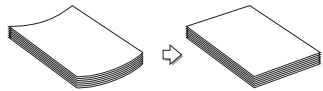
電源 / 操作パネルのトラブル

トラブル状態	対処方法
電源をオンにすると、ガタガタと音がする	■ **輸送用固定レバーが（ロック）位置になっていませんか？** 電源 ボタンを押して電源をオフにしてから、原稿台の横にある輸送用固定レバーを（ ）の位置にしてください。 ロックが解除されます。
液晶ディスプレイに何も表示されない（電源がオンにならない） 電源ランプの状態　液晶ディスプレイの状態 消灯 	■ **電源プラグがコンセントから抜けていませんか？** 差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。また、壁に固定されたコンセントに電源プラグを差し込んでいるか再度確認してください。 ■ **コンセントに電源はきていますか？** ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。ほかの電気製品が正常に動作するときは、本製品の故障が考えられます。 ※以上の2点を確認の上で電源ボタンを押しても電源がオンにならない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。修理センターの所在地、連絡先は、『PM-A900 操作ガイド2』12 ページをご覧ください。
液晶ディスプレイが暗くなった / 何かが動いている 電源ランプの状態　液晶ディスプレイの状態 点灯 / 点滅 	■ **スクリーンセーバーが起動しています。** 電源 ボタン以外のボタンを押してください。操作画面に戻ります。 本製品は、約3分以上操作しないと、スクリーンセーバーが起動します。さらに約13分操作しないと、画面が消えて省エネモードになります（この時、電源ランプは点灯しています）。

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されている

本製品がエラー状態になったときには、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。
エラー発生時に表示されるメッセージと、その対処は下表の通りです。

エラーメッセージ	対処方法
スキャナエラーが発生しました。 マニュアルをご覧ください。	内容：スキャナ部で次のようなエラーが発生しました。 • キャリッジがロックされています。 • 蛍光ランプの交換が必要です。 • 本製品が故障しています。 対処：電源を一旦オフにし、キャリッジの輸送用固定カバーが解除されているか確認します。 本書 5 ページ「輸送用固定レバー」 それでもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
用紙が詰まりました。 カラーボタンを押してください。エラーが解除されない場合は、手で取り出してください。	内容：用紙詰まりです。 対処：カラー ボタンを押します。うまく排紙されない場合は、一旦電源をオフにし、詰まっている用紙を手で取り除きます。 本書 88 ページ「用紙が詰まった」 取り除けない場合は、無理に取ろうとせず、お買い求めいただいた販売店またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。
CD/DVD トレイ、またはフォトスタンド紙が正しくセットされていません。正しくセットしカラーボタンを押してください。	内容：CD/DVD が正しくセットされていません。 対処：CD/DVDを正しくセットし直し、カラー ボタンを押します。 本書 27 ページ「CD/DVD のセット方法」
CD/DVDガイドが開いています。CD/DVDガイドを閉じてください。	内容：CD/DVD ガイドが収納されていません。電源をオンにするとき、または CD/DVD印刷以外の印刷実行時にCD/DVDガイドが出ていると、操作できません。 対処：CD/DVD ガイドを収納してださい。 本書 28 ページ「CD/DVD の取り出し方法」手順 2
詰まった用紙と同じサイズの用紙を 1 枚縦方向にセットし、カラーボタンを押してください。それでもエラーが解除されない場合は、同じ操作を繰り返してください。	内容：名刺または写真用紙<カードサイズ>が詰まりました。 対処：同じ用紙をもう 1 枚セットし、カラー ボタンを押します。用紙は必ず縦方向にセットしてください。用紙が給紙され、詰まった用紙が送り出されます。 本書 11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」
インクが認識できません。 下記のインクカートリッジを交換してください。 （該当のインクカートリッジ型番）	内容：インクカートリッジに問題が発生しました。 対処：新しいインクカートリッジに交換してください。 本書 81 ページ「インクカートリッジの交換方法」
Bluetooth 通信でエラーが発生しました。 モジュールを一旦取り外し、装着し直してください。	内容：Bluetooth 通信でエラーが発生しました。 対処：OK ボタンを押してから、電源をオフにして、Bluetooth ユニットをセットし直してください。
プリンタエラーが発生しました。 マニュアルをご覧ください。	内容：プリンタ内部のエラーが発生しました。 対処：一旦電源をオフにした後、再度電源をオンにしてください。それでもエラーが解除されない場合は、電源をオフにして、本製品内部に異物（輸送用の保護具、用紙など）が入っていないか確認し、電源をオンにしてください。
プリンタ内部の部品調整時期が近付いています。 お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口までご連絡ください。	内容：廃インク吸収パッド※の吸収量が限界に近付いています。 対処：お客様ご自身による交換はできません。お早めにお買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。
プリンタ内部の部品調整が必要です。お買い上げの販売店、またはエプソンの修理窓口までご連絡ください。	内容：廃インク吸収パッド※の吸収量が限界に達しました。 対処：お客様ご自身による交換はできません。お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ、廃インク吸収パッドの交換をご依頼ください。

※廃インク吸収パッド：クリーニング時や印刷中に排出される廃インクを吸収する部品。

用紙のセット時のトラブル（用紙/原稿/メモリカード/CD/DVD）、紙送りのトラブル

トラブル状態	対処方法
原稿台より大きい原稿をセットしたい（原稿カバーが邪魔になる）	■ **原稿台より大きな原稿や厚い本などをセットするときは、原稿カバーを取り外します。** 本書 16 ページ「コピー手順の流れ」手順 3 「こんなときは」
メモリカードをセットしたとき、「... フォーマットしますか？」と表示されたら	■ **セットしたメモリカードがフォーマット（初期化）されていない場合、または認識できないフォーマットの場合に表示されます。** 画面の指示に従ってフォーマットしてください。ただし、メモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが削除されます。
フィルムのセット時に、蛍光ランプが消えない	■ **フィルムのスキャンが終了した後も、原稿カバー裏のランプがしばらく点灯しています。** ウォーミングアップの時間を短縮するため、しばらくランプが点灯しています。特に問題ありませんので、そのままでお使いください。
用紙が斜めに給紙される / うまく給紙できない	■ **用紙のセット方法は正しいですか？ 本製品で使用できない用紙をお使いではありませんか？ 前面オートシートフィーダにA4サイズの普通紙以外の用紙をセットしていませんか？** 用紙のセット方法や、用紙ごとの取り扱い注意事項をご確認ください。 本書11ページ「②印刷用紙をセットします（背面オートシートフィーダ）」 本書7ページ「A4普通紙のセット方法（前面オートシートフィーダ）」 本書 96 ページ「使用できる用紙と CD/DVD」 特に、用紙のセット時は、前面 / 背面ともに必ずエッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 ■ **本製品は水平な場所に設置されていますか？また、一般の室温環境下に設置されていますか？** 設置場所が水平でなかったり、設置場所と本製品の間に何か物が挟まれていたり、本製品底面のゴム製の脚が台からはみ出ていたりすると、内部機構に無理な力がかかって本製品が歪み、印刷や給紙に悪影響を及ぼします。一見すると水平に見える場所でも実際は設置面が歪んでいることもあり、このような場所に設置した場合にも同様の症状が現れることがあります。設置面が水平であること、すべての脚が正しく設置していることをご確認ください。 また、一般の室温環境下（室温：15 ～ 25 度、湿度：40 ～ 60%）以外で使用した場合にも、専用紙や専用ハガキを正常に紙送りできない場合があります。

トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった	■ 液晶ディスプレイの表示に従い、カラー ボタンを押しても詰まった用紙が排紙されない場合は、一旦電源をオフにしてから次の点を確認してください。 ① 本体の左右側面の取っ手に手をかけて、スキャナユニットを開けます。 ② 内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。 ③ スキャナユニットを閉じます。 ④ 排紙トレイを取り外します。 ⑤ 前面オートシートフィーダの奥の方に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引き抜きます。 ⑥ 排紙トレイを取り付けます。 溝 排紙トレイの突起を、本体の溝に落とし込みます。 突起 注意 用紙が切れて本製品内部に残り、取れなくなってしまった場合は、無理に取ろうとしたり本製品を分解したりせずに、お買い求めいただいた販売店、またはエプソン修理センターへ修理をご依頼ください。

印刷結果 / スキャン結果のトラブル

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>
印刷品質が悪い
• かすれる、スジや線が入る
• シマシマになる

• ぼやける、文字がずれる

• 色合いがおかしい
• 印刷されない色がある
• 印刷にムラがある
</td><td>
■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？
ノズルチェックでプリントヘッドの状態をご確認ください。
 本書 78 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」
正常：
ノズルは目詰まりしていません。

異常：
ノズルが目詰まりしています。

■ インクカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？
本製品のプリンタドライバは、純正インクカートリッジを前提に色調整されていますので、純正品以外を使うと印刷がかすれる場合があります。また、インク残量を検出できない場合もあります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
本書 80 ページ「新しいインクカートリッジの用意」
■ 古くなったインクカートリッジを使用していませんか？
古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が悪くなります。開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱に記載してあります。
■ 双方向印刷時のプリントヘッドのギャップがズレていませんか？
高速で印刷するために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。この印刷方式を「双方向印刷」と呼びます。この双方向印刷をしているときに、まれに、右から左へ移動するときの印刷位置と左から右へ移動するときの印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたり、ぼやけたような印刷結果になる場合があります。ギャップ調整機能を使って、ギャップのズレをご確認ください。
本書 82 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」
■ 使用した用紙の種類と、操作パネルで設定した用紙種類は同じですか？
実際に使用する用紙の種類と、操作パネルで設定する［用紙種類］の設定が合っていないと、印刷品質に影響を及ぼします。使用する用紙の種類と、操作パネルの［用紙種類］を合わせてください。
■ 写真などを普通紙に印刷していませんか？
カラー画像やグラフィックスなど、文字に比べ印刷面積の大きい原稿を普通紙に印刷すると、インクがにじむことがあります。カラー画像などを印刷するときや、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>印刷面がこすれる、 汚れる
</td><td>■ 本製品の内部が汚れていませんか？
本製品の内部がインクで汚れていたりすると、用紙に汚れが付着し、印刷結果を汚すおそれがあります。以下をご覧のうえ、内部をクリーニングしてください。
本書 76 ページ「上手に長くお使いいただくコツ」-「ホコリが付かないようにする」

■ ［フチなし］設定時に、フチなし印刷推奨の用紙をお使いになりましたか？
四辺フチなし印刷を行う場合は、下記の用紙をお使いになることをお勧めします。下記以外の用紙では、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れる場合があります。
• フォトマット紙
• L 判 /2L 判の写真用紙<絹目調>、写真用紙<光沢>
• ハガキサイズの専用紙、郵便ハガキ

■ 仕様外の厚い用紙を使用していませんか？
本製品で使用できるエプソン製専用紙以外の用紙の厚さは、0.08 ～ 0.27mm です。この規格以上の用紙を使用すると、プリントヘッドが印刷面をこすって、印刷結果が汚れる場合があります。仕様に合った用紙をご使用ください。

■ 反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の断裁のときに出る「かえり」）のある用紙を使用していませんか？
反りのある用紙や、用紙の端面にバリ（用紙の裁断のときに出る「かえり」）のある用紙に印刷すると、用紙の端がプリントヘッドをこすってしまうことがあります。用紙の反りやバリを取ってから、本製品にセットしてください。

■ 用紙を横方向にセットしていませんか？
用紙は、縦方向にセットしてください（往復ハガキのみ横方向）。横方向にセットした場合、プリントヘッドが印刷面をこする場合があります。

■ 専用紙に印刷後、すぐに重ねていませんか？
専用紙（特に写真用紙）は普通紙などと比較してインクの乾きが遅いため、印刷直後に手や別の用紙などが印刷面に触れると、汚れる場合があります。印刷直後は印刷面に触れないように、排紙トレイから 1 枚ずつ取り去って十分に乾かしてください。
本書 100 ページ「印刷物（印刷後）の取り扱い」

■「こすれ軽減」機能をお試しください。
印刷面とプリントヘッドの間隔をわずかに広げることにより、印刷こすれが軽減されます。
本書 84 ページ「印刷こすれの軽減」</td></tr>
</table>

トラブル状態	対処方法

印刷位置がずれる、はみ出す

■ **使用した用紙のサイズと、操作パネルで設定した用紙サイズは同じですか？**

実際に使用する用紙のサイズと、操作パネルで設定する［用紙サイズ］を合わせてください。

■ **用紙とエッジガイドの間に、すき間はありませんか？ また、用紙が曲がってセットされていませんか？**

一旦用紙を取り出してよく整えてから、用紙をまっすぐにセットし、エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。

■ **CD/DVD、ミニフォトシール用紙に印刷する場合は、印刷位置の微調整ができます。**

本書 83 ページ「印刷位置調整（CD/DVD、ミニフォトシール）」

写真がきれいに印刷できない

- モザイクがかかったように印刷される
- 印刷の目が粗い（ギザギザしている）

■ **写真データの画像サイズが、印刷サイズに適していますか？**

デジタルカメラで撮影した写真データは、細かい点（画素）の集まりで構成されています。同じサイズの用紙に印刷する場合には、この画素数が多いほど、なめらかで高画質な印刷ができます。また、印刷サイズが大きくなればなるほど画素数の多い画像データが必要になります。画像サイズに適した印刷サイズは以下の通りです。

デジタルカメラの画素数	標準的な画像サイズ（ピクセル）	印刷サイズの目安			
		L 判	2L 判	B5	A4
約 30 万画素	640 × 480	○	△	△	△
約 48 万画素	800 × 600	○	△	△	△
約 80 万画素	1024 × 768	◎	○	△	△
約 130 万画素	1280 × 1024	◎	◎	○	△
約 200 万画素	1600 × 1200	◎	◎	○	○
約 300 万画素	2048 × 1536	◎	◎	◎	○
約 400 万画素	2240 × 1680	◎	◎	◎	◎
約 500 万画素	2560 × 1920	□	◎	◎	◎

△：画素数が少なく、良好な印刷結果が得られない。
○：やや画素数が少ないが、良好な印刷結果が得られる。
◎：必要十分な画素数があり、高い印刷結果が得られる。
□：やや画素数が多いが、高い印刷結果が得られる。

画像内のピントがあっていない部分に、不自然な階調が生じる

■ **メモリカードからの写真プリント時に不自然な階調が生じた場合は、「こだわり印刷」の中の［詳細設定］画面で、［自動調整］の項目を［なし］に設定して印刷をお試しください。**

不自然な階調が軽減される場合があります。
本書 36 ページ「詳細設定（詳細メニュー）」

フチなし印刷ができない

■ **印刷時の設定で、フチなし印刷をするように設定しましたか？**

操作パネルで、レイアウトの設定を［フチなし］に設定して印刷してください。

■ **規格サイズ(※)よりも長さが短い用紙を使っていませんか？**

規格サイズよりも長さが約3mm以上短い用紙をお使いになると、本製品は用紙下端に3mm程度の余白を残して印刷を終了します。規格サイズの用紙をお使いください。
※ A4： 210 × 297mm / ハガキ：100 × 148mm /
L 判： 89 × 127mm / 2L 判：127 × 178mm

トラブル状態	対処方法
フチなし印刷すると、写真の一部がはみ出す	■ **フチなし印刷は、原稿や写真データを用紙サイズより少し拡大し、はみ出させて印刷します。** 本番の印刷前に試し印刷することをお勧めします。 なお、パソコンからプリンタドライバを使って印刷すると、はみ出し量の設定ができます。
フィルムから写真プリントすると、写真の一部が印刷されない（周りが欠けてしまう）	■ **フィルム印刷は、フィルム画像より一回り小さい範囲がスキャンされ、そのスキャンデータが印刷されます。** フチなし印刷の場合は、スキャンした画像を少し拡大して印刷するため、画像の周りがさらに欠けてしまいます。パソコンと接続すると、スキャナドライバのホームモードまたはプロフェッショナルモードで、取り込み領域を指定してスキャンすることができます。
フィルムが正しく認識されない / きれいにスキャンできない	■ **保護マットを外していますか？** フィルムをスキャンする場合は、必ず保護マットを取り外してください。 ☞ 本書 49 ページ「フィルムスキャンの事前準備」 ■ **フィルムを正しくセットしていますか？** フィルムホルダにフィルムを正しくセットしてください。 また、原稿台の正しい位置に、フィルムホルダをセットしてください。 ☞ 本書 51 ページ「フィルムのセット方法」 ■ **極端に暗い（または明るい）画像をセットしていませんか？** フィルムの濃淡によっては思った通りの画像を取り込めない場合があります。その場合は、本製品をパソコンと接続して、パソコンからスキャナドライバを使って取り込んでください。 詳しくは『PM-A900 電子マニュアル』の「スキャナ編」をご覧ください。

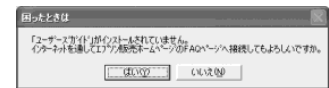
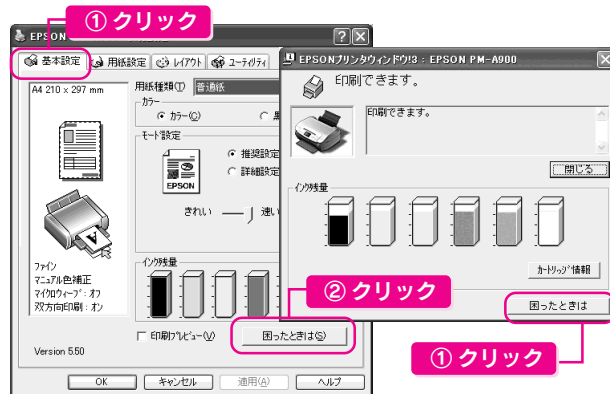
トラブルが 解決しないときは

本製品をパソコンと接続して使用している場合は、『PM-A900 電子マニュアル』をご覧ください

ドライバと同時にインストールされた『PM-A900電子マニュアル』の「トラブル対処方法」には、本書に載っていないトラブルの対処方法が記載されています。

『PM-A900 操作ガイド 2』9 ページ「詳しい使い方は電子マニュアルをご覧ください」

Windows をお使いの場合は

以下の画面からも、『PM-A900 電子マニュアル』の「トラブル対処方法」を表示させることができます。

『PM-A900電子マニュアル』がインストールされていない場合は、上のメッセージが表示されます。はいボタンをクリックすると、インターネットを通してエプソンのホームページへ接続します。

インターネットに接続できる場合は、インターネット FAQ をご覧ください

『PM-A900 電子マニュアル』をご覧いただいても問題が解決しない、ちょっとわからないことがある。こんなときに、お客様の環境がインターネットに接続できる場合は、インターネットFAQをお勧めします。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。

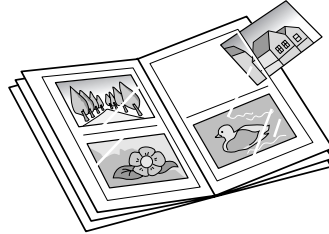
ぜひご活用ください。< http://www.i-love-epson.co.jp/faq >

上記『PM-A900 電子マニュアル』の「インターネットFAQのご案内」からも接続できます。

本体が故障していないかをご確認の上、お問い合わせください

動作確認の方法、お問い合わせ先は、以下をご覧ください。

『PM-A900 操作ガイド 2』19 ページ「サービス・サポートのご案内」

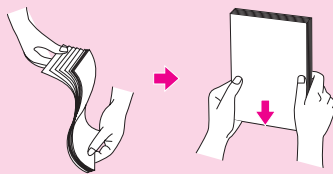
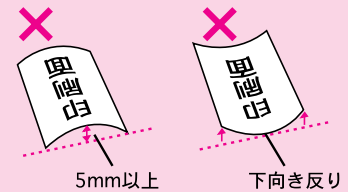
この章のもくじ

使用できる印刷用紙と CD/DVD

エプソンでは、お客様のさまざまなご要望にお応えできるよう各種用紙をご用意しております。
ここでは、本製品で使用できるエプソン製専用紙、市販用紙、CD/DVD の種類と印刷時の注意について説明します。

使用できる印刷用紙と印刷時の注意

- 用紙の取り扱い上の注意については、用紙の取扱説明書をご確認ください。
- 一般の室温環境下（温度 15 ～ 25℃、湿度 40 ～ 60％）で使用してください。
- 丸まっていたり、しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。
- ルーズリーフ用紙やバインダ用紙などの穴の空いている用紙は使用しないでください。
- 再生紙は紙質によってはにじむことがありますので、試し印刷をしてから購入されることをお勧めします。
- 封筒に印刷する場合の注意事項については、『電子マニュアル』をご覧ください。
- 用紙は、必ず縦方向にセットしてください（往復ハガキのみ横方向にセットします）。
- 写真用紙以外の用紙を複数枚セットする場合は、<図 1 >のようによくさばいて、整えてからセットしてください。
- 写真用紙<絹目調>はがき以外のハガキをセットする場合は、反りを修正して平らにしてください。<図 2 >のように 5mm 以上反っているハガキや下向きに反っている（両端が浮いている）ハガキは、セットしないでください。セットすると印刷面が汚れる、正常に給排紙されないなどの原因になるおそれがあります。

<図 1 >

<図 2 >

エプソン製専用紙

	用紙名称	特長	サイズ / 型番	セット可能枚数	
				前面	背面
写真用紙	写真用紙<光沢>	長期間色あせにくい高品質な写真を印刷できます。つややかに仕上がるのでデジタルカメラで撮った記念写真などをアルバムに入れたり、フォトフレームに入れて飾ったりと､まさに写真として使えます。	L 判　： KL20PSK（20 枚入り） KL50PSK（50 枚入り） KL100PSK（100 枚入り） KL200PSK（200 枚入り） KL300PSK（300 枚入り）	－	20 枚
			2L 判　： K2L20PSK（20 枚入り） K2L50PSK（50 枚入り）		
			A4　： KA420PSK（20 枚入り） KA450PSK（50 枚入り） KA4100PSK（100 枚入り） KA4250PSKN（250枚入り）		
			六切　： K6G50PSK（50 枚入り）		
			カード　： KC50PSK（50 枚入り）	－	30 枚
	写真用紙<光沢 EG >	写真用紙<光沢>より若干厚さが薄い用紙です。大容量のボリュームパックで単価が抑えられていますので、大量の写真も安心して印刷できます。 ※写真用紙<光沢>とは若干色味が異なる場合があります。	L 判　： KL200SKEG（200 枚入り）	－	20 枚

	用紙名称	特長	サイズ / 型番	セット可能枚数	
				前面	背面
写真用紙	写真用紙＜絹目調＞	長期間色あせにくい高品質な写真を印刷できる光沢感を抑えた写真用紙です。アルバムやフォトフレームに入れて飾ったりと、幅広い使い方ができます。	L 判 ： KL20MSH（20 枚入り） KL100MSH（100 枚入り）	－	20 枚
			2L 判 ： K2L20MSH（20 枚入り） K2L50MSH（50 枚入り）		
			A4 ： KA420MSH（20 枚入り）		
	写真用紙＜絹目調＞はがき		ハガキ ： KH20MSH（20 枚入り）		
光沢紙	光沢紙	デジタルカメラで撮った写真やCGなどの作品を印刷するのに適した厚口タイプの光沢紙です。	A4 ： KA420GP（20 枚入り） KA450GP（50 枚入り） KA4100GP（100 枚入り）	－	20 枚
マット紙	フォトマット紙	厚みのある非光沢の写真用紙です。 落ち着いた質感が得られます。	A4 ： KA450PM（50 枚入り）	－	20 枚
	両面マット紙＜再生紙＞	オリジナルの名刺が作成できる両面対応の専用紙です。	名刺 ： KNC100MPD（100 枚入り）	－	30 枚
	スーパーファイン紙	デジタルカメラで撮影した写真やCG 作品写真 / グラフ入りの文書の印刷に適した専用紙です。	A4 ： KA4100NSF（100 枚入り） KA4250NSF（250 枚入り）	－	▼マークまで※ 1
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	インクジェット用の両面普通紙です。 両面に印刷してもあまり裏写りしません。 古紙 100% 配合再生紙です。	A4 ： KA4250NPD（250 枚入り）	▼マークまで※ 1	
特殊用紙（バラエティ用紙）	ミニフォトシール	小さなシールを作ることのできる用紙です。 6面レイアウト（面付け）で印刷してください。	ハガキ ： MJHSP5（5 枚入り）	－	1 枚 ※ 2
	アイロンプリントペーパー	印刷した写真を、衣類（綿 100% または 50% 以上の混紡）に転写することができる用紙です。オリジナルの T シャツなどが作れます。	A4 ： MJTRSP1（5 枚入り）	－	1 枚
	フォト光沢名刺カード	四辺フチなし印刷で、名刺サイズのカードが作れる用紙です。	A4 ： KNC10PP（10 枚入り）	－	1 枚
	スーパーファイン専用ラベルシート	オリジナルのステッカーを作ることのできる裏面糊付きのラベル用紙です。	A4 ： MJASP5（10 枚入り）	－	1 枚
	スーパーファイン専用ハガキ	デジタルカメラで撮影した写真入りのハガキ印刷に適した光沢のないハガキです。	ハガキ ： MJSP5（50 枚入り）	－	50 枚
	フォト・クォリティ・カード2	デジタルカメラで撮った写真やイラストを使ったハガキの印刷に適した色あせにくい光沢ハガキです。	ハガキ ： PMHSP1（20 枚入り）	－	20 枚
	フォトスタンド紙	スタンド付き厚手の写真用紙です。デジタルカメラで撮った写真などを印刷して、スタンドを立てて飾ることができます。	2L 判 ： K2LPSPSK（4 枚入り）	－	1 枚 ※ 3

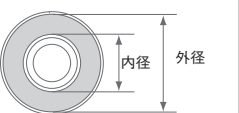
※ 1 エッジガイド内側の▼マークの位置までセットできます。
※ 2「給紙補助シート A/B」を下に敷いてセットしてください。
※ 3 CD/DVD ガイドにセットします。詳しくは『PM-A900 電子マニュアル』をご覧ください。

市販の用紙

用紙名称	サイズ	セット可能枚数		備考
		前面	背面	
事務用普通紙 コピー用紙	A4	▼マークまで※ 1		坪量 64 ～ 90g/m²、厚さ 0.08 ～ 0.11mm 範囲のものをご使用ください。
	B5	－	▼マークまで※ 1	
郵便ハガキ（再生紙）※ 2 郵便ハガキ（インクジェット紙）※ 2	ハガキ	－	50 枚	写真を貼り付けたハガキや、シールなどを貼ったハガキは使用しないでください。
往復郵便ハガキ※ 2	往復ハガキ	－	50 枚	中央に折り目のないものをお使いください。
封筒	長形 3 号 /4 号 洋形 1 号 /2 号 /3 号 /4 号	－	10 枚	• 長形封筒は、フラップ（封の部分）を折り曲げずにお使いください。 • 洋形封筒は、フラップ（封の部分）を折った状態でセットします。

※ 1 エッジガイド内側の▼マークの位置までセットできます。
※ 2 日本郵政公社製。

使用できる CD/DVD と印刷時の注意

使用できる CD/DVD

- レーベル面がインクジェット方式カラープリンタでの印刷に対応している、12cm/8cm サイズの CD/DVD メディア（CD-R/RW、DVD-R/RW など）
- CD/DVD の取扱説明書などに、「レーベル面印刷可能」や「インクジェットプリンタ対応」などと表記されているものをご使用ください。

補足情報

- CD/DVD の取り扱い方法やデータ書き込み時の注意事項については、CD/DVD の取扱説明書をご覧ください。
- エプソンのホームページで、印刷できることを確認した CD/DVD をご案内しています。（http://www.i-love-epson.co.jp/cdr_media/）

CD/DVD の印刷領域

本製品では、下図のグレーの領域に印刷されます。印刷機能、CD/DVD のサイズにより、印刷できる領域が異なります。

		12cm CD/DVD		12cmCD/DVD ピクチャーサイズ※1		8cm CD/DVD	
		内径	外径	内径	外径	内径	外径
PM-A900 単体使用	CD コピー	46mm	113mm	選択できません。			
	メモリカード印刷	44mm	113mm				
パソコン使用※2※3	Multi-Print Quicker	43mm	116mm	26mm	116mm	43mm	76mm

※ 1：印刷可能範囲が広いタイプ（内側ギリギリまで印刷可能）の CD/DVD。

※ 2：パソコン使用時については、付属のアプリケーションソフト『EPSON Multi-PrintQuicker』を使用し、標準設定で印刷する場合の数値です。

※ 3：『EPSON Multi-PrintQuicker』では、内径 / 外径の設定を変更することができます。ただし、その場合は内径 21mm 以上、外径 120mm 以下の設定にしてください。市販のアプリケーションソフトの場合も同様に、内径 21mm 以上、外径 120mm 以下の設定でお使いください。

パソコンからの印刷方法については、「PM-A900 電子マニュアル」をご覧ください。

CD/DVD 印刷時のご注意

印刷前

- CD/DVD への印刷は、データ記録後に行うことをお勧めします。印刷してからデータ記録を行うと、指紋などの汚れやキズなどによって、記録時に書き込みエラーになるおそれがあります。
- CD/DVD の種類や印刷データによっては、にじみが発生する場合があります。不要な CD/DVD を使用して試し印刷を行い、印刷品質を確認することをお勧めします。色合いについては 24 時間以上経過した後の状態を確認してください。
- CD/DVD に印刷するときの初期設定では、印刷品質を確保するために、エプソン製専用紙より低い濃度で印刷されます。

印刷後

- 印刷後、CD/DVD トレイを必ず引き抜いておいてください。挿入したままの状態でプリントヘッドのクリーニングなどを行うと、プリントヘッドがトレイの先端と接触するおそれがあります。
- 印刷後は、24 時間以上乾燥させてください。また、乾燥するまでは CD-ROM ドライブなどの機器にセットしないでください。
- 直射日光を避けて乾燥させてください。
- 印刷面がべたついて乾燥しない場合は、印刷濃度が濃いことが考えられます。印刷時の設定を変更して、操作パネルの印刷濃度設定で、薄くすることをお勧めします。
- 印刷面に水滴などが付くと、にじみが発生するおそれがあります。
- 印刷位置がずれてCD/DVDトレイ上に印刷された場合や、CD/DVDの内側の透明部分に印刷された場合は、すぐにふき取ってください。
- 一度印刷したレーベル面に再度印刷しても、きれいに仕上がりません。

機能別　使用できる用紙 / 使用できない用紙

○　：使用できます（レイアウトなどの設定の組み合わせによっては使用できません。）
×　：使用できません
下段：操作パネルの［用紙種類］設定値

用紙名称		用紙サイズ	コピー	メモリカード印刷	フィルム印刷	パソコンから印刷
写真用紙	写真用紙＜光沢＞	L 判 /2 L 判 A4/ 六切 / カード	○ 写真用紙	○ 写真用紙	○ 写真用紙	○
	写真用紙＜光沢 EG ＞	L 判				
	写真用紙＜絹目調＞	L 判 /2 L 判 A4				
	写真用紙＜絹目調＞はがき	ハガキ				
光沢紙	光沢紙	A4	○ 光沢紙	○ 光沢紙	○ 光沢紙	○
マット紙	フォトマット紙	A4	○ フォトマット紙	○ フォトマット紙	○ フォトマット紙	○
	両面マット紙＜再生紙＞	名刺	○ 両面マット紙	○ 両面マット紙	○ 両面マット紙	○
	スーパーファイン紙	A4	○ スーパーファイン紙	×	×	○
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞	A4	○ 普通紙 （前面 / 背面）	○ 普通紙 （前面 / 背面）	○ 普通紙 （前面 / 背面）	○
特殊用紙（バラエティ用紙）	ミニフォトシール	ハガキ	○ ミニフォトシール	○ ミニフォトシール	×	○
	アイロンプリントペーパー	A4	○ アイロンプリント紙	○ アイロンプリント紙	×	○
	フォト光沢名刺カード	A4	×	×	×	○
	スーパーファイン専用ラベルシート	A4	○ スーパーファイン紙	×	×	○
	スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	○ 郵便 IJ ハガキ	○ 郵便 IJ ハガキ	○ 郵便 IJ ハガキ	○
	フォト・クォリティ・カード2	ハガキ	○ 光沢ハガキ	○ 光沢ハガキ	○ 光沢ハガキ	○
	フォトスタンド紙	2 L 判	×	×	×	○
市販の用紙	事務用普通紙	A4/B5	○ 普通紙 （前面 / 背面）	○（A4 のみ） 普通紙 （前面 / 背面）	○（A4 のみ） 普通紙 （前面 / 背面）	○
	郵便ハガキ（再生紙）	ハガキ	○ 郵便ハガキ	○ 郵便ハガキ	○ 郵便ハガキ	○
	郵便ハガキ （インクジェット紙）	ハガキ	○ 通信面：郵便IJハガキ 宛名面：郵便ハガキ	○ 通信面：郵便IJハガキ 宛名面：郵便ハガキ	○ 通信面：郵便IJハガキ 宛名面：郵便ハガキ	○
	郵便往復ハガキ	往復ハガキ	×	×	×	○
	封筒	長形３号 /4 号 洋形１号 /2 号 ３号 /4 号	×	×	×	○

印刷物（印刷後）の取り扱い

印刷後は、変色を防ぐために以下の内容を参考にして正しい展示・保存を行ってください。正しい展示・保存を行うことによって、印刷直後の色合いを長期間保つことができます。

補足情報
- 一般的に印刷物や写真などは、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響などで退色（変色）していきます。エプソン製専用紙も同様ですが、保存方法に注意することで、変色の度合いを低く抑えることができます。
- 各専用紙の取り扱い方法は、専用紙のパッケージに添付されている取扱説明書をご覧ください。

乾燥方法

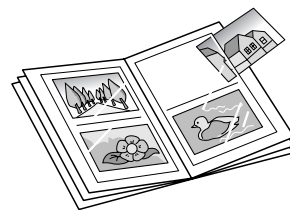
乾燥していない状態でアルバムなどに保存するとにじみが発生することがありますので、印刷後は印刷面が重ならないように注意して、十分に乾燥させてください。すべての印刷物を広げて乾燥させるスペースがない場合は、重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまず、それぞれを 15 分程度乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを 1 枚ずつ印刷面に挟んで乾燥させてください。

- ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。
- 直射日光に当てないでください。

保存・展示方法

乾燥後は速やかに保存・展示を行ってください。

- **クリアファイルやアルバムに入れ、暗所で保存**
  光や空気を遮断することで変色の度合いを極めて低く抑える、一番良い保存方法です。

- **ガラス付き額縁に入れて展示**
  空気を遮断する展示方法で、変色の度合いを抑えることができます。

- ガラス付き額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。

補足情報
- クリアファイルは、用紙よりも大きいサイズのものをご使用ください。
- ミニフォトシールは、印刷面にシートが密着するタイプのアルバムなどに入れないでください。印刷結果がにじむ場合があります。間紙を挟んでクリアファイルに入れてください。

索引

ここに記載する索引は、本製品をパソコンと接続しないで使用する場合に必要な項目です。パソコンと接続して使用する場合の使用方法の詳細は、『PM-A900 電子マニュアル』をご覧ください。以下に『PM-A900 電子マニュアル』の起動方法が記載されています。

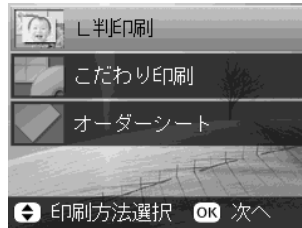
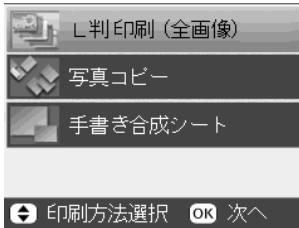
「操作ガイド 2」9 ページ「詳しい使い方は電子マニュアルをご覧ください」

数字

アルファベット

五十音

操作パネルの設定早見表

①かんたん写真モード

L判印刷（全画面）

（本書59ページ）

写真コピー

（本書60ページ）

【原稿設定】
- 原稿用紙サイズ：L判/2L判

【印刷設定】
- 用紙種類：写真用紙（固定）
- 用紙サイズ：L判/2L判/ハガキ/A4/六切
- 退色復元：しない/する

手書き合成シート

（本書61ページ）

- 写真を選んで手書き合成シートを印刷する
- 手書き合成シートを読み込んでプリントする

②メモリカードモード

L判印刷

（本書30ページ）

【印刷設定】	【詳細設定】
用紙種類	日付印刷
写真用紙（固定）	しない/yyyy.mm.dd/mmm.dd.yyyy/dd.mmm.yyyy
用紙サイズ	時刻印刷
L判（固定）	しない/12時間/24時間
レイアウト	P.I.F.関連付け
フチなし（固定）	しない/する

こだわり印刷

（本書30ページ）

【印刷種類】

- 写真印刷1面 （本書37ページ）
- 写真印刷面付 （本書38ページ）
- ズーム印刷 （本書39ページ）

【印刷設定】　【詳細設定】（本書105ページ）

用紙種類	写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/普通紙（前面）/普通紙（背面）/郵便IJハガキ/郵便ハガキ/光沢ハガキ
用紙サイズ	L判/2L判/ハガキ/A4/六切
レイアウト	フチなし/フチあり/上半分/2面/4面/8面/20面/80面

- ミニフォトシール （本書40ページ）

用紙種類	ミニフォトシール（固定）
用紙サイズ	ハガキ（固定）
レイアウト	16面（固定）

- CDレーベル （本書41ページ）

用紙種類	CD/DVDレーベル（固定）
用紙サイズ	1面/4面/12面
レイアウト	標準/濃く/より濃く

- CDジャケット （本書42ページ）

用紙種類	写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/普通紙（前面）
レイアウト	CDケース片面/CDケースインデックス

- 名刺/カード （本書43ページ）

用紙種類	写真用紙	両面マット紙
用紙サイズ	カード	名刺
レイアウト	フチなし	フチなし/フチあり

- アイロン （本書44ページ）

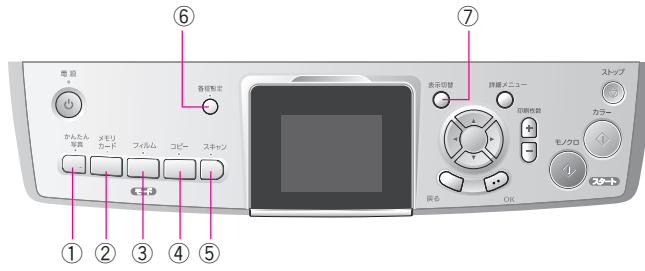
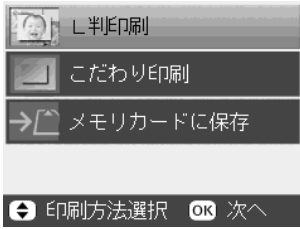
用紙種類	アイロンプリント紙（固定）
用紙サイズ	A4（固定）
レイアウト	フチあり/2面/4面/8面/20面/80面

オーダーシート

（本書45ページ）

- オーダーシートを印刷する
- オーダーシートを読み込んでプリントする

③フィルムモード

L判印刷
こだわり印刷
メモリカードに保存
印刷方法選択　OK 次へ

L判印刷

（本書 52 ページ）

※以下の設定は固定

用紙種類	写真用紙
用紙サイズ	L判
レイアウト	フチなし

※フィルムモード共通設定
【フィルムタイプ設定】

スキャン原稿
カラーフィルム /
カラーポジフィルム(ストリップ)/
カラーポジフィルム(マウント)/
モノクロネガフィルム

こだわり印刷

【印刷種類】

写真印刷
（本書 53 ページ）

ズーム印刷
（本書 54 ページ）

→

【印刷設定】

用紙種類
写真用紙 / 光沢紙 / フォトマット紙 / 普通紙（前面）/ 普通紙（背面）/ 郵便 IJ ハガキ / 郵便ハガキ / 光沢ハガキ

用紙サイズ
L判/2L判/ハガキ/A4/六切

レイアウト
フチなし / フチあり

退色復元
しない / する

【詳細設定】

品質
速い / きれい / フォト

彩度調整
普通 / 鮮やか / 淡い

名刺/カード
（本書 55 ページ）

※以下の設定は固定

用紙種類	写真用紙
用紙サイズ	カード
レイアウト	フチなし

メモリカードに保存

（本書 65 ページ）

→

【品質設定】

品質
きれい / フォト

④コピーモード

コピーレイアウト

標準
（本書 22 ページ）

フチなし
（本書 22 ページ）

ギリギリ
（本書 22 ページ）

リピート自動/4/9/16
（本書 23 ページ）

→

【印刷設定（コピー設定）】

※設定値の組み合わせによっては、設定できない場合があります。

用紙種類
普通紙（前面）/普通紙（背面）/スーパーファイン紙/写真用紙/光沢紙/フォトマット紙/光沢ハガキ/郵便IJハガキ/郵便ハガキ/名刺カード

用紙サイズ
A4/B5/L 判 /2L 判 / 六切 / ハガキ / ハガキ上半分

品質
エコノミー/速い/きれい/フォト

2アップ/4アップ
（本書 24 ページ）

ポスター4/9/16
（本書 25 ページ）

→

用紙種類
普通紙(前面)/普通紙(背面)/スーパーファイン紙/写真用紙/光沢紙/フォトマット紙

用紙サイズ
A4（固定）

品質
きれい / フォト

ミラーコピー
（本書 26 ページ）

→

用紙種類
アイロンプリント紙 / 普通紙（前面）/ 普通紙（背面）

用紙サイズ
A4（固定）

品質
きれい / 速い / フォト

ミニフォトシール
（本書 26 ページ）

→

用紙種類
ミニフォトシール（固定）

用紙サイズ
ハガキ（固定）

品質
フォト（固定）

CDコピー
（本書 27 ページ）

→

用紙種類
CD/DVD レーベル（固定）

用紙サイズ
CD サイズ（固定）

品質
フォト（固定）

【詳細設定】（本書20ページ）

⑤スキャンモード

スキャンしてメモリカードに保存
（本書 64 ページ）
【スキャン設定】
- スキャン範囲
  自動キリトリ / 最大範囲
- 原稿タイプ
  グラフィック / テキスト
- 品質
  ふつう / きれい

スキャンしてWebへ
（『操作ガイド2』8ページ）

スキャンしてPCへ
（『操作ガイド2』8ページ）

スキャンしてEメールへ
（『操作ガイド2』8ページ）

⑥各種設定

各種設定
インク残量表示
ノズルチェック
ヘッドクリーニング
ギャップ調整
外部機器印刷設定（イメージ）
項目選択 OK 次へ 1/4

【1/4 画面】

インク残量
（本書 80 ページ）

ノズルチェック
（本書 78 ページ）

ヘッドクリーニング
（本書 79 ページ）

ギャップ調整
（本書 82 ページ）

外部機器印刷設定（イメージ）
（本書 68 ページ）
（本書 72 ページ）
（本書 73 ページ）
※ 外部機器（デジタルカメラやBluetoothユニットなど）を接続した場合のみ有効。

【イメージ設定】
メモリカードモードと、ほぼ同等の印刷設定ができます。

【2/4 画面】

外部機器印刷設定（テキスト）
（本書 68 ページ）
（本書 72 ページ）
（本書 73 ページ）
※ 外部機器（デジタルカメラやBluetoothユニットなど）を接続した場合のみ有効。

【ドキュメント設定】
［用紙種類］/［用紙サイズ］/［品質］の設定ができます。

バックアップ
（本書 66 ページ）

フォルダ選択
（本書 67 ページ）
※ バックアップしたメディアをセットした場合のみ有効。

シール上下調整
（本書 83 ページ）
－2.5mm ～＋2.5mm

シール左右調整
（本書 83 ページ）
－2.5mm ～＋2.5mm

【3/4 画面】

CD/DVD上下調整
（本書 83 ページ）
－5mm ～＋5mm

CD/DVD左右調整
（本書 83 ページ）
－5mm ～＋5mm

BT本体番号設定
（本書 70 ページ）
0 ～ 9

BT通信モード
（本書 70 ページ）
パブリック / プライベート / ボンディング

BT暗号化
（本書 70 ページ）
しない / する

【4/4 画面】

BT/赤外線通信パスキー設定
（本書 70 ページ）
任意の 4 桁の数字

BTデバイスアドレス表示
（本書 70 ページ）

こすれ軽減
（本書 84 ページ）
しない / する

初期設定に戻す
（本書 58 ページ）

ファイル全削除
（本書 58 ページ）

⑦詳細メニュー

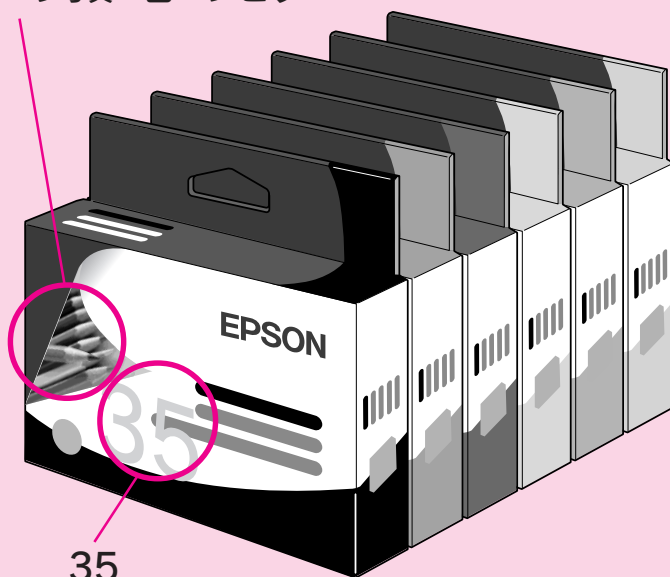
印刷設定時に［詳細メニュー］ボタンを押すと、以下の詳細設定ができます。

メモリカードモード
（本書 35 ページ）
- 日付印刷
  しない/yyyy.mm.dd/mmm.dd.yyyy/dd.mmm.yyyy
- 時刻印刷
  しない /12 時間 /24 時間
- 品質
  速い / きれい / フォト
- フィルタ
  なし / セピア
- 自動調整
  P.I.M./ オートフォトファイン /Exif/ なし
- 明るさ調整
  より暗く/暗く/標準/明るく / より明るく
- コントラスト
  標準 / 強く / より強く
- シャープネス
  ソフトフォーカス強 / ソフトフォーカス弱 / 標準 / シャープネス弱 / シャープネス強
- 鮮やかさ調整
  よりくすんだ / くすんだ / 標準 / 鮮やか / より鮮やか
- 携帯写真印刷
  しない / する
- 撮影情報印刷
  しない / する
- トリミング
  する / しない
- 双方向印刷
  する / しない
- P.I.F.関連付け
  しない / する

コピーモード
（本書 20 ページ）
- コピーレイアウト拡張
  リピートコピー自動/4/9/16/ポスターコピー（4/9/16倍）/2アップコピー/4アップコピー/ミラーコピー/ミニフォトシール
- コピー濃度
  （5 段階で調整）
- 印刷枚数クリア
- 原稿種類判定
  しない / する

インクカートリッジの型番

ブラック	：ICBK35
シアン	：ICC35
ライトシアン	：ICLC35
マゼンタ	：ICM35
ライトマゼンタ	：ICLM35
イエロー	：ICY35

お得な６色パックもあります。

６色パック	：IC6CL35

※パッケージのイメージ写真と番号を、お買い求めいただく際の目印としてご活用ください。

本製品は、PRINT Image Matching IIIに対応しています。
PRINT Image Matchingに関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matchingに関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

MEMORY STICK PRO

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。本書はリサイクルに配慮して作成しています。不要になった場合は資源物としてお取り扱いください。

Printed in Japan XX.XX-XX XXX

EPSON

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
4051246_01	全て	新規制定	